

# 爺ちゃんの歩き遍路日記

<6巡目>

佐々木 豊



太龍寺・舎心ヶ嶽 大師像

2023年3月13日～4月24日

1番・靈山寺～88番・大窪寺

2023年4月25日～4月26日

88番・大窪寺～1番・靈山寺

## 爺ちゃんの歩き遍路日記（2023.3.13～4.26）6巡目、通し打ちの記録

四国88箇所、歩き遍路を始めて丁度20年になります。コロナ禍に関係なく、今年はその記念にと、歩き遍路に出る予定でした。思いがけない事態に、今、行かなければ、と一昨年、昨年と出かけて、結果的に3年連続の歩き遍路となりました。

体力的に無理の無い行程で、順打ち、通し打ちと同じ行程を考えていましたが、今回、歩く遍路道を、今まで歩いていない道をと、事前に決め、課題として考えマンネリ化を防ぎ、少しでも新鮮な気持ちで歩けるようにしました。

徳島県では、地蔵越えに続いて「あずり越え」から日本一低い山へ。

・太龍寺の舎心ヶ嶽の大師像まで登る事。

高知県では、昨年、巡航船に乗り、早く宿に到着した安和へは、浦ノ内湾沿いを歩く。

・足摺打ち戻り後、市野瀬まで戻り、真念庵経由で三原への道を書く。

愛媛県では、松山市内から太山寺へ丙コース（へんろみち保存協力会地図編）を書く。

・60番横峯寺から61番へは、白滝奥之院経由ではなく、採石場コースから石鎚山ハイウェイ経由で61番香園寺へ。

香川県では、前山おへんろ交流サロンから、旧へんろ道を歩き、額峠へ。

**さあ～お遍路へ出発！！**

阿波の国（発心の道場） 1番・霊山寺～23番・薬王寺

1日目 3月13日（月）雨後曇り後晴れ 自宅～5番門前、おんやど森本屋

自宅—阪急西宮北口—三ノ宮 BT8：05—9：50 高速鳴門西 9：58—10：11「1番・霊山寺」10：40  
—（セゾンプラザ・坂東捕虜収容所跡、慰霊碑）—11：17「2番・極楽寺」11：40—12：15「3番・金泉寺」  
12：47—13：02 岡上神社前—13：12 振袖地蔵—13：21 徳島工業短大前—13：30「愛染院」13：37  
—13：45 愛染庵—14：02「4番・大日寺」14：53—15：15「5番・地蔵寺」16：13—森本屋

旅行割¥6200 クーポン券¥2000

定刻に鳴門西バス停に到着。昨年より1時間早いバスで、身支度をした後、余裕を持って歩き出す。



高速バス鳴門西



階段を上がり陸橋を渡る



大麻比古神社の大鳥居前

1番では、昨年と違い、参拝者も多く、団体も居られた。読経の声も、つい小さくなる。



1番・霊山寺 山門



霊山寺 本堂



霊山寺本 堂



霊山寺 大師堂

雨も止んで、どんよりとした曇り空の下、撫養街道を西へ。

今回は、時間的に余裕があるので、第一次世界大戦のドイツ兵慰霊碑にも立寄り、手を合わせる。ただ、右に入る道をうっかり通り過ぎ、セブンイレブンで昼食の用意をした後、2番・極楽寺への標識を見て、あわてて引返す。コンビニの少し手前を入らなければいけなかった。緊張感が足りない。



板東俘虜収容所跡



ドイツ兵慰霊碑

2番で高知から来た、野宿の若者I君と出会う。話しながら3番手前まで同行。初めての遍路で野宿場所の見当がつかないとの事なので、6番・安楽寺の通夜堂か駐車場の休憩所ならテントを張れると思う。と伝える。3番・金泉寺参拝後、昼食を食べるが、風が冷たい。歩き遍路の姿は、あまり見えない。



2番・極楽寺 山門



極楽寺 本堂



極楽寺 大師堂



長命杉



路上に猿、左の田んぼに 20 匹程の大群



直接、金泉寺境内へ



3番・金泉寺 本堂



金泉寺 大師堂



俱利伽羅龍王像



金泉寺 山門

岡上神社、振袖地蔵前を通り、徳島工業短大前の高架をくぐり、右へ入り、愛染院へ。昨年、間違えた所だ。今回は、間違えないようにと、自分に言い聞かせて山道に入る。



板野町休憩所



理髪店 男人決意の丸坊主 女人覚悟の丸坊主



岡上神社の大クス



導引大師



振袖地蔵

愛染院を経て、4番・大日寺へ順調に歩く。境内で、同じバスで来た方と出会う。今日は、森本屋、明日、さくら旅館で同宿になる。9度目の巡拝と言われた。森本屋からは、16時以降のチェックインをと言われたとの事。2人そろって、境内で時間を潰す。



愛染院、大日寺へ



愛染院



愛染院



4番・大日寺へ



愛染庵（藍染庵）



大日寺へ (愛染庵先を左へ)



大日寺へ



大日寺へ



4番・大日寺



大日寺 本堂



大日寺 大師堂



大日寺から5番・地藏寺へ

ここから5番へは下り。30分程で到着。ここでも境内のベンチで時間を潰す。昨年と違い、外国の方も結構居られた。初日の行程は、ここまで。

境内の大銀杏は、全ての葉を落とし、幹と枝のみ。1ヶ月半後、ここへ戻って来た時は、きっと青々とした葉を、身一杯に纏っている事だろう。

ただ、戻って来る一か月半先の事は考えず、まず、徳島一国を目標に歩かないといけない。と自分に言い聞かす



5番・地藏寺



地藏寺 本堂



境内の大銀杏 葉は一枚も無い



地藏寺 大師堂



修行大師像



地藏寺門前 おんやど森本屋

森本屋にチェックイン。今夜は、日本人3名、外国人3名。夕食時、日本人4名の食事の用意がされ、皆が食事中に、女将さんが、1名分を下げていくので聞くと、無断キャンセル。あり得ない。

(外国の方は、テーブル席の部屋。日本人は、隣の座敷の部屋)

外国人3名の内、ニュージーランドから来られた方は、明日、さくら旅館でも同宿になる。

2日目 3月14日(火) 晴れ

おんやど森本屋～鴨島駅前、さくら旅館

森本屋 7:00—7:30 小柿休憩所—8:05「6番・安楽寺」8:30—8:45「7番・十楽寺」9:10—  
9:25 林観音庵—10:05「8番・熊谷寺」10:40—11:10「9番・法輪寺」昼食 12:15—12:31  
小豆洗大師—12:47 秋月城址—13:05 須見光栄堂—13:15「10番・切幡寺」13:45—須見光栄堂  
14:05—14:34 大野島橋工事う回路—15:22 阿波中央橋右岸—15:45 鴨島駅前—15:47 さくら旅館  
旅行割 ¥4000 (素泊) + クーポン券 ¥2000 (夕、朝食) クーポン券 ¥2000 洗濯 ¥0 乾燥 ¥100 × 2

朝食、6時から。女将さんに見送られ、同宿のAさんと出発。次の札所、安楽寺まで順調に進む。  
途中、小柿休憩所には、誰も居なかった。



森本屋を出発



満開の蜂須賀桜



別格1番・大山寺への分岐



小柿休憩所



6番・安楽寺 山門



安楽寺 本堂





安楽寺 大師堂



安楽寺 多宝塔

二人で話しながら歩くと、いつの間にか十楽寺に到着。初めて縁結門、縁切門の内、縁結門の階段を上がる。上がると不動明王が祀られており、縁切門からでも同じ所に来る。話には聞いていたが。



真念の道しるべ



7番・十楽寺 山門



縁結門



どちらから上がっても ここに



縁切門



十楽寺 本堂



十楽寺 大師堂

参拝後、宿坊のトイレを借りた後、熊谷寺に向かう。

1時間程で到着。昨年は見なかった団体のバスも到着。蜂須賀桜が満開。公共放送局も取材、撮影に来ていたようだ。

門前で、昨日会った野宿のI君に会う。やはり、安楽寺駐車場の休憩所にテントを張ったようだが、寒かったと言っていた。山門上の通夜堂には先客が一人居られ、遠慮したそうだ。



林観音庵



御所の郷



8番・熊谷寺



熊谷寺 本堂



熊谷寺 大師堂



熊谷寺 境内



熊谷寺 山門

境内で、千葉から来られたM田さんと出会い、Aさんと3人で次の法輪寺に向かう。

本来なら「あわじ庵」でうどん昼食の筈が、閉業では仕方がない。法輪寺参拝後、境内のベンチで昼食休憩。M田さんは、各札所の所要時間を2時間として計画しており、今日は、八幡、明日は、吉野、明後日は、もりあんロフトに泊まれるようで、時間を持て余す様だ。



9番・法輪寺 山門



法輪寺 本堂

<大師堂、門前の元あわじ庵の写真を撮り忘れた。>

昼食後、Aさん、M田さんと3人で切幡寺へ向かう。



小豆洗い大師



秋月城址

小豆洗大師を経て、切幡寺へ。参道入口の須見光栄堂さんに荷物を預け、空身で登る。3人で話ながらだと、いつもは息を切らしながら登る坂道も、あまり苦にはならない。



10番・切幡寺 山門



是より333段

参道入口から10分程、坂道を登ると山門に到着。山門脇にトイレ有り。ここから階段。



まだまだ階段



女厄坂、まだ上、男厄坂がある



はたきり観音



切幡寺 本堂



切幡寺 大師堂



切幡寺 大塔

参拝後、個々に下山。須見光栄堂さんにお礼を言ってから、次の藤井寺へ向かう。事前に川島橋の手前、大野島橋が工事中で通行止め。上流か下流の橋を迂回して歩かなければならない。と保存協力会のHPで知らされていた。(後日、他の方から歩行者は通行出来、川島橋を渡って藤井寺へ行けた。と聞いた。)

Aさんとは、八幡付近で別れ、一人で鴨島に向かう。



切幡寺から藤井寺へ



大野島橋工事で通行止 迂回路へ



迂回路 吉野川堤防から阿波中央橋へ



阿波中央橋を渡る



踏切を渡り、鴨島駅へ



鴨島駅

堤防に行く前に設置してある道路情報看板の所から、阿波中央橋に向かって迂回路を取る。今日の藤井寺参拝を締め、橋を渡って鴨島駅、さくら旅館まで行く事にした。精神的に結構、歩かされた感じ。

線路に沿って鴨島駅に向かう途中、道にマイナカードと診察券が落ちている。拾い上げ、旅館へ。

さくら旅館に到着。旅館から診察券の病院へ連絡、病院から患者宅へ連絡し、旅館まで取りに来てもらった。(娘さんの物で、入浴中に母親が受け取りに来たとの事。)

森本屋でもらったクーポン券を旅館で使う。(素泊にして、夕食と朝食に使用)

さくら旅館でもらったクーポン券を入浴後、洗濯機を回してから駅中のコンビニへ。色々買った為、500円程オーバー、差額を支払う。初めて電子クーポンを使った。



さくら旅館 (JR 鴨島駅前)

Aさんは、堤防を歩いていると車が停まり、休憩所を新しく作ったので、是非立寄ってと言われ、同乗して行き、藤井寺のそばであった為、参拝を済ませてから来られたとの事。

同宿は、Aさん、  
ニュージーランドの方と他3名

3日目 3月15日(水) 晴れ

さくら旅館～焼山寺～鍋岩・もりあんロフト

さくら旅館 7:00—7:24 吉野前—7:35「11番・藤井寺」7:55—8:20 端山休憩所 8:25—  
8:58 水大師—9:15 長戸庵 9:25—10:35 柳水庵 11:00—11:45 浄蓮庵 11:53—12:25  
左右内分岐 12:30—13:12 林道出合いベンチ 13:17—13:32「12番・焼山寺」14:20—  
14:50 杖杉庵—15:20 へんろ駅—15:30 もりあんロフト ￥6000

昨日、藤井寺に参拝せず、直接、鴨島駅前のさくら旅館に入った為、いつもは、タクシーを使い、藤井寺に行っていたが、今回は、旅館から藤井寺まで歩く事になった。吉野の前を通過して藤井寺へ。Aさんは、既に到着しており、彼は、昨日参拝しているので、直ぐに焼山寺道へ。



藤井寺へ



藤井寺へ 旅館吉野



藤井寺へ

11番・藤井寺参拝、納経後、一服して焼山寺道、へんろころがしを登り始める。端山休憩所で少し休み、尾根筋に出た頃にドイツからの男女に出会い、前後しながら歩く。

途中、地元の方が、遍路道に溜まった落ち葉を掻き集め、整備してくれていた。挨拶とお礼を言いながら登る。



11番・藤井寺 山門



藤井寺 本堂



藤井寺 大師堂



焼山寺道

長戸庵に到着。ドイツの男女は休憩せず、そのまま進んで行った。尼崎から来られた76歳の方と話ながら休憩。一緒に出発する。



吉野川方面が一望



端山休憩所



長戸庵

柳水庵で昼食休憩。彼は、今回、焼山寺はパスし、柳水庵から県道245号を阿川に向かって下って行かれた。柳水庵からは一人で歩く。



柳水庵



柳水庵下の休憩小屋



柳水庵下の休憩小屋

浄蓮庵でドイツの2人組に追いつき、キットカットをあげると、キャンディをお返しにくれた。



一本杉の大師像



浄蓮庵



浄蓮庵 ドイツの2人組も休憩

左右内集落への急下降を経て、いよいよ、へんろころがし6/6へ。1時間程の急登で林道出会い。



左右内集落へ急下降



左右内集落の分岐 右は車



へんろころがし6/6



へんろころがし6/6



へんろころがし6/6



林道出会いベンチ

やっと12番・焼山寺へ到着。Aさん、野宿の若者I君他、途中、出会った方々とベンチで談笑。お互い持ち物自慢。ワークマンやモンベルのパンツ、ローソクは5分間用、お賽銭は1円玉。その他歩き遍路の課題として、いかに荷物の軽量化に工夫しているかと、見せあい、色々参考になった。



あと少し



山門前からの眺望



12番・焼山寺 山門

参拝、納経後（納経料は500円、納経所で、ここだけと言われた。）また、談笑に加わり、5人で下山。（一昨年、昨年では考えられない光景）



焼山寺 本 堂



焼山寺 大師堂

1君ともう1人は、すだち庵、Aさんは、神山の旅館さくらや、別の野宿の若者は、鍋岩からバスで神山へ。皆と別れ、もりあんロフトへ。



杖杉庵



杖杉庵



杖杉庵 大師と衛門三郎像

同宿は1人、伊丹からのNさん。12時前に到着され、奥さんもビックリ。吉野を7時前に出て、12時前に鍋岩に下って来たとは。初めての遍路と言われていたが、すごい健脚だ。まだコロナで1人1部屋。夕食も個々の部屋と言われたが、二人なので食堂でも良いと言うと、Nさんも同意され、話しながら夕食。



鍋岩へんろ駅 建物はない



ゲストハウスもりあんロフト



ゲストハウスもりあんロフト

鍋岩で宿は、ここと「すだち庵」しかない。現在、元なべいわ荘を、もりあんロフトが買取、改装中だが、思ったより老朽化して改装が遅れているとの事。

「すだち庵」に居たアルバイトのトモちゃんは、すだち庵を卒業した。と誰かのブログで知ったが、辞めた後、2ヶ月程、ロフトや接待処の手伝いをして、昨年末、帰郷されたとの事。面白い子で、彼女が、まだ居れば「すだち庵」に泊まっても良かったが。



4日目 3月16日(木) 晴れ後曇り一時雨 もりあんロフト～玉ヶ峠～おんやど松本屋

もりあんロフト 7:05—7:28 いっぱく水場—7:50 林道出会い—7:52 玉ヶ峠お堂 8:02—8:25  
神山休憩所—8:55 鏡石 9:00—9:12 阿川・県道 20 号トイレ横ベンチ 9:22—9:28 植村旅館—  
9:43 駒坂峠—10:10 長瀬橋—10:48 阿野橋—11:37 行者野橋—12:11 おやすみなし亭 12:50  
—ツルブツ手前でお接待—13:23 「13 番・大日寺」 13:40—14:08 「14 番・常楽寺」 14:27—  
14:37 「15 番・国分寺」 14:53—15:25 「16 番・観音寺」 15:40—16:13 「17 番・井戸寺」  
16:30—おんやど松本屋 ￥7500 洗濯お接待

健脚の N さんは、7 時出発。5 分遅れて出発する。奥さんに玉ヶ峠登り口まで送って頂いた。  
1 時間足らずで玉ヶ峠（：たまがたお。地図では玉ヶ峠、峠が正解か）のお堂に到着、休憩。  
遅れて、登り途中に追い越した、ご夫婦も到着された。



玉ヶ峠への登り口



玉ヶ峠へ



※玉ヶ峠

※ 玉ヶ峠ではなく、玉ヶ峠（たまがたお）となっている。地形から、峠でも良いと思うが。



お堂が見えて来た



お堂で休憩



お堂前の地藏 ここから下り

休憩中だった遍路さんと、少し話をして同行して下る。鮎喰川は遥か下に見える。枝垂桜は  
まだまだツボミ。去年は、今回より 11 日遅れで出発したので、この辺りは、枝垂桜が満開だった。



遥か下に鮎喰川



枝垂桜は、まだまだ



神山休憩所

下って行くと、鏡石の標識。県道迄、後少しだが、鏡石大師に立寄る為、ここで別れる。往復しても5分位の近さなので、苦にならない。



下る途中に鏡石



鏡石大師



鏡石

県道に下った所にあるトイレ横で休憩。すぐ先の植村旅館手前にある橋を渡り、駒坂峠に向かう。地元の人達が、大勢出迎えてくれる。潜水橋を渡り、再び県道 20 号へ。



県道近くまで下って来た



住民の出迎え



住民の出迎え



植村旅館手前の橋を渡る



駒坂峠



潜水橋を渡り県道へ

長瀬橋付近で高知から来た野宿遍路の1君と再会。同行する。途中、無人販売で、デコポン5ケ100円を買い、2人で1個ずつ食べ、彼が2個受取ってくれたので、ザックに1個しまう。少しでも荷物を軽くしたいので助かった。

おやすみなし亭で昼食の為、彼と別れる。ただ、コロナの為、昨年に続き施錠されて入室不可。外のベンチで食べる。



枝垂桜は、まだ早い



おやすみなし亭（まだ使用不可）

再び、一人で歩く。大日寺手前のセブンイレブンが見えた頃、個人宅から声をかけられ、コーヒと菓子のお接待を受ける。先に行かれた、ご夫婦もお接待を受けており、玄関で3人と77歳のご主人で色々世間話をする。お礼と納札をお渡しして退去する。

13番・大日寺に到着。参拝、納経。予定より、少し遅れ気味なので先を急ぐ。



13番 大日寺



大日寺 本堂



しあわせ観音



大日寺 大師堂



名西旅館 花



常楽寺へ



常楽寺へ

一の宮橋を渡り、14番・常楽寺へ。ここも小さい寺だが、好きなお寺で、何故か落ち着いた気分になる。参拝後、一服する。



14番 常楽寺



常楽寺 本堂



常楽寺 大師堂



八祖大師

次の15番・国分寺へは、10分位で到着。国分寺を出て、信号待ちをしていると雨がポツポツ。傘を出し、手に持って歩く。次第に強くなり傘をさす。ここで失敗。左に曲がる所を直進。結局遠回りをして大御和神社の所に出て、少しバックする形で16番・観音寺へ到着。



15番 国分寺



国分寺 本堂



国分寺 大師堂



16番 観音寺



観音寺 本堂



観音寺 大師堂

観音寺参拝後、急ぐ。この分だと井戸寺到着は16時半頃になる。納経時間にはギリギリかも。井戸寺手前で、I君に追い付き、16時過ぎに到着。2人で参拝。今度こそお別れとお互い挨拶をして別れる。彼は、今日、徳島市内のホテルに泊まる。



17番 井戸寺



井戸寺 本堂



井戸寺 大師堂



面影の井戸 勇気を出して覗いた



おんやど松本屋

井戸寺隣の松本屋へチェックイン。N氏は15時前に到着、入浴も済ませていた。明日は、彼も地蔵越えから、ひなの里かつうらまで。ふれあいの里さかもとに泊まる予定。

明日は、冷え込み。天気は下り坂。あずり越えは、どうしようか。

5日目 3月17日(金) 曇り後雨 おんやど松本屋～地蔵越え～あずり越え～民宿ちば

松本屋 6:55—7:28 上鮎喰橋—7:54 「地蔵院」 8:20—8:44 峠—8:54 県道203号—9:12 園瀬川堤防—9:43 宝篋印塔(道を間違う) 10:30—10:40 福祉施設あおばの杜 10:50—10:52 あずり越え登り口—11:04 峠—11:16 地蔵院前—11:32 弁天山 11:36—11:45 正福寺ベンチ昼食 12:05—露ヶ本休憩所—13:23 民宿ちば—13:30 「18番・恩山寺」 14:15—14:40 民宿ちば

旅行割 ¥5600 (1泊2食) + 缶ビール ¥380 クーポン券 ¥2000

朝食6時から。健脚のN氏は、今日、ふれあいの里さかもと迄。地蔵越え経由との事で、朝食後、早々に出発された。今日は、天気が不安定。同じく地蔵越えだが、あずり越えはどうするか。



境内から県道 30 号方面へ



上鮎喰橋を渡る



ファミマの手前を右へ

県道 30 号まで出て、セブンイレブンで、まず昼食の用意をする。裏手の道より、地蔵院を目指す。上鮎喰橋を渡り、ファミマの手前を右へ入り、宿から1時間程で地蔵院。



地蔵院へ



地蔵院前の池



地蔵院

本堂、大師堂を参拝後、山門横のベンチで一服。さあ出発と山門を出た時、1台の車が到着。降りた方を見ると、何と、昨年ここで缶コーヒーのお接待を頂いた方だった。特徴的な服装で、昨年と同じだったので直ぐに判り、挨拶をする。勿論、相手様は覚えておられない。昨年のお礼を言うと、また、自販機で缶コーヒーのお接待。何だか催促をしたようだが、遠慮なく頂き、連れの方からもキャンディを頂いた。10分程立ち話をして出発。



地蔵院 山門



地蔵院 本堂



地蔵院 大師堂

山門を出て、直ぐに地蔵道に入る。この頃から小雨がパラツク。そのまま登り、30分足らずで峠。ここからは、下り。県道に出ると、昨年は満開だった桜もまだ蕾。少し膨らんでいるので、後少しか。



地蔵越え登り口



地蔵越え



地蔵越え最高地点



県道 203 号へ下る



まだツボミ、満開までもう少し



あずり越えに向かう

桜が咲いていないので、そのまま八万温泉に向かう。雨は止んだが曇り空。やはり、あずり越えを歩いてみたい。標識に注意しながら歩くと、消えかかった標識があり、「あずり越え・日本一低い山」と読める。土手に上がると小さな潜水橋。この橋を渡り、対岸の土手に上がり、田んぼの間歩く。所々遍路標識もある。国道に出て、信号を渡り少し戻ると六地藏バス停。あずり越えの標識。地図で確認すると少し遠回りをしたかも知れない。



土手に上がり潜水橋を渡る



あずり越えへ



ここを直進した 正解は右方向へ

宝篋印塔まで来て、ここで勘違い。舗装道路をそのまま進む。大きな黄色い建物（あおばの杜）が右下に見える。快調に登って行くと、突然、行き止まり。それでも間違いに気づいていない。余り通る人は居ないので。と思い、微かに踏み跡の様に見える斜面を登り、尾根筋に出る。踏み跡らしき所を倒木や、生い茂る木々を避けながら進む。いよいよ踏み跡らしき所もなく、倒木だらけで前に進めない。仕方なく引返す。やはり「あずり越え」は整備されていないのか。



10分程上がり舗装道路が行き止まり



更に尾根筋15分程で引き返す



あおばの杜前から あずり越えへ

宝篋印塔まで戻り、通りがかった地元の方に聞くと。あずり越えは、こちらの道、あおばの社の前を通っていくとの事。ありゃ・・・！。見当違いの道を行っていた。ここで地図を見る。確かに宝篋印塔を左に見ての道。真っ直ぐでなく、右に運動場に沿っての道。しばらく歩くと「あおばの社」の前に出る。建物の入り口に自販機とベンチがあり、施設の方の許可を得て、敷地内に入り、休憩。

ベンチに座り、自販機で買った缶コーヒーを飲んでいると別の方がやって来て、自分は国分寺の近くに住んでいた等、暫く話をした後、お礼を言って出発しようとする時、「ちょっと待って」お茶を出すからとペットボトルのお茶とお菓子を持って来てくれた。お礼を言って頂き、出発。



あずり越え登り口



あずり越え



あずり越え鞍部 ここから下り

舗装が切れた所に「あずり越え」の標識。整備された道。朝の奮闘は何だったんだ。10分足らずで鞍部、ここから下り。地藏院前（朝、参拝の地藏院とは別）に出て、集落内を下ると見覚えのある交差点。前方に日本一低い山も見えている。ホッとして進む。



あずり越え下り 日本一低い山も見える



地藏院前を通過



交差点の向こうに日本一低い山

弁天山に登頂。100円を入れ、「登頂証明書」を頂く。天気は、まだ持つか？JR踏切手前、以前も休憩した正福寺のベンチで昼食休憩。



日本一低い山



日本一低い山 山頂の祠



正福寺ベンチ

踏切を渡った頃から雨がポツポツ、国道に出た頃に本降り。御杖の水に立寄るのは止め、露ヶ本休憩所を目指す。到着すると焼山寺で出会ったY田さんが居られ雨具を着けて出発された。彼は、今日、立江寺の宿坊に、明日は、別格3番・慈眼寺を打ち、ふれあいの里さかもとに泊まるとの事。明日、同宿になる。





国道 55 号 露ヶ本休憩所



18番・恩山寺 山門



恩山寺 修行大師

雨具を着け、恩山寺へ。民宿ちばに荷物を預け、参拝。境内に Y 田さん。立ち話をしているとポンチョを着た女性遍路さんが来られ、立江寺の宿坊に泊まるが、道が判らないとの事。Y 田さんも同じく、宿坊泊まりなので一緒に下山することになった。



恩山寺 本堂



恩山寺 大師堂

途中、牧場の入り口で、若い坊主頭の外国人女性。3/12 森本屋で Y 田さんと同宿で顔見知りの方（ドイツ人のナリーヌちゃん）と出会う。写真を撮り合い、デコポンを貰ったので、チョコやお菓子をお返しに渡した。良く笑い、愛嬌のある娘だ。足にマメが出来、歩き辛いので、レンタサイクルで来ていた。（勿論、彼女のスマホで翻訳）



Y 田さんとナリーヌちゃん



ナリーヌちゃんと



民宿ちば

少し話をしている間に、先の女性遍路さんが民宿ちばの前で、どちらに行くか迷っているようだったので、県道迄同行し、進む方向を教えて民宿ちばにチェックイン。今夜は、同宿者なし。入浴前に高知のセリーズまで宿の予約。

6日目 3月18日(土) 雨後曇り後晴れ 冷たい 民宿ちば～道の駅ひなの里かつうら

ちば7:45-8:20 お京塚休憩所 8:26-8:38「19番・立江寺」9:05-9:14 榎淵真念道-9:51  
秋葉神社前-10:02 池 10:29 県道22号-10:36「沼江大師(胎蔵寺)」10:55-11:54 道の駅  
ひなの里かつうら・・・車で送迎あり・・・ふれあいの里さかもと 旅行割¥6050+ビール¥700  
クーポン券¥2000

朝から雨。予報では、昼頃には止むとの事。また、今日は半日行程なのでゆっくり出発。  
小降りなので傘をさして歩く。立江寺まで、後少しだが、お京塚の休憩所で一服する。



雨の中を出発



お京塚休憩所



白鷺橋を渡る

10分程で立江寺に到着。本堂下の雨が当たらないベンチに、荷物を置き参拝。団体も来られていた。  
ここでもゆっくりする。



17番・立江寺 山門



立江寺 本堂



立江寺 本堂



立江寺 大師堂



立江寺 修行大師像



立江寺 黒髪堂

雨の中、歩くコースに迷ったが、やはり予定通り、榎淵真念道を歩く事にした。  
遍路標識は、昨年より増えている様だった。



櫛淵真念道 入口



四国縦断自動車道工事中



一旦、県道へ

ただ、1箇所、県道から再び古道に入る所は、以前のまま、古い石標のみで、民家の塀で進行方向から見え、そばに行くまで見えないので、見落とす可能性もある。



県道から右折 道標は見えない



民家の角にある道標 真念道しるべ



櫛淵真念道



櫛淵真念道 秋葉神社



櫛淵真念道



櫛淵真念道



櫛淵真念道



中務茂兵衛道標



ここの枝垂桜もまだ早い

迷うこともなく県道22号出て、沼江大師にお参りする。残念だったのは、県道に出る手前、中務茂兵衛道標先の民家にある枝垂桜が、まだ早く満開まで後少しだった事。去年は、出発が11日遅く見事に満開の桜が見れた。今回は、止むを得ないか。



胎蔵寺



胎蔵寺 沼江大師

県道 16 号の合流点にあるローソンで昼食の用意。旅行割のクーポン券は使えなかった。民宿ちばのご主人が言っていたが、この辺りでは、道の駅の土産物店しか使えないようだ。



県道 16 号を道の駅へ



集落に入ると雛飾りのオンパレード



昼前に、道の駅ひなの里かつうらに到着。駐車場の東屋で昼食。昨日、ナリーヌちゃんから貰ったデコポンも食べる。少し、肌寒い。(ローソン付近にある道路上の温度計は8℃だった。)

時間潰しに土産館をのぞく。小銭入れがあったので孫の土産に買った。これなら軽いし、かさ張らないだろう。それに焼菓子「恐竜の卵」をバラ売りしていたので買う。軽いし食べれば荷物にならない。クーポン券がやっと使えた。



道の駅ひなの里かつうら



道の駅ひなの里かつうら



恐竜の卵

時間が、まだたっぷりあるのでビッグひな祭りの会場に入る。荷物は、事務所で預かってくれた。丁度、地元の人達のコンサートも開かれており、係の人に尋ねると毎年、土日にかけているとの事。昨年までは、平日に来ていたようだ。13時頃、ふれあいの里さかもとに連絡し、迎えを依頼する。Y田さんは、10時頃到着し、別格3番・慈眼寺に向かわれたとの事だった。



ビッグひな祭り



ここまでやるか



土日はコンサートも開催



ビッグひな祭りそのもの



恐竜の化石も出土するらしい

チェックインで旅行割の手続きをして、売店にフェルトで作った恐竜ストラップがあったので孫の土産に買う。残りは、夕食のビールで丁度。今夜は、昨年に続き、保健室で寝る。荷物を置いてそばの坂本八幡神社へ。雛飾りは既に片付けられていた。今年は、期間中、雨には会わなかったようだ。



ふれあいの里さかもと（坂本小学校跡）



坂本八幡神社



手水場



坂本八幡神社



樹木の間に



ふれあいの里さかもと

大浴場に入浴。地元の方が1人入っておられ、コロナで暫くは、宿泊者のみの入浴だったとの事。ゆっくり入浴し、部屋で寛ぐ。高知屋へ予約の電話を入れる。ベッドの部屋しか空きがないとの事。

Y田さんが、16時頃、帰って来た。穴禅定は、予約が必要で入れなかったと言われた。道の駅でクーポン券を使って買った焼菓子を渡す。お返しに甘夏を頂いた。

### 7日目 3月19日(日) 晴れ ふれあいの里さかもと～民宿山茶花

ふれあいの里さかもと・・・道の駅隣のファミマ 7:25—7:30 鶴林寺登り口—7:43 休憩所—7:55 水呑大師ベンチ 8:05—8:53 「20番・鶴林寺」 9:25—9:54 車道横切る—10:03 八幡神社—10:13 大井休憩所 10:18—10:45 若杉谷休憩所 10:59—11:47 「21番・太龍寺」 12:50—13:08 舎心ヶ嶽 13:19—14:29 薬師堂—14:32 阿瀬比休憩所 14:45—15:10 大根峠—15:35 大根休憩所—16:00 「22番・平等寺」 16:30—山茶花

旅行割¥6000 クーポン券¥2000 洗濯¥0 乾燥¥0

さかもとより、道の駅隣のファミマまで送って貰い、昼食用のおにぎりを買って、鶴林寺へ向かって登り始める。ここも、へんろころがしの一つ。少し登った所にある茅葺の休憩所は建て替えられてトタン屋根になっていた。



鶴林寺への登り口



生名方面へ振り返る



以前は茅葺屋根の遍路小屋



水呑大師



阿波遍路道



鶴林寺へ

30分足らずで水呑大師、ベンチで休憩する。ここから50分程で鶴林寺。

途中、遥か下に水井橋が見える所で、一人の外国人男性が立っていた。USA、アメリカの方。暫く話をするが、当然余り通じない。Today stay aoi は聞き取れ、今日は、碧に泊まるようだ。かなり楽な行程。碧なら大井休憩所まで迎えに来てくれる筈。こちら22番と言って別れる。

ここから少し登ると地道から石畳に変わる。昨年見つけたハート石を探しながら登る。あった！当然のこと、あるはずだ。それだけ・・・。また登る。



遥か下に水井橋



石畳の道に変わる



あった！ハート石

鶴林寺門前で、お接待のトマトを頂き、食べる。遅れてY田さんが到着。参拝後、先に下山する。



20番・鶴林寺 山門



本堂



大師堂



本堂 阿吽の鶴



本堂 阿吽の鶴



鶴林寺 境内



照蓮建立の道標



神社横の休憩所



地藏尊前を下る

小学校跡でトイレ後、鶴林寺から 50 分程で大井休憩所。荷物を降ろし、少し休憩。水井橋を渡り、沢沿いを 30 分程歩くと若杉谷の休憩所。ここで、おにぎりを 1 個食べる。



大井休憩所



水井橋を渡る



太龍寺道を太龍寺へ



若杉谷の休憩所



太龍寺へ



太龍寺へ

途中、3人組を追い越して太龍寺へ。



21 番・太龍寺 山 門



太龍寺 本堂へ

納経所前のベンチで皆、休憩中。こちらも1服後に参拝。納経後、おにぎり1個とデコポンで第二昼食。 Y 田さんが上って来た。参拝を待って、豊中から来たご夫婦を交えて談笑。





太龍寺 本 堂



本 堂



太龍寺 多宝塔



太龍寺 大師堂



大師堂の裏 大師御廟



龍の天井画



龍の天井画

＼田さんと下山開始。いわず道、平等寺道を歩く。途中、今回どうしても登りたかった舎心ヶ嶽に登り、お互い写真を撮り合う。(大師像背後の鎖の他、右手に巻道があり像の正面に登れる。)



舎心ヶ嶽 大師像



舎心ヶ嶽 大師像



舎心ヶ嶽より



舎心ヶ嶽

＼田さんは、昼食はまだ。途中で食べながらゆっくり下るとの事で、先に出発。この道は、天気がいいと気持ち良く歩ける。最後の下りは、少しイヤだが。 平等寺道の途中、香川県から来た女性（30歳）に追いつき、一緒に話しながら下る。薬師堂まで来れば、阿瀬比休憩所は直ぐ先。



いわや道



いわや道から平等寺道へ



薬師堂

国道を渡った所にある阿瀬比休憩所で2人共休憩。今日、最後の登り、大根峠への登りも、話しながらだと余り苦にならない。大根休憩所でも休憩。彼女は、今夜パンダヤ泊と言われた。



大根峠



大根休憩所



22番・平等寺



平等寺 本堂



平等寺 大師堂



民宿 山茶花

牧場を過ぎ、平等寺へ。一緒に参拝、納経後、平等寺隣の山茶花へ。彼女はパンダヤへ向かう。

今日は満室。いつもの狭い部屋は先客があり、新館でもいいかと聞かれ、OK。更に料金は旧館と同じでいいから。とラッキー。バス・トイレ付は有難い（ユニットバスではない）。部屋の風呂にゆっくりつかる。

入浴後、洗濯をしているとY田さんが到着。今日は大広間との事。夕食前、次の予約をする。りり庵は満室、夕風にかけるとOKだが素泊まり。昨年12月ご主人が亡くなられたとの事。ショック、昨年4月に泊まった時は、お元気そうだったのに。奥さんにお悔やみを言い、電話を切る。

昨年4月に会った、砥部町の糸びす屋のご主人や、ななこ茶屋のご主人も昨秋亡くなったと聞いていたので気が沈む。

相変わらず、食堂に積んである、お接待の山から、菓子、みかん、ペットボトルの水を頂く。



平等寺本堂から

山茶花のご主人から、  
「大師の寝姿をご存知ですか？」  
「??？」  
「本堂から見てみたら。」と言われ、  
大急ぎで隣の平等寺へ。  
本堂まで上がると。  
「なるほど」とシャッターを押した。

夕食時、同宿の83歳、M森さんが、明日は、日和佐のきよ美旅館に泊まる予定と言われた。先日、予約の電話を入れた時、ご主人が休業中と言われていたので、その旨を伝える。すると隣の席に居られたI藤さんが、早速、確認の電話をした方が良いとアドバイス。やはり、休業中で別の「さくら庵」を紹介されたようだ。

実際は、M森さんが予約した後、旅館の方が急病で救急搬送され、臨時に休業になったようだ。予約客の個々に電話連絡し、別の宿泊先を紹介していたようだが、M森さんは、知らない番号の着信は、応答しない事に決めておられ、旅館からの連絡が出来なかったようだ。一件落着。

8日目 3月20日（月）晴れ後曇り 山茶花～白い燈台 徳島県最後の札所 薬王寺

山茶花 7:08—7:50 月夜御水庵 8:05—8:50 鉦打休憩所 9:00—9:05 国道から分岐—9:15 海岸/国道コース分岐—9:27 土佐街道起点—9:33 土佐街道入口—9:47 貝谷峠—9:51 展望所 10:02—10:10 松坂峠—10:21 車道—10:33 田井ノ浜駅—10:54 木岐休憩所—11:08 白浜休憩所 11:38—12:12 山座峠休憩所—恵比寿浜休憩所 12:40—13:05 白い燈台 13:10—13:33 「23番・薬王寺」 14:02—道の駅—15:30 白い燈台 旅行割¥7890 クーポン券¥2000

朝は、肌寒くヒートテックを着て出発。Y田さんは、新野駅の始発に乗る為に、かなり早く暗いうちから出発された模様。



山茶花を出発



月夜第58号休憩所



月夜御水庵

今日は、まだ誰とも会わない。月夜御水庵に到着、休憩中に安和乃里に予約を入れたが、満室で、そばの民宿安和を予約する。

峠を越え、鉦打橋を渡って国道へ上がる途中で逆打ちの方とすれ違う。高知、徳島に入ると宿の確保が難しくなったと言われた。鉦打休憩所で休憩。念の為、早目に民宿くももを予約。



鉦打橋を渡り国道55号へ



鉦打トンネルを抜ける



鉦打休憩所

国道から外れ、海岸、国道コースの三叉路に向かう。目印の簡易郵便局は無くなっていた。三叉路を左へ、由岐方面へ進む。県道を暫く歩き、暑くなって来たのでヒートテックを脱ぐ。



分岐を右へ



左・海岸、右・国道コース分岐



土佐街道薬王寺道起点・右へ

土佐街道起点の標識を右へ入る。5分程で土佐街道登り口。ここから山道を登る。15分程で貝谷峠、田井ノ浜へ向けての下りになるが、そばの展望所まで行き、休憩。



土佐街道登り口



貝谷峠



展望所へ寄り道



展望所で休憩



展望所から田井ノ浜方面を



展望所 天空のブランコ

一服後、峠に戻り下って行く。20分程の下りで車道に出る。逆打ちの方に出会う。今日、二人目だ。田井ノ浜駅を過ぎ、暫く線路沿いを歩く。



松坂峠



車道に下る



田井ノ浜駅付近

田井ノ浜休憩所で、山茶花を先に出発したH間さんに追いつく。白浜休憩所まで同行。既に山茶花で同宿の二人が昼食休憩中。2階に上がり、こちらも昼食休憩。今回は、途中、木岐で俳句の径を管理されている方と出会わなかった。



田井ノ浜休憩所 奥はトイレ



田井ノ浜



木岐の休憩所



木岐漁港



白浜休憩所 トイレ有り



俳句の径

休憩後、俳句の径を登る。石ころだらけの登りを少し行くと、歩き易い山道に変わり、俳句の書かれた木柱を見ながら登る。車道に出て10分程で山座峠休憩所。



俳句の径



俳句の径



山座峠休憩所

左脇の山道を下る。恵比寿浜休憩所で、また休憩。今日は、半日行程で徳島県最後の札所。少し気が緩んだか。



山座峠からの下り



海岸へ



恵比須浜休憩所

車道に戻り、海岸美を見ながら歩く。今夜の宿、ホテル白い燈台が見えて来る。



海岸沿いの県道を歩く



ホテル白い燈台が見える



えびす洞

ホテルに到着。荷物を置いて23番へ行こうと入るが、フロントは不在。数匹の猫が居るだけ。電話でロビーにザックを置いて参拝に行く旨を伝え、さんや袋だけで薬王寺に向かう。



ホテル白い燈台



薬王寺へ



恋人岬から大浜海岸



大浜海岸



元国民宿舎うみがめ荘（閉鎖）



日和佐城

薬王寺に到着。結構、参拝者は多く、韓国からの団体参拝者も居られた。



23番・薬王寺 山門



薬王寺 本堂



薬王寺 大師堂 団体が線香立を塞いでいたので、待たれている。



薬王寺 多宝塔

参拝後、道の駅へ。クーポン券は、道の駅や国道向かいのコンビニでも使えず。この辺りでは、物産館のみで使用可能。歩き遍路にとっては、少し使いにくく不評だ。有効期間も実質1日間。無駄にされた方も居られた。取敢えず物産館に入る。何とか軽くて荷物にならないストラップを買ったが。



道の駅日和佐



道の駅日和佐 物産館

旅行割クーポン券は、道の駅日和佐の中で、物産館のみ使用可能。近隣のコンビニも使用不可だった。有効期間も発行当日と翌日のみ。

ホテルに帰る途中、恋人岬付近に来た時、前から昨日出会った、香川からの女性遍路さんが歩いて来た。ずーと前を歩いていると思っていたが、パンダヤを8時過ぎに出発。由岐経由で来たとの事。今夜は、さくら庵に泊まれる予定と聞き、大体の場所を伝えて別れる。

ホテルに帰りチェックイン。煙草が切れている。フロントに聞くと煙草は、置いてない。喫煙ルームを予約したのに、煙草が、無い!! 駅まで2kmどうする。

煙草を買いに、日和佐の駅まで行くか?往復4km。時間もあるし、ブラブラ行くか。後からチェックインした方も、煙草や他の買い物もあると聞き、二人で街まで出かける事になった。(笑)

大浴場は16時から。太平洋を眺めながら入浴。疲れが取れる。18時からレストランで海を見ながら夕食。お遍路3人で食べる。明日から、天気は下り坂、土曜日まで雨マークだ。

ホテルのロビーに猫が一杯たむろしている。貼り紙で、保護猫を飼育している旨を掲示している。ロビーの海側の一室は、ソファ、テーブル全て猫が占有。置いてあるダンボールは猫の寝床。宿泊者は使えない。あまり快適な宿泊とは言い難い感じ。以前、泊まった時とは、全然違っていた。

徳島一国を打ち終わった。今回は、天気に恵まれず。また、出会う遍路さんの数もコロナ前より多く感じた。3年間、お遍路に出るのを躊躇っていた方が歩き出したのか。

徳島を打ち終わり、明日から、室戸岬に向かう。しかし、天気は、下り坂。



## 81km先の室戸を目指す!!

土佐の国（修行の道場） 24番・最御崎寺～39番・延光寺

9日目 3月21日（火）曇り後雨 ホテル白い燈台～民宿海部

ホテル白い燈台 7:20—7:43 葉王寺門前—8:10 奥湯トンネル—8:17 製材所前の休憩所 8:22—  
8:36 日和佐トンネル—8:55 レストラン ODORI 前—9:10 元気なおばあちゃんの達のおしゃべり広場 9:12—  
10:02 小松大師へ分岐—10:10 小松大師 10:12—10:15 岡崎商店横の休憩所 10:28—10:36  
へんろ宿南天前—10:44 牟岐橋—セブンイレブン—11:10 牟岐駅前 11:17 牟岐休憩所 11:50—12:42  
「別格4番・鯖大師」 13:05—13:58 喫茶ふくな東屋 14:25—14:55 香峰1号休憩所 15:05—  
15:25 民宿海部 旅行割¥6000+ビール¥600（クーポン券） クーポン券¥2000

朝食6時半から。昨年より1時間遅く出発。国道迄約2kmあるので、結局、昨年より、1時間半程遅れて出発。昨年は、途中チェックインの時間調整をしながら歩いたので、丁度良いかも知れない。



ホテル白い燈台



日和佐のお接待処 忠愛所



厄除橋から葉王寺

奥湯トンネルを抜け、製材所の休憩所はパスして、日和佐トンネルに向け、登ろうかと思ったが、やはり休憩した。



室戸岬までは、まだ、まだ



製材所前の休憩所



日和佐トンネル

レストラン ODORI 前は通過し、元気なおばあちゃん・・・広場では、荷物を背負ったまま腰を降ろして休憩する。

鬼ヶ岩屋温泉の入り口を過ぎ、少し先で国道から分岐、小松大師への道に入る。分岐から集落の中を歩き10分足らずで到着し、参拝する。



レストランODORI前



元気なお婆ちゃん達のおしゃべり広場



国道55号から分岐 右、小松大師へ



小松大師へ



小松大師



小松大師から国道に戻る

参拝後、国道に下りると、すぐに岡崎商店。横の休憩所でトイレ休憩。昨日、同宿で今日は生本旅館に泊まれる方が来られ、少しの間、話をして出発。雨がポツポツして来たが、そのまま歩く。



岡崎商店横の休憩所 トイレ有り



へんろ宿 南天前を通る



牟岐橋を渡る

牟岐橋を渡った頃から、少し強くなって来たが、取敢えずセブンイレブン迄と急ぐ。昼食用のおにぎり、お茶を買って牟岐トンネル脇の休憩所へ。雨は、本降りになって来た

休憩所で昼食。同じく休憩中のお遍路さん2人と話しながら食べる。2人共、今日は、民宿海部泊。ポンチョを着て、個々に出発。雨の中、海岸美を楽しみながらのんびりと、と言う訳にはいかない。



山頭火宿泊の長尾屋 跡



牟岐トンネル



トンネル脇の牟岐休憩所

福良トンネルを抜けると鯖大師は近い。雨の中を参拝し、お接待のそば茶を頂きながら休憩。岡崎商店で出会った、生本旅館に泊まれるお遍路さんもやって来た。



別格4番・鯖大師



鯖大師 本堂

国道に戻り、浅川を目指す。浅川駅の待合室には、外国の方が一人休憩していた。すぐ先の喫茶ふくなかな前の東屋で休憩。カラオケの歌声が聞こえているので、営業中だ。お婆ちゃんが「お遍路さんが来ているよ」とママに知らせてくれた。暖かいお茶ときゅうりの漬物を頂きながら、暫くママと話す。歳は78歳と言われたが、歳より若く見える。そばの緋寒桜を指差し、桜と同じ、満開は過ぎ、後は散るだけと笑っていた。お礼と納札を渡して出発。



民宿 大砂前



浅川駅 待合室 トイレ有り



喫茶ふくなか

海部まで、後1時間位だ。30分程歩いて香峰1号休憩所。やはり、ここは素通り出来ない。初めての遍路を思い出しながら休む。今は、コロナで誰も居ない。(ここが最初に出来た遍路休憩所)



香峰1号休憩所



香峰1号休憩所



香峰1号休憩所

海部大橋の手前で、お遍路さんに追いつく。きよ美旅館が臨時休業で、さくら庵を紹介された方だった。



二人で海部駅に近づいた頃、彼が「アッ DMV!」と叫ばれたので、線路を見て、慌ててカメラを出す。

昨年は見逃したが、何とか写せた。満足。この方は、明日、DMVに乗られるとの事。確かに、DMVを撮ったぞ!!

線路を走るDMV

民宿海部に到着直前、道路向かいの果物店から「お遍路さ〜ん」と呼びながら、ご主人が国道を横断して来られた。二人に、みかんを2個ずつ差し出されたので、お礼を言って頂く。

民宿海部に到着。濡れた物の始末。ご主人が良くしてくれる。部屋は2段ベッド、バス・トイレ付。濡れた物を干し、クーポン券を利用して、向かいのスーパーへ。明日の朝食の用意。宿泊は1泊夕食で朝食なし。

宿に帰り、入浴。夕食は隣の居酒屋で。今日、無効になるクーポンでビールを注文。山茶花に続いて京都のI藤さんも同宿。玄関に立てかけた杖を見て気が付いた。

## 10日目 3月22日(水) 曇り 民宿海部〜ロッジおざき やっと高知県に入る

民宿海部 6:23-7:30 はるる亭前-セブンイレブン 7:53-8:08 古目大師 8:13-8:22 水床トンネル-  
8:48 甲浦大橋ミタニ休憩所 8:58-9:13 海の駅-9:36 生見自販機コーナー-9:48-10:21 「東洋大師」  
10:48-11:30 ゴロゴロ休憩所 11:52-12:30 法海上人堂 12:40-13:08 室戸市に入る-13:32  
佛海庵分岐-13:38 佛海庵 13:44-13:50 国道55号-14:10 根丸坂バス停-14:31 国道55号-  
15:04 ロッジおざき 旅行割¥5760 洗濯お接待¥200 うらしまへ荷物運搬¥300 クーポン券¥2000

朝食は、昨日買ったサンドイッチとバナナで済まし、早々出発。早く出ると、時間的に余裕があり、気楽に歩ける。天気も何とか持ちそうだ。はるる亭前に来た時、丁度、はるる亭をチェックアウトしたおばさん遍路と話しながらセブンイレブン迄歩く。今日は、ロッジおざきより4、5km先の椎名に泊まれるようだ。



民宿 海部



那佐付近を歩く



はるる亭前

セブンイレブンで徳島クーポン券を全て使い、おにぎり、お茶、煙草等を買って、道の駅手前を右折し、古目大師に向かう。お参り後、再び国道へ戻り、水床トンネルを抜け、国道から右へ集落方向に下る。



道の駅手前から古目大師へ



古目大師



一旦、国道から右へ集落に下る

いつもは甲浦大橋を渡っていたが、遍路標識に従って歩いて見ようと思った。しかし、集落内の案内図を見ると、結構遠回りするようなので引き返す。大橋の袂の休憩所で休憩。



やはり、甲浦大橋を渡る事にした



三谷組前の休憩所



甲浦漁港

海の駅を過ぎ、国道を登り、下った所が生見の自販機コーナー。荷物を降ろして休憩する。ここから30分少し歩いて東洋大師。境内へ上がるとご住職が出て来られ、挨拶をして参拝。納経後、少しの間話をする。コロナで閉鎖していた通夜堂を4年振りに開放したそうだ。高知県の銘菓ミレーを一袋頂く。これを見ると高知県に入った事を実感する。(大袈裟な)。



海の駅



生見自販機コーナ



国道から東洋大師へ



東洋大師



東洋大師



高知県の銘菓？ ミレー

挨拶をして出発。野根の集落内を歩くが、誰にも会わない。国道に戻り、ゴロゴロ休憩所で昼食休憩。山茶花と海部で同宿の先達さん（I 藤さん）も休憩しておられた。彼の出発を見送って昼食。



野根の集落内を歩く



国道に出る ここから自販機は当分なし



ひたすら国道 55 号を歩く

40分程歩き、法海上人堂。お堂まで上がり、手を合わせてから一服。再び歩き、いよいよ室戸市に入る。一旦、国道から離れ、佛海庵へ。お参り後、集会所の縁側で休憩していると、先程追い越した I 藤さんもやって来た。彼もお参りをされていたので、先に出発し、国道に戻る。



法海上人堂



室戸市に入る



国道から右へ佛海庵へ



佛海庵



国道から佐喜浜集落へ



佐喜浜漁港

根丸坂バス停から佐喜浜の集落内を歩き、集落を抜け、再び国道に戻る。距離的には余り無いが、一日の疲れが出て来ているので、いつも長く感じられる。



ロッジおざき

夫婦岩がはっきりと見え、民宿徳増も見えているが、道がカーブしているの、手前にあるロッジおざきは見えない。

やっとロッジおざきに到着。杖を洗い、チェックイン前に玄関先のベンチで一服。

ロビー兼食堂に外国の方が一人立っており、たどたどしい日本語で自己紹介をされた。ベルギーから来たクラウド氏。今日は、7人で満室。先達のI藤さんも到着。入浴も順番待ちで、その間、旅行割の手続きをする。

徳島県では、クーポン券の有効期間が当日と翌日の2日間のみだったのが、高知県では、当日を含め、8日間との事。使い方も各県バラバラ。何とかならないものか。

入浴時、女将さんに洗濯を頼んで入浴。予報では、今夜から雨。明日は一日中、雨のようだ。

ここで事件発生。女将さんが夕食の用意後、民宿うらしまへ行かれるとの事。宿泊されている83歳の方が、ルームキーを室内に置いたままロック。しかも前日、同じ部屋へ泊まった方が、ルームキーを返さず次の民宿うらしまに持って行かれていた為、予備キーを使ったので、鍵はもう無く、うらしまへ取りに行くしかない。同じ部屋で、2日連続ルームキーのトラブル。珍しい。女将さんも大変だ。

11日目 3月23日(木) 雨時々曇り後曇り ロッジおざき～民宿うらしま(金剛頂寺往復)

ロッジおざき7:05—7:35 夫婦岩—8:05 清水バス停8:12—9:00 ジオパーク休憩所9:20—10:27 青年大師像前—10:30 室戸岬—10:32 御蔵洞 10:37—10:50 最御崎寺登り口—11:10 「24番・最御崎寺」 12:00—13:28 「25番・津照寺」 13:55—14:25 民宿うらしま—14:50 「26番・金剛頂寺」 15:12—15:28 民宿うらしま ¥6600 洗濯¥0 乾燥¥100/30分×2

昨夜から雨。うらしま迄、荷物を運んで頂く事にして、さんや袋とウェストバックで出発。83歳の方は、既に出発。元気だ。本降りの中を歩く。写真を撮る余裕もない。

途中、徳増に泊まったH間さんと同行。1時間程で清水バス停。ここは、屋根付きのベンチで、出発時から最初の休憩ポイントに決めていた。



雨の中を出発



夫婦岩付近



清水バス停

到着すると、既にお遍路さんが二人居られた。昨夜同宿のM森さんと何とY田さん。二人共バス待ち。もうすぐバスが来るとの事。ここからバスで室戸岬に向かわれるようだ。

バスを見送って出発。M森さん、雨の中を元気だと思っていたが、無難な選択をされた。

次はジオパークの休憩所を目指す。到着したが雨が入り込み休憩出来そうもないので、ジオパーク入口の雨が当たらないベンチでH間さんと休憩。自販機の缶コーヒを飲む。



室戸岬に近づくとつれ風雨が強くなる



ジオパーク



青年大師像

歩道の水溜まりを避けながらも、靴の中は、既にジクジュク。青年大師像を過ぎ、御蔵洞の中に入りお参り。少し先の登り口から最御崎寺へ。納経後、本堂の庇の下で昼食のパンを食べる。



室戸岬



御蔵洞



24番・最御崎寺登り口



24番・最御崎寺 本堂



最御崎寺 大師堂



最御崎寺 山門



室戸岬



中岡 慎太郎像



登って来た道に戻り、岬を周りこみ、スカイライン降り口から国道を離れ遍路道へ。国道とほぼ並行して歩き、再び国道と合流すると、Yショップの店先で若い外国人が休憩していた。御蔵洞近くで出会った方だった。「ヤア〜」と挨拶のつもりで手を上げ、津照寺へ。



室戸岬漁港



津照寺へ



25番・津照寺



津照寺 本堂への階段

雨の中、本堂への階段はキツイ。続いて大師堂を参拝する。

納経所前で、今度は、若い外国人女性。立てかけた杖にカタカナで「エリサ」と書いてある。

「エリサ」と声をかけ、その後は、笑顔でごまかす。

※ 本堂、大師堂の写真を撮り忘れた。

ここから、うらしま迄30分程。民宿内に入り、女将さんに声を掛け、今から金剛頂寺を往復する旨を伝える。ロッジおざきからザックが、届いていた。



民宿うらしまへ



民宿うらしま



26番・金剛頂寺



金剛頂寺 本堂



金剛頂寺 大師堂



がん封じの櫓

参拝時間を含め、約1時間でうらしまに戻る。全身びしょ濡れ。靴の始末、白衣から靴下まで、身に着けていた物を全て洗濯機へ。

乾燥機が空く間に八丁坂まで予約する。砥部町の糸びすや旅館だけは、電話に出ない。

夕食後に掛けると電話に出て、4/9を告げると「う〜ん」。3人予約で満室。その内二人は夫婦との事。「それなら一部屋空いているやん」「9日若い弟の頼みヨ」。ご主人を亡くされ、3/31迄休業していた事は、知っていたが。少し気落ちして、「ついこの間、納骨が終わったところ・・・。」と言われた。

ヒデキちゃんと去年同宿した事を伝え、ヒデキちゃんは、5/4に予約が入っているとの事。最終的に「何とかガンバルワ」で予約完了。ホッとする。

明るかった女将も、声に少し、力が無いように感じられた。合掌。

## 12日目 3月24日(金) 曇り一時晴れ 民宿うらしま〜民宿とうの浜(神峯寺往復)

民宿うらしま7:08-7:37 不動岩7:43-7:50 キラメッセ室戸-8:21 吉良川町-9:03 立石休憩所  
9:20-9:57 羽根川橋-10:04 おうち宿しだお前-10:07 中山分岐-10:36 羽根岬休憩所 11:10  
-12:15 ショップヨシダ 12:27-12:50 奈半利川橋-13:01 田野駅前-13:20 安田町-13:55  
民宿とうの浜 14:05-15:05 「27番・神峯寺」 15:47-16:32 民宿とうの浜 ¥6000 ビール¥600

(注意:前日、民宿うらしま泊なら¥500割引だったが、割引は無しになっていた)

朝食、6時半から。昨日、金剛頂寺を打っているの、国道を行く。30分程で不動岩。波切不動尊を参拝し、岩場を少し歩く。



民宿うらしまから国道へ



不動岩 不動尊



空海修行 御座石

キラメッセ室戸付近でM森さんを追い越して行き、国道と別れ、吉良川町の街並みを歩く。昨年は、全然、店が無かったのにJAが開いており、昼食用のパン等を買う。更に進むと小さなスーパーも開いていた。



キラメッセ室戸



吉良川町の街並み



吉良川町 和の宿かどや

街並みを抜け、国道と合流する所にある立石休憩所（トイレ有り）で荷物を降ろして休憩。デコパンを1個食べる。出発しようとした時、うらしまで同宿の方もやって来た。



吉良川町 旧郵便局



旧郵便局 瓦にデコマーク



立石休憩所

羽根川橋を渡り、おうち宿しだおの前を通過。中山越えとの分岐を、今回も国道に行く。30分程で羽根岬の休憩所。早いが、ここで昼食。先程、立石休憩所で出会った方も到着。足のマメが痛そう。



羽根川橋を渡る



おうち宿しだお 前を通る



右、中山峠への分岐

二人で話していると、何と自転車に乗って、ナリーヌちゃんがやって来た。恩山寺以来だ。レンタサイクルで25番、26番へ向かうとの事。三人で談笑。勿論、スマホの翻訳ソフトで。今朝、Y田さんに出会った、近くにいるヨとの事。（とうの浜に到着後、Y田さんに聞くと、田野駅でバッテリー会い、アイスをご馳走した事。また、レンタサイクルを借りるのも力を貸したとの事。）三人で写真を撮り合って別れる。



羽根岬



突然ナリーヌちゃんが自転車 came



途中、ショップヨシダに立寄り、線香を補充し、ついでに小休止。

奈半利、田野に入り、23士の墓に手を合わせ、安田町へ。とうの浜まで後少し。途中、どうも左足にマメが出来そうな痛み。念の為、道端にザックを降ろし、テーピングをする。出来てからだと遅い。



加領郷



福田寺23士の墓



安田川を渡る

安田町を歩き、海岸に出ると、民宿とうの浜が見えて来る。午後から、少し暑くなって来た。



民宿とうの浜が見える



民宿とうの浜



27番・神峯寺へ

やっと民宿とうの浜に到着。ザックを置き、一服後、27番・神峯寺へ。登り途中、東京から来られた自転車で野宿の若者と出会い、一緒に登る。駐車場のドライブイン27で一服後、参拝。いつ来ても美しいお寺だ。納経後、少し休憩して下山。



神峯寺へ



神峯寺へ



神峯寺へ



27番・神峯寺 山門



神峯寺



神峯寺 本堂



神峯寺 大師堂



土佐の名水 神峯寺の水

民宿とうの浜では、夕食後もY田さんと談笑。柔びすやは、4/13 宿泊との事で、日程がずれるので、今日でお別れか。

13日目 3月25日(土) 雨後曇り 民宿とうの浜～住吉荘 (伊尾木洞、野良時計)

民宿とうの浜 7:30—8:30 大山岬道の駅(元) —9:05 伊尾木洞入口 9:12—9:15 伊尾木公民館前 9:25—9:50 安芸川市街地—9:56 ホテルタマイ手前山側へ—10:17 野良時計 10:28—10:46 ホテルタマイ前—ローソン—11:16 カリヨン広場 11:25—12:01 穴内休憩所 12:25—12:54 極楽寺 12:56—13:11 赤野休憩所 13:20—14:00 琴ヶ浜健康プール 14:10—14:47 ウェルガザ 洋寿荘接待処 15:00—15:09 住吉荘 ￥6500 洗濯￥100 乾燥￥100

雨は、午前中に止む予報。昨日、27番・神峯寺を打っているの、今日は、足休めの日で夜須の住吉荘まで。出来るだけ遅く出発したかったので、皆を見送り、最後に宿を出る。



唐浜休憩所



安芸市に入る



新しく大山トンネルが出来ている

1時間程で大山岬を周って、道の駅大山。やはり、大山トンネルが出来て、車は殆どそちらへ流れるので、来客はなく、フェンスで囲って取り壊し工事中。休憩も出来ない。あてが外れた。



岩の上に鳥が1羽



大山岬公園



道の駅大山 元?

そのまま通り過ぎ、堤防の歩道を歩く。途中、国道へと迷ったが、車からの飛沫がイヤなので、そのまま進む。しかし、途中、人家も途切れ、線路と歩道の間も草木が茂り、国道への道が無い。どんどん進んで人家が見えた頃、線路をくぐる道が見えたので、国道へ戻って行く。伊尾木小学校の横を通り、国道に出ると、丁度、道路向かいに「伊尾木洞」の入り口、真ん前に出た。ラッキー。



堤防の歩道



ホテルタマイが見える



伊尾木洞へ

入口から洞窟を潜り抜け、奥へ進むが、先日来の雨で水量が少し増え、石の頭も少ししか水面に出ておらず、それに苔が付き、濡れた石は滑り易く、飛び石伝いに沢を渡るのが不安。奥の滝までは、諦め、溪谷を少し入った所で引き返す。残念。



伊尾木洞入口



伊尾木洞



伊尾木洞



伊尾木洞



飛び石伝いに渡れない



引き返す

再び、国道に戻り、伊尾木公民館のベンチで休憩。ポンチョを脱ぐ。すぐ先の伊尾木橋袂の休憩所はパスして伊尾木川、安芸川を渡り、安芸市街地に入る。ホテルタマイは目の前。時間もあり、雨も止んだので、ホテル手前を右折し、野良時計に向かう事にした。



伊尾木橋袂の休憩所



安芸川橋を渡り市街地へ



ホテルタマイ手前を右折

20分程で到着。野良時計を見て、駐車場の休憩所で荷物を降ろして一服、トイレ。再び、来た道を引返し国道へ戻る。



野良時計へ



野良時計



野良時計

国道沿いのローソンで昼食の用意と煙草の補充をして、カリヨン広場へ。ここで昼食と思ったが、余り空腹は感じなかったので、穴内休憩所までガンバル事にした。安芸漁港に沿って歩く。昨年同様、途中工事で通行止めの箇所があり、一旦、国道へ迂回。



安芸市のマンホール



カリヨン広場



安芸漁港

国道に出た所で、駐車中のトラック運転席から声をかけられ、10分程立ち話をする。78歳で28番近くに住んで居られ、丸米旅館の女将さんと同級生との事。そばにある「きらく」が喫茶店を閉めて、今は、宿泊のみになっている事や足摺のへんろ小屋のご主人が亡くなり、息子さんが継いでいる事など。何か困った事があったら連絡をと、名刺を頂いた。

暫く国道を歩き、穴内休憩所。荷物を降ろして昼食休憩。昨年と違い、風が冷たい。食事休憩を終え、堤防沿いを歩く。道が登り気味になると八流山極楽寺は近い。お参り後、赤野休憩所へ向かう。



穴内休憩所



国道から離れ、静かに歩ける



登った先に八流山極楽寺

到着後、休憩するが、やはり、遍路道でもあるサイクリングロードは、高速道路工事の為、通行止め。



八流山極楽寺



赤野休憩所



高速工事で迂回

国道へ迂回し、サイクリングロードに戻る。途中にある接待処には誰も居ない。扉を開けて入ると、雨漏りしていて、お接待で置いてある人形のストラップなど水浸しになっていた。休憩せずに退去する。



高速道路工事中 国道へ迂回



サイクリングロードに戻る



赤野の接待処

琴ヶ浜海水健康プールの屋上に上がり写真だけを撮って、サイクリングロードを歩く。萩森さんの小屋は、どこに建っていたのかも判らず、跡形もない。道が国道と並行して来ると、ミタニ建設休憩所や老人福祉施設エルパザ 洋寿荘は近い。



琴ヶ浜



ミタニ建設休憩所



老人福祉施設

洋寿荘の休憩所に入り、冷茶を2杯、お接待の小さな、かわいい袋を頂き、住吉荘へ。15時少し過ぎて一番早くチェックイン。洗濯機を回して、ゆっくり入浴。(昨年まで洗濯機は無料だったが、清算時¥100必要。)



洋寿荘の休憩所



洋寿荘の休憩所内



住吉荘

今日は、宿泊9人、内3人は女性グループ。昨年は同宿なしだったのに大違い。確かに歩き遍路の人数も多くなっている。山茶花、おざき、うらしまと同宿だったM森さんも泊まっていた。

14日目 3月26日(日) 雨後曇り後雨 住吉荘～シリーズ

住吉荘 7:28-7:58 道の駅やすー 8:20 香我美休憩所 8:25-9:02 旅館かとり前-9:38 香南市役所前-9:52 喫茶木香 10:07-10:20 「28番・大日寺」 10:50-11:18 物部川-11:52 松本大師堂 12:15-12:32 野田踏切-セブンイレブン-13:02 国府橋-13:11 「29番・国分寺」 13:50-14:22 高知大医学部前-14:50 蒲原休憩所 14:57-15:19 「30番・善楽寺」 15:45-16:20 セリーズ

¥5840 (旅行割と遍路割引¥3300 有り) + ¥130 + クーポン券 ¥3000



雨の中を出発。開店前の道の駅やすを過ぎ、香我美休憩所で一服。絵金蔵を過ぎ、次の休憩場所を考えながら歩く。



サイクリングロードを夜須へ向かう



道の駅やす



香我美休憩所で一服

旅館かとり前を過ぎた辺りで、前からお遍路さんが歩いて来る。逆打ちか？信号の所で少し立ち話。若い女性で、やはり逆打ち。区切り打ちで、今日、穴内付近まで歩き、帰宅するとの事。信号が変わったので挨拶をして別れる。



赤岡から大日寺へ



へんろ腰掛石



旅館かとり

黒潮ホテル、丸米旅館を過ぎ、香南市役所まで来た。ここまで来れば、喫茶木香で休憩する事にして店に行く。ポンチョ、菅笠を脱ぎ、ふと横を見ると「CLOSE」の板。エッ。扉を開け、声をかけると営業中、ママが「OPEN」へ替え忘れていた。コーヒと店内喫煙可、ゆっくりする。



黒潮ホテル前、三叉路を右へ



香南市役所



喫茶木香で一服

店を出る頃、雨は殆ど止み、ポンチョを手に持って大日寺へ。結構、参拝者が居られる。本堂、大師堂に続き、奥之院の爪彫薬師へも参拝し、納経所へ。



28番・大日寺へ



28番・大日寺 山門



大日寺 鐘楼



大日寺 本 堂



大日寺 大師堂

納経後、次の国分寺に向かう。物部川の手前の桜並木は、満開。天気が悪いのが、少し残念。物部川を渡り、田んぼの間を歩き、松本大師堂を目指す。次の休憩予定場所だ。



疎水に沿って国分寺へ



満開の桜並木だが



物部川を渡る



国分寺へ



右折して松本大師堂へ



松本大師堂が見える

大師堂内に荷物を置き、お参りした後、トイレへ。ここは、地元の方が綺麗に管理されており、気持ち良く利用が出来る。



松本大師堂



大師堂前のトイレ



田んぼの間を国分寺へ

一服後、再び、田んぼの間を歩く。野田踏切を渡り、少し先の交差点にファミマ、セブンイレブンがある。昼食用のおにぎり、バナナを買い、国分寺へ。



踏切を渡り国分寺へ



国分寺へ



国府橋を渡って堤防に行く



国分川



地藏手前をあぜ道に降りる



あぜ道を通り国分寺へ

参拝前に、まず、腹ごしらえ。ベンチに座って食べていると、M森さんと昨夜同宿だった方が、参拝を終え30番に向かうところだった。M森さんとは、今日もシリーズで同宿になる。

境内では、男の方から、「お接待です。」と言われ、キャンディの入った袋を頂いた。お礼を言って頂き、宿でよく見るとキャンディと一緒に100円玉が2枚入っていた。



29番・国分寺 山門



国分寺 本堂



国分寺 大師堂



国分寺 境内

納経後、国分寺を出発。いつもより、時間的に遅れているようなので、少し速足になる。この頃から再び雨が降って来た。靴の中は、グショグショ。岡豊城跡を回り込み、高知大附属病院前を通り、逢坂峠までの登りにかかる。ここの登りは、いつも苦にならない。

右上にヒダカ技研が見えて来たので蒲原休憩所まで直ぐ。少し急いでいるので、荷物を背負ったままベンチに座って一服する。



国分寺から善楽寺へ



高知大附属病院前を通る



蒲原休憩所

逢坂峠を過ぎ、国道を暫く下り、国道と別れ、公園墓地の所から住宅地まで下る。民家の間を歩き、30番・善楽寺へ到着。



逢坂峠



市街地へ下る



30番・善楽寺

本堂、大師堂に続いて、子安地藏にお参りし、納経。



善楽寺 本堂



善楽寺 大師堂



子安地藏堂と地藏堂

納経後、今日の宿、セリーズに向かうが、夕食にクーポン券を使う為、素泊まりにしていたが、明日の朝食は、予約時どうだったか記憶が怪しい。

門前のマルナカで朝食の用意をしようかと迷ったが、手持ちのパンもあるので、そのままセリーズに向かう。30分足らずでセリーズに到着。1泊朝食の予約をしていた。チェックイン。靴乾燥機も借りる。

旅行割の手続きを終わった頃、先を行っていた筈のM森さんが到着？ここへ来るのに迷ったようだ。



国分川を渡ればセリーズ



セリーズ



セリーズ

部屋に入り、即、靴乾燥機をかけ、大浴場へ。ゆっくり湯につかる。天国、天国。夕食は、レストランで18時から。四彩御膳(¥2550)を注文。時間が少しかかるらしい。ワンドリンク付きなのでグラスビールを頂いて、料理を待つ。料理が来てから、またビール。疲れた体に、おいしい料理とビール。

ここは、ホテル従業員の対応も良く、いつも気持ち良く泊まれる宿だ。明日は、きっと天気だ。

15日目 3月27日(月) 雨後曇り後雨 セリーズ～高知屋(桂 浜)

セリーズ7:51—ファミマ8:13 文殊通駅—8:27 竹林寺登り口—牧野植物園—8:54「31番・竹林寺」  
9:19—10:03 武市半平太旧宅 10:10—10:26 石土池畔の休憩所 10:32—10:45 禅師峰寺登り口—  
10:54「32番・禅師峰寺」 11:35—ローソン—12:41 ファミマ—13:03 浦戸大橋—13:30 桂浜  
13:50—14:55「33番・雪蹊寺」 15:30—高知屋 ¥7150 ビール¥600 洗濯お接待

朝食は、7時から。6時頃、玄関を出て、外の空気を吸っていると、M森さんが出発。今日はビジネス土佐に泊まられるとの事。玄関を出て、いきなり左方向、グランドの方へ行こうとするので、ちょっと待ってと言い、右の県道の方を指し、高架下の道路まで同行。真っ直ぐ進みファミマの左側の道に入るのが31番への遍路道と説明し、見送る。

8時前にチェックアウト。1泊朝食、旅行割とクーポン券で、追加130円。6000円弱で済んだ。結局、いつもの半額程度で泊まった勘定になる。この旅、初めて旅行割を有効に使えた感じがした。途中のファミマで昼食の用意をして、文殊通りへ。牧野植物園の裏側から竹林寺へ向かう。



ゆっくり出発



ファミマの脇から竹林寺へ



文殊通り



牧野植物園の裏側へ



途中の登りから振り返る



植物園内を歩く

園内を見物しながら、NHKの朝ドラが始まるので、ここも観光客が増えるかな。と思いながら歩く。  
(お遍路は、無料で通れる。) 園内から出たところが、竹林寺。



ツブラジイの板根 (ばんこん)



牧野植物園



牧野植物園



牧野植物園



牧野植物園 出口



31番・竹林寺



31番・竹林寺 山門



竹林寺 本堂



竹林寺 大師堂



竹林寺 五重塔

竹林寺参拝後、車道脇から下田川に向かって下る。下ってすぐの橋は工事で通行止め。一つ上流の橋を渡って進む。武市半平太旧宅に立寄り、石土池畔の休憩所で一服する。



遍路橋を渡る



武市半平太旧宅



石土池畔の休憩所

32番・禅師峰寺境内は、団体や個人参拝者でいっぱい。納経後、山門前のベンチで昼食。



左車道、右遍路道を上げる



32番・禅師峰寺 山門



禅師峰寺 本堂



禅師峰寺 大師堂



境内より浦戸大橋方面



不動明王

下山し、県道14号を歩く。途中ローソンに立寄ると、店内で女性客から「これで冷たい物でも」と500玉を1枚頂いた。有難く頂く。適当な菓子類がないようなので、少し先にある、浦戸大橋手前のファミマに入る。店の方に電子クーポンの手順を教わり、煙草等を買ひ、残りのクーポン券を使う。

ここから恐怖の浦戸大橋。種崎から渡船（無料）を使うと、余りにも33番へ早く着き過ぎる。



浦戸大橋を渡る 歩道が狭い



渡船を使うと早く着き過ぎる



浦戸大橋から桂浜へ

恐々と大橋を渡って、桂浜へ。ここでも観光客が大勢来られている。浜辺の休憩所で海を見ながら休む。



桂浜



桂浜



桂浜

竜馬像まで上がり、バス乗り場の所から湾に沿って歩く。やっと渡船場への標識。橋を渡ると元岸上呉服店。接待所は完全に閉めた模様。33番まで後少し。小さなスーパーがあったのでバナナとせとかをかう。



桂浜 竜馬像



観光客が大勢



湾に沿って歩く



種崎から長浜に向かう渡船



雪蹊寺まで後少し



接待所だった？元岸上呉服店

33番への途中、とうの浜で同宿だった区切り打ちの方と出会う。この方、今日は、桂浜の民宿まさごに泊まれるが、34番まで打って民宿に戻られるとの事。昨日も28番近くのきらくに連泊。30番まで行き、電車で野市に戻り、きらく迄、歩いたそうだ。

今日もどうせなら、高知屋に泊まればいいのか、と思ったが。(高知屋は空室があった。)人それぞれの歩き方、打ち方がある。明日、帰宅されるようだ。それなら、30番を打ち、高知駅から帰宅すれば、次が打ち易くなるのでは。と言ったが通じたか。

33番・雪蹊寺参拝。納経所で納札は。ここでも白色しか置いていない。やはり、緑色や赤色は需要が少ないのでとの事。





33番・雪蹊寺



雪蹊寺 本堂



雪蹊寺 大師堂

高知屋前のベンチへ移動して女将さんの帰りを待つ。16時前に帰って来られ、チェックイン。2階のベッドの部屋。



高知屋



道路向かいが雪蹊寺



唯一ベッドの部屋「延光」

さっそく洗濯物を出して入浴。女将さんから汐風のご主人の事を聞く。宇佐付近は、りり庵、汐風、三陽荘も満室になっているようで、また、須崎もセメント会社関連の宿泊で殆どの所が満室。歩き遍路は、宿の確保に苦労しているようだ。

今回は、松山か今治辺りで、一旦、帰宅も考えないとだめかも知れない。

16日目 3月28日(火) 晴れ

高知屋～ゲストハウス汐風

高知屋6:38-7:53「34番・種間寺」8:22-9:00 細木製材所ベンチ9:08-9:17 仁淀川大橋-  
10:16 清滝寺参道入口-10:30「35番・清滝寺」11:13-市内で迷う-ファミマ12:30-13:12  
塚地休憩所13:27-13:47 塚地峠-14:07 安政地震の碑-14:30 ファミマ-15:09「36番・青龍寺」  
15:30-16:05 ファミマゲストハウス汐風 素泊まり¥4500

高知屋を出発し、1時間程で34番・種間寺に到着。参拝が終わった頃、同宿で同じく西宮から来られたO氏が到着。



種間寺へ 右へ



種間寺へ 県道から右へ入る



種間寺へ



途中、三井家みついんく



種間寺へ



種間寺に到着



34番・種間寺 本堂



種間寺 大師堂

いよいよ納札が無くなったので、仕方なく納経所で白の納札を買って35番へ向かう。



清滝寺へ



清滝寺へ 新川のおとし



細木製材所ベンチ

仁淀川手前の細木製材所前のベンチで一服。仁淀大橋を渡って、右岸堤防上の遍路道を歩く。天気も良く、久しぶりに春の日差しを浴びながら歩く。高速をくぐると、程なく参道入口。ここから登り道。15分程、汗をかくと山門。そして、お決まりの階段。車で参拝の方も結構居られる。



仁淀川堤防沿いを歩く



仁淀川大橋を渡る



高速をくぐり清滝寺へ



清滝寺 参道入口



35番・清滝寺 山門



清滝寺 本堂 大師堂



納経所前より土佐市内を望む

納経後、前のベンチで最初の昼食。パン、バナナを食べる。下山後、土佐市内を抜け、塚地峠を目指す。

ここは、まともに歩いた事がない。いつも迷っている。天理教の大きな建物と神社の参道の間を行くが、「四国のみち」の道標に従い、左折し住宅地の中をウロウロ。結局、元の場所に戻った。道標の矢印は、清滝寺に向けたものだったようだ。ややこしい。

再度、「四国のみち」道標を歩き、今度は、矢印を無視し、直進。地元の方にも尋ね、やっと土佐市民病院が見え、突き当りを左折、直ぐ右へ。大きな道路に出て、左を見るとファミマの看板が見えた。ホッとする。

目印のファミマだ。遍路道は、店の向かいの道に入る。ファミマでおにぎり等を買って、やっと塚地峠に向け、遍路道を歩く。結局、市内で30分程のロスタイム。



やっと塚地峠への遍路道を歩く



塚地峠へ



塚地休憩所

今日、36番・青龍寺の打戻りが無理なら、明日にし、その場合は、横浪スカイラインを歩く事にする。

塚地休憩所に到着。荷物を降ろし、第二昼食。トンネルか峠越えか、食べながら考える。やはり峠越えを歩く事にした。登り口に行くと、高齢女性がストックを両手に下って来た。逆打ちですか？と聞くと単なる登山者だった。



塚地峠への登り



塚地峠



峠からの下り途中、宇佐方面

20分位の登りで、塚地峠。ここから下り、時間的に見て、今日、打戻が出来るだろう。と宇佐大橋を目指す。海沿いの道路を歩き、大橋手前のファミマに荷物を置いて（イトインが広く、荷物を置かせてくれる。）さんや袋だけで青龍寺へ。



安政地震・津波の碑



宇佐大橋まで来た



青龍寺へ 三陽荘前

ファミマから40分位で到着。ここも階段。長い階段を上がり、本堂、大師堂を参拝し、納経所へ。確認すると、やはり納経時間は、朝8時からだった。急いで引返す。



36番・青龍寺 山門



本堂、大師堂への階段



本堂



本堂



大師堂



三重塔

引返す途中、汐風の奥さんから電話。「今、どこら辺り？」。

今、三陽荘の前を引返し中。30分程でファミマ。を伝える。

今日、宿泊の外国の方が入浴中。まだ夕食を買っていないので、車でファミマに連れて行くから、時間が合えば便乗して汐風にとの事。

ファミマに到着。既に奥さん達が店に居られ、買い物中。ベジタリアンとの事で、奥さんがいちいち材料を見て、これはOK。他に日本人女性も。夕食、明日の朝食を買って、他の宿泊客と汐風へ戻る。



宇佐大橋を渡りファミマに戻る



ゲストハウス汐風



汐風前の穏やかな湾

同宿は、区切りの女性、英国人、80歳のK本氏。夕食時、グラスを借りてビールを注ぎ、誰にも言わず、ご主人に献杯し、ビールを飲みながら夕食。奥さんを含め5人で食べながら談笑。勿論、翻訳機も活躍。

8時頃まで談笑。解散。英国のダニエル氏は弁護士で、明日は民宿ひかり、明後日は、岩本寺宿坊でK本氏と同宿になるようだ。女性は、明日、調布に帰宅される。

17日目 3月29日(水) 晴れ後曇り

ゲストハウス汐風～民宿安和

ゲストハウス汐風 6:35-7:03 埋立-7:37 なすな前-7:50 深浦郵便局前-8:13 土佐黒潮牧場-  
8:31 浦の内トンネル-9:18 横浪Yショップ 9:37-10:07 県道23, 47号合流点-10:20 鳥坂トンネル  
-10:43 須崎休憩所 11:10-11:38 喫茶おとすれ 12:00-12:23 とさこ広場 12:40-13:11  
道の駅かわうその里すさき 13:25-13:50 久保宇津トンネル-14:15 民宿安和(宿泊2名まで) ¥6500

コーヒを入れ、昨日買ったサンドイッチ等で朝食。まだ誰も起きていない。食べている時、奥さんが起きて来た。6時半過ぎ、巡航船に乗らず、初めて、内ノ浦沿いに歩くので念の為、早々に出発。

いつもは、仕度にトロトロして最後に出発していたが、やれば出来る子なんだ。

宇佐大橋を渡る途中、散歩中の地元の方と会い、話しながら渡る。写真も撮っていただいた。



汐風にて



汐風の奥さん



宇佐大橋上 散歩中の方に撮って頂く

りり庵、巡航船乗り場の埋立を過ぎ、夕風から1時間程で民宿なすな前に来る。暫く歩いていると、前にお遍路さんが歩いている。追いついて暫く同行。高知屋で同宿の方だった。区切りで、今回は、高知から伊予北条までとの事。たかのこのホテル、シーバMAKOTOに泊まれ、静岡に帰る。と言われた。

昨夜は、なすなに泊まり、夕食、朝食が非常に良かった。今まで泊まった中では、一番と感激されていた。ペースが合わないようなので、挨拶をして先に行く。



巡航船乗り場 埋立



浦ノ内湾に沿って歩く



浦ノ内湾に沿って歩く



なすな前



少ない遍路マーク



土佐黒潮牧場

深浦を過ぎ、浦の内トンネル。念の為、杖に付けたライトを点滅させながら抜ける。浦ノ内中学校を過ぎると、横浪は近い。ここで宇佐大橋から初めて信号機を見る。教育的な意味で設置か？



浦の内トンネル



浦ノ内中学校前の信号



横浪のYショップ

横浪に到着。夕風の奥さんに教えてもらったYショップで、おにぎり買い、店頭ベンチで休憩。出発から思えば、ここまで休憩なしだった。歩き遍路の方は、あまり歩かないのか、途中、適当な休憩場所がなかったように思う。それこそ雨が降れば、全く座る所が無いようだ。ここで、煙草を2本吸ってしまった。

休憩中に、先程別れた静岡の方が来られた。今夜は、安和乃里に泊まれる。お互い、ペースを落として出来るだけ時間を費やすように歩く。横浪スカイラインとの合流点を過ぎ、鳥坂トンネルの登りにかかる。



鳥坂トンネル



須崎休憩所



セメント工場が見えて来た

トンネルを抜け、下った所にある須崎休憩所で、荷物を降ろして休憩。まだまだ早く着いてしまう。前回より2時間弱遅いだけ。30分程休憩した。その間、静岡の方も到着、暫く話をして、この先の喫茶店でコーヒーを飲んで時間を潰すからと、先に出発した。

丁度、昼時で一杯なら仕方がないと思いながら、喫茶おとすれに入る。店内にお客さんは、一人だけ。奥さんの話で、昼食の提供は止め、カレーライス程度にして、主にコーヒーだけで営業しているとの事。

コーヒーを飲んで出発。セメント会社の横を通り、川を渡って「とさっこ広場」へ。ここのベンチで昼食。うしろのベンチで休んでいた地元の方が、千葉から来た女性が20kgの荷物を背負い、野宿をしながら歩いていた。と言っていた。この女性の話は、途中でも、こんな女性がいる。と噂になっていた。また、この女性は、千葉から四国へも歩いて来たとも聞いていた。が自分は、会ってないし、見ていない。



セメント工場の横を歩く



踏切を渡りとさっこ広場へ



とさっこ広場

昼食後、国道56号を行く。今回も別格の大善寺には、寄らないつもりなので、そのまま国道を歩き道の駅かわうその里すさきへ。一応、中を通り抜け、外のベンチで、また休憩。



国道を行く



本日定休日



久保宇津トンネル

角谷トンネルまでは、登り。昨年、トンネル手前の道端に座って、昼食を取った久保宇津トンネルを抜け、下りにかかった所で、自転車に乗った方と出会う。その方は、自転車を降りて一緒に歩きながら話しかけて来た。七子峠の奥の方、大野見で一人暮らし。ここからまだ20km以上あるらしい。



安和の海



安和駅



民宿 安和

民宿安和前で別れる。気の毒に、ここからまた登り。七子峠には国道を行かれるが自転車では、かなりキツイのではないかと。14時過ぎに民宿安和に到着。部屋でゆっくりする。15時過ぎ、窓の外を見ると安和乃里に泊まる、静岡の方が通っていった。この方も、どこかで時間を潰していたのだろう。

先客が一人、入浴中。ご主人に、今日は、満室と聞いていたが。と聞くと、今は、奥さんの体調が良くないので、宿泊は、二人までしか取っていないと言われた。

入浴交替時、浴室から出て来たのは、何と今まで何度も同宿のM森さんだった。かなり早く到着したらしい。前日は、民宿みっちゃん泊、明日は、久礼まで電車を使われるようだ。

夕食は、M森さん、民宿のご夫婦と話しながら食べる。ご主人の話で、高知では、イタドリを調理して食べるし、栽培している人もいて、道の駅でも売っていると言われた。そんなバカなと思ったが。

18日目 3月30日(木) 晴れ後曇り 民宿安和～(大坂遍路道)～まるか旅館

民宿安和 7:11—7:27 焼坂トンネル—7:58 焼坂休憩所 8:03—8:15 国道から久礼へ分岐—8:31 大坂、そえみみず遍路道分岐—9:05 大坂休憩所—10:05 奥大坂休憩所 10:27—11:01 七子峠 11:12—11:53 雪椿休憩所 12:20—12:33 生行様—13:34 道の駅めぐり 14:00—14:43 「37番・岩本寺」 15:12—15:18 まるか旅館 旅行割¥6000 クーポン券¥2000

朝食、6時半から。M森さんは、朝食後、直ぐに安和駅に向かわれた。こちらは、ゆっくり出発。焼坂トンネル迄は、登り。トンネル内は歩道が無く、白線のみで、交通量は少ないが、念の為、杖のライトを点滅させながら歩く。下った所にある焼坂休憩所で一服する。



安和から焼坂トンネルへ



焼坂トンネル



焼坂休憩所



国道を進み、分岐で久礼の街中を歩く。久礼駅前に来た時、一旦、線路をくぐり、国道沿いにあるファミマで昼食の準備をする。再び、街中に戻り、大坂橋を渡って、大坂遍路道を歩く。



国道から分岐、久礼の街中へ



久礼の街中へ



橋を渡り久礼の街並みを歩く



久礼の街並み



久礼の街並み



久礼駅



大坂橋を渡る



大坂谷川沿いの桜並木



七子峠へ5.7km

大坂休憩所から大坂谷川沿いの桜並木は、期待通りに満開。気持ち良く歩く。



大坂休憩所



大坂谷川沿いの桜並木



満開の中を歩く

1時間程で奥大坂の休憩所。ここで、パンの残りや民宿安和で頂いた小夏を食べ、七子峠への登りに備え、腹ごしらえをする。小夏は、ムッキーちゃんを使って食べたが、みずみずしく美味しかった。



奥大坂へ



奥大坂の休憩所



小夏を食べる

いよいよ登りにかかる。15分程登ると、谷川のせせらぎ音が聞こえなくなり、静寂の中を登る。汗をかくが、風が心地よく吹く。車のエンジン音が時折、聞こえて来るようになった。峠は、近い。



七子峠へ登り口



七子峠へ



七子峠へ

目の前に、階段が現れる。峠は、直ぐだ。休憩所から30分程で七子峠。快調に登れた。やはり、そえみみず遍路道より、楽かも知れない。天気が良ければの話だが。



階段が現れる



七子峠



七子峠からの眺望 海が見える

ななこ茶屋は、シャッターが降りて閉まっていた。昨春、2階で茶菓のお接待をしてくれたご主人が昨秋、お亡くなりになったと、他の方のブログで知っていたが。茶屋前のイスに座って、缶コーヒを飲みながら、昨春の事を思い出す。



ななこ茶屋



ななこ茶屋



国道を行く

合掌して出発。遍路道を歩かず、国道を歩く。雪椿休憩所で昼食休憩。出発の準備をしていると若い女性遍路さんが通り過ぎる。「休憩は？」と話しかけると「日本語はダメ」と言う。台湾から来た方だった。スマホを持ち、ゆっくりと歩かれている。

影野小学校前から遍路道に入り、生行様に手を合わせ、遍路道に戻る。彼女と前後しながら歩く。



雪椿休憩所



生行様の墓



生行様から遍路道を行く

雪椿休憩所から1時間少して、道の駅めぐり窪川。ベンチで浦ノ内で出会った方が休んでいた。今夜は、宿坊泊で伊予北条までの区切り打ちの方。足のマメが痛そうだった。

一服して出発。窪川駅前を通るつもりが、間違えて遠回りして37番・岩本寺へ。本堂を参拝。ここは、本尊が5体いらっしゃるの、真言をそれぞれ3回ずつ、計15回唱える事になる。続いて大師堂参拝。団体も参拝中。



道の駅めぐり窪川



37番・岩本寺 山門



岩本寺 本堂



本堂の天井画



岩本寺 大師堂



修行大師像



まるか旅館

納経後、道の駅で出会った方が到着。マメは、水を抜いただけと言われたので、念の為、と言って、テーピングテープ、バンドエイド、消毒綿を差し上げる。参拝を終え、まるか旅館へ。

フロントには、長女の方が居られ、初めてお会いした。以前、女将さんが、長女が後を継いでくれる。と喜んでおられたが、顔を見るのは、初めてだった。

洗濯、入浴後、八十窪迄と森本屋を予約。但し、岡田は満室で断られ、白地荘を予約した。岡田は、満室と言うより、人数制限と言われた。(後日、他からの情報で、岡田の事情で、現在、宿泊は4人までと制限中との事。) 久しぶりに京都のI藤さんが同宿、明日、ネストでも同宿になる。

19日目 3月31日(金)曇り

まるか旅館～初刈エトガ-デソ土佐

まるか旅館 7:03-7:50 窪川運動公園入口-8:17 国道から左遍路道へ-8:26 美化センター-8:36 片坂第一、第二トンネル間-8:47 西尾自動車内休憩所-9:03 橘川接待処 9:20-9:36 拳ノ川休憩所-9:48 佐賀温泉(休業中)前-荷稻郵便局-10:05 舟川橋バス停-10:44 上不破原バス停 10:54-11:08 伊与喜駅前-11:23 熊井トンネル-11:45 道の駅なぶら土佐佐賀 12:10-12:50 佐賀公園駅前-13:07 民宿白浜前-13:13 白浜海岸休憩所 13:18-13:50 井の岬トンネル-14:09 観音寺-14:21 民宿海坊主前-14:48 民宿みやこ前-14:55 大方休憩所 15:05-15:15 道の駅ピオスおおがた 15:20-15:50 初刈エトガ-デソ土佐 旅行割¥5600+¥200+クーポン券¥3000

7時過ぎに出発。街はずれのファミマで、早速クーポン券を使って昼食の準備。店の方も詳しくは無いようで、手こずり、レジに他の客も並び始めた為か、スマホに支払い終了が表示されたので、もういいです。と言われ店を出る。スッキリしない気持ち。

曇り空の中、国道を行く。四国電力資材置き場の先から、国道と別れ、遍路道に入る。美化センターの中を少し歩き、片坂トンネルに向かう遍路道へ。歩き易い。



窪川運動場入口を過ぎる



国道から左へ遍路道



国道から離れ集落内を歩く



美化センターに入る



美化センター内から遍路道へ



片坂第一、第二トンネルの間に入る

片坂第一、第二トンネルの間に出て、すぐ右の遍路道を下る。西尾自動車の脇を通り、国道を行く。ここまで来たなら橘川の接待処まで、休憩なしで行こうと歩く。



トンネルの間から遍路道を下る



西尾自動車の脇に出る



橘川接待処(個人宅)

西尾自動車前から15、6分で接待処。庭にご主人が居られ、声を掛けてくれた。ホッとする。庭に入り、ベンチに座ってコーヒーを頂きながら談笑。今日も5、6人通られたとの事。

「藤さんの事が気になっていたの、赤い杖の方が通ったのでは。と言うと、あ〜京都の藤さんネ。あの方、腰の具合が悪そうだった。シップは持っていると言っていたとの事。

納札をお渡しして、お礼を言って出発しようとした時、入れ違いに、宿坊に泊まったK本氏がやって来た。朝のお勤めが長引き、出発が7時半頃になったと言われていた。K本氏と交代して出発。

拳ノ川休憩所、休業中の佐賀温泉を過ぎ、丁度、国道沿いの荷稻郵便局ATMで現金補充する。今日は休憩する気にならず、どんどん歩ける。



拳ノ川休憩所



佐賀温泉前の休憩所



佐賀温泉（休業中）

少し、空腹を覚え、いつも休憩している上不破原バス停で、やっと荷物を降ろして一服。ワッフルを食べる。前に二人の遍路さんが見えていたが、休憩なしで歩いて行かれた。



工事会社の遍路休憩所



伊与喜駅前



熊井トンネルへ

伊与喜駅前から国道と別れ、熊井トンネルへ向かう。思ったより早く熊井トンネルに到着。なるほど、トンネルは、入口が大きく、出口が小さい。



熊井トンネル



トンネルは、入口が大きい、出口は小さいものぢや

トンネルを抜けると高速道路の工事現場。 bypass用の迂回路が出来ている。踏切を渡り、国道に出ると道の駅は、すぐ先。



工事現場内を歩く



工事現場内



踏切を渡る

手前のローソンの店先に外国人の遍路さんが座っていた。手を挙げて挨拶をすると、笑いながら袋入りの菓子を差し出したので、「サンキュー」と言って一つ頂く。

道の駅に入ると、一昨日、民宿安和のご主人が言っていたように、本当に「イタドリ」が一束¥200で売られていた。信じられない。



再び国道に出る



道の駅なぶら土佐佐賀



道の駅でイタドリ1束¥200

道の駅のベンチで昼食中、昨日、テーピングをあげた方が丁度来られ、貼って来たので、大分楽になったとお礼を言われた。彼は、道の駅で昼食。今夜は、たかはま泊。時間的に余裕がある。一服後、出発する。

道の駅からは国道を行かずに、土佐佐賀の街中を歩く。横浜トンネルの出口で合流。ここから西南大規模公園の海岸美を眺めながら歩く。晴れていたなら、尚、美しいのに。



土佐佐賀駅前



横浜トンネル



土佐西南大規模公園 佐賀地区

途中、白浜休憩所で休んでいると、昨日、まるか旅館で同宿の若者が追いついて来た。暫く、話しながら歩くが、ペースが違うので、先に行ってもらう。



土佐西南大規模公園 佐賀地区



民宿 白浜



白浜休憩所

井の岬トンネルを抜け、観音寺でも休憩せずに歩く。海坊主、みやこ前を通り、大方休憩所で休憩。お腹が空いて来たので、今日、買った大福を食べる。入野松原が見えている。後少しだ。



井の岬トンネル



観音寺



ホテル海坊主



民宿 ビッグマリーン



民宿 みやこ



大方休憩所

道の駅ビオスおおかたに到着。やはり、高知に来たからには、これを買う。ミレーを買ってネスト・ウエストガーデン土佐に向かう。後2.5kmだが、ここからが長く感じる。公園内を、汗をかきながら歩く。30分程歩いて、やっと到着。



道の駅ビオスおおかた



ネストH



ネスト・ウエストガーデン土佐

チェックインするとフロントの方から、I藤さんが、20分程前に到着し、夕食を一緒に食べたいと言っておられますが、どうしますか。と聞かれ、了解。

部屋に行く途中、I藤さんとK本氏にバッタリ出会う。大浴場に行かれるところだった。部屋に入り、着替えてから大浴場へ。

今日の夕食は、クーポン券。生ビールも飲むぞ！ | 藤さんと夕食。やはり、腰痛が辛そうだった。明日は、民宿大岐の浜に泊まれる。大丈夫か。

20日目 4月1日(土) 晴れ

初・ウエストガーデン土佐～伊豆田峠～民宿くもも

初・ウエストガーデン土佐 7:50-8:17 蛸瀬橋上休憩所 8:56 田野浦自販機ベンチ 9:06-9:38 竹島小学校前  
-9:44 ローソン 10:00-10:42 野鳥公園休憩所 10:50-11:25 伊豆田峠へ分岐 11:45-12:03  
車道から右へ 12:20 伊豆田峠 12:41 車道出会い 12:58 市野瀬休憩所 13:25-14:19 下ノ加江  
ローソン 14:45-15:32 民宿くもも ¥6500

朝食は、7時からだったが、7時前から | 藤さんと朝食。80歳のK本さんは、今日は、民宿旅路迄なので、既に出発されたのか、姿は見えない。清算後、チェックアウト。旅行割で1泊朝食¥5600  
昨日の夕食が、クーポン券使用で¥2600、生ビールが¥600。¥200追加し、¥5800。ここでこの金額は、かなり安い。部屋は、綺麗で、職員の対応も良く、セリーズと同様、気持ち良く泊まれる。



ネスト・ウエストガーデン土佐



公園内から蛸瀬橋へ



蛸瀬橋を渡る

| 藤さんが先に出発。準備後、出発は、8時前になった。公園内を歩き、30分程で蛸瀬橋から登った所にある休憩所。遍路さんが一人、休憩中だった。ここを通過し、田野浦自販機のあるベンチ手前で | 藤さんに追いつく。ベンチで一緒に休憩。

昨夜のシップで、大分腰痛もましになったとの事だったが、まだ歩き方から、痛みは残っているようだった。ペースを合わせると、気を使われるのではと、先を歩く。



蛸瀬橋から登った所に休憩所



自販機のあるベンチで休憩



四万十川を目指す

竹島小学校が見えているので、四万十川の近くまで来ている。四万十大橋手前のローソンで昼食の用意をして、ベンチで一服していると | 藤さんが到着。店内に入られたので出発した。昨日、 | 藤さんから、一度、伊豆田峠を歩いて見ては。と勧められたので、今回はトンネルを歩かず、峠越えをするつもりだ。





竹島小学校



四万十大橋手前のローソン



四万十大橋



四万十大橋



四万十川



鳴滝の枕状溶岩

野鳥公園の休憩所でトイレ休憩。ここから30分少しで、伊豆田峠への分岐に到着。登る前に腹ごしらえと、路端に荷物を降ろして、先程買ったおにぎりを2個食べる。当初、車道をやや登り気味に行くが、20分程で車道と別れ、右を指す遍路標識。その説明の中に、300m位先で更に、右に山道との表示。



野鳥公園の休憩所



大文字山



伊豆田峠への分岐



車道から右へ



伊豆田峠へ



伊豆田峠へ

山道に入ると、石がゴロゴロ、急登が続き歩きにくい、次第に石コロが少なくなり、落ち葉の溜まった歩き易い道になった。初めての道で、どれぐらいで峠なのか判らないので、七子峠よりキツイのかなと思いながら登る。15分程の登りで、目の前に石積みが見えた。柏坂でも、石積みが見えたら尾根だったのでここでも最高地点かなと思ったら、やはり、峠だった。

ただ、伊豆田峠の表示は、無く。少しの平地に古い石標が立っているが読めない。それと草刈りの協力をと草刈り用のハサミが置いてあるだけだった。



伊豆田峠



伊豆田峠の石標



伊豆田峠

ここから下り。伊豆田トンネルとの分岐から35分位だったので、思ったより時間は、かからないようだ。下りも同じ位の時間かなと思いながら、下って行く。樹間から下に舗装道路が見えて来た。下に降りて来たのかなと思ったが、車道が意外と長く、登りもある。丁度、三原への道の、やや北に出て来たようだ。



峠からの下り



舗装道路まで下って来た



市野瀬へ

三原への標識、分岐路を過ぎ、真念庵の下も通って、明後日、三原への予習が出来たようだ。見覚えのある道路標識、市野瀬に出て来た。13時少し前、休憩所に到着。昨年、トンネルを抜けた時より、約40分程遅い。



三原への分岐路



三原への分岐路



トンネルからの国道321号と合流

休憩所でワッフルを食べ、カルピスを飲む。暫くして高知屋で同宿以来、何度もお会いしているY下さんがトンネルを抜けて到着。続いて、雪椿から窪川で見かけた台湾女性も。二人共、当初、伊豆田峠を目指したが、車道を歩いている時、前から来た車が停まり、この先は、通行禁止になっていると言い、車に乗せて分岐まで送ってもらったとの事。これを聞いて、確かに通行止めの看板は、あったが、分岐では、この先、車両の通り抜けは不可と表示してあり、車では、この先は、行けないが、歩行者は支障なく歩けた。と言うと、残念がっていた。車の方が、気を利かせ過ぎたようだ。

休憩所を先に出発。下ノ加江のローソン（足摺岬へ最後のコンビニ）で明日の用意もあるので、五味橋方面へ行かず、そのまま国道を歩く。ローソン横のベンチで休憩中、Y下さんが到着。以降、くもも迄、同行する。



市野瀬の休憩所



右は、五味橋方面へ



元ロッジカメラア



下ノ加江方面を振り返る



久百々の海岸



民宿 くもも

くももに到着。玄関を開け、声をかけるが、返事がなく、留守のようで、白板に部屋割りが書いてあったので、勝手に入り、荷物を部屋に置いてから、外で煙草を吸っていると、中から女将さんが出て来た。包丁を研いでいたので気が付かなかったようだ。改めてチェックイン。明日の為、小さなザックも借り、朝食は、5時からをお願いした。明日は、いよいよ往復40km以上の打戻り、何時に帰れるか。目標は16時。

17時頃、民宿大岐の浜に電話してI藤さんのチェックインを確認。一安心した。と言うのも、市野瀬の休憩所で、前夜、民宿たかほまに泊まったY下さんが、大橋手前のローソンに着いた時、I藤さんが、まだ居られたと聞いて、少し心配になった為。

21日目 4月2日(日) 曇り時々晴れ 民宿くもも~38番打戻り~民宿くもも

民宿くもも 5:24-5:47 民宿大岐の浜前-6:00 大岐の浜展望台-6:26 窪津へ分岐-6:36 下港山バス停  
6:40-6:46 幡陽小学校前-7:00 以布利トイレ休憩所-7:04 以布利へんろ橋-7:34 てまり-  
8:00 窪津港 8:09-8:47 へんろ小屋 8:52-9:23 サライ前-9:56 「38番・金剛福寺」 10:18  
<打戻り>  
ジョン万次郎像前で昼食 10:45-11:18 サライ前-11:51 へんろ小屋-12:30 窪津港 12:37-  
13:04 てまり-13:38 以布利バス停(ゲストハウス草々横) 13:43-13:58 幡陽小学校前-14:11  
窪津へ分岐-14:34 大岐の浜展望台 14:39-14:49 民宿大岐の浜前-15:09 民宿くもも(9時間45分)

¥6500 ビール¥500

朝食を5時からにして頂き、まだ暗い中を出発。ライトを持ち、杖に付けたライトを点滅させながら歩く。大岐の浜辺りに来て、ようやく明るくなって来た。



民宿大岐の浜前 まだ薄暗い



大岐の浜展望台 やや明るくなった



展望台から大岐の浜

浜に降り、適当な場所を探して、両親と山友の波供養をした。今日は、風があり、波も強く、直ぐに次の波が来るので、大急ぎで砂に名前を書いた。



浜に降りる



波供養をした



左 窪津へ

浜の途中にある監視台付近で、浜から上がる。サーファーがもう数人来ていた。国道 321 号に出て、まず、以布利を目指す。下港山付近で道を掃除している方から、頑張ってください。と、お接待のキャンディを頂く。予め、ズボンのポケットに入れて用意をされているようだ。お礼を言って頂く。

下港山バス停で一服。幡陽小学校の角を左折し以布利方面へ向かう。福祉施設の建物を回り込み、以布利港へ降りて行く。



お接待で頂いた



下港山バス停で一服



幡陽小学校の角を左へ

休憩所でトイレ後、港に沿って歩き、以布利廻路橋を渡る。海岸を少し歩き、山道を登り、林道を歩き「てまり」前に来る。今は、もう荒れ果てて休憩をする気にもなれない。管理されていた方は、もう居ないのだろう。残念だ。林道から県道 27 号に出たとたんに海からの強い風。県道の復旧工事は、ほぼ終わっているようだ。



民宿 旅路前



以布利ジンベエ広場のトイレ



以布利漁港



以布利へんろ橋



暫く海岸を歩く



海岸から登る



休憩処てまり



県道 27 号に出る 海から強い風



県道 27 号海沿いを歩く

海岸沿いを窪津港へ。風は、県道に出て、少しの間だけで、海沿いに来ると収まっていた。しかし、波は荒い。港の端にあるベンチで休憩。神社の脇から急登の道を上がる。県道に出る途中、道にタヌキが死んで横たわっていた。車は通れないような細い道なのに。



窪津漁港



窪津漁港



へんろ小屋

県道 27 号に出て、そのまま歩く。窪津港から 40 分程でへんろ小屋。ベンチに腰を降ろして休憩する。野宿も可能な小屋で、黒板には、上にある家で風呂も使えと書かれていた。

津呂を過ぎ、ペンションサライ前に来ると、岬まで、後少し。岬に近づいた頃、前から若い女性遍路さん。昨日と今日、以布利のゲストハウス草々(くたくた)に連泊し、打ち戻りとの事。今日は、宿に帰ってからジンベエザメの餌やりに参加する事や、明日は、三原の「黒うさぎ」に泊まる予定など、向こうからドンドン話して来る。愛嬌のある娘だ。杖も母親が使っていたものだとも言った。くももが満室で草々にしたそうだが、1泊¥3000で2食はお接待と知って、喜んでいた。



ペンションサライ前



足摺岬は近い



ジョン万次郎像

別れた後、10時少し前に38番に到着。観光客もちらほら。



38番・金剛福寺 山門



金剛福寺 本堂



金剛福寺 大師堂



金剛福寺



金剛福寺

参拝、納経後、ジョン万次郎像の横にあるベンチで、くももが持たせてくれた、おにぎり弁当とバナナを食べる。左足に、どうもマメが出来そうな感じなので、念の為にテーピングをする。

後は、打戻り。まず、くももで同宿のY下さんに出会う。大岐の浜に泊まった！藤さんを追い越して来たが、少し、辛そうに歩いていたとの事。また、旅路に泊まって、打戻りのK本氏に出会う。今日は、くももに泊まれる。同宿だ。

続いて、どこに泊まったのかM森さん。暫く行くと前から、体をくの字に曲げて、一目で判る歩き方、！藤さんだ。2~3時間歩くと痛みが出て来るとも言っていた。昨日は、とうとう市野瀬から元カメラ前までバスに乗った事、大岐の浜の女将さんが、次の宿泊先、大平まで荷物を送ってくれた事などを聞き、無理しないでと別れる。その他、打ち戻るので結構、足摺を目指す方とすれ違う。外国の方も4人出会った。

津呂付近に来た時、地元のお婆ちゃんが休憩して行き。と、しつこく言うので、指差したガレージの椅子に腰をかけ、話を聞く。自分の事や娘さんの事を話し、何度も繰り返すようになったので、これはと思いお礼を言って早々退去。無視して歩けば良かった。後で別の方も捕まったと言っていた。

窪津港を過ぎ、以布利は、海岸に降りず、林道と県道 27 号を歩く。結果として、海岸に降り、遍路橋を渡って、以布利郵便局の所で県道に出た方が、近かったかも知れない。丁度、草々の前に入る。草々横の以布利バス停で一服する。



窪津まで戻ってきた



県道 27 号土砂崩れの爪痕



ゲストハウス草々(くたくた)

民宿旅路の前を過ぎると国道 321 号は近い。朝、左・窪津への分岐まで戻って来た。大岐の浜も近い。この分だと 15 時半までに戻れるかも知れない。大岐の展望台で一服した後、一目散にくももに向かう。

前に遍路さんが一人歩いている。段々近づくと、どうも旅路から打ち戻って、くももに泊まるK本氏のような。やはり、くももに入って行った。続いて、くももに「ただいまあ〜」と入る。思っていたより、早く帰ったので、女将さんもビックリしていた。



大岐の浜



民宿大岐の浜前まで戻る 後少し



くももに戻って来た

今までは、金剛福寺参拝後、足摺岬周辺を観光して帰っていたが、今回は、周辺をブラブラせず、納経、昼食後、直ぐに帰路についた為、その分早く帰れた。と説明した。洗濯機を回して入浴。

明日は、初めて、真念道から三原へ上がる。

22 日目 4 月 3 日 (月) 晴れ後曇り一時雨

民宿くもも～真念道～鶴の家旅館

民宿くもも 7:23—7:56 元ロッジカメラリア前—下ノ加江ローソン—8:42 五味橋方面分岐—9:02 市野瀬休憩所  
9:12—9:29 真念庵—9:30—9:35 伊豆田道分岐—10:24 成山遍路休憩所—10:35—11:02 林道出合い—  
11:27 三原小東分校跡県道へ—11:40 農家民宿今ちゃん入口—11:43 上長谷集会所—12:10—12:22  
農家民宿風車前休憩所—12:30—12:43 宮ノ川トンネル—13:05 三原やまびこカフェ—13:20—13:28 船ヶ峠  
—14:15 黒川トンネル出口—14:35 県道 21 号から分岐—15:01 鶴の家旅館—15:30 「39 番・延光寺」  
15:50—16:15 鶴の家旅館 ¥8000 ビール¥700

朝食後、コーヒーを飲みながら、外で煙草を吸っていると、昨夜、近くの民宿いさり火に泊まった、Y田さんが歩いて来た。これから足摺に向かわれる。暫く立ち話をする。例のドイツ人ナリーヌちゃん、M田さんが高知駅から帰宅する時、出会ったそうだ。何でも香南市に友達が居るらしく、近辺でゆっくりしているようだ。また、ののほなこさんが、日和佐から室戸岬に向かわれている事も教えてくれた。やはり、彼女もお遍路に出たか。挨拶をして別れる。



久百々の朝



今日は、ゆっくりと最後に出発。39番・延光寺は、時間によっては、明日、参拝してもかまわない。元ロッジカメラ前まで戻り、今日は、橋を渡ってローソンに立寄る。店を出てから、そのまま国道を歩き、市野瀬へ向かう。



市野瀬へ



市野瀬



市野瀬のトイレ休憩所

市野瀬で休憩後、出発し駐車場を出ようとした時、後方から「オーイ」の声。振り向くと、何と！藤さん土佐清水の民宿大平に泊まった筈なのに？？？。腰痛でバスを利用したのかと思ったが、大平のご主人が心配して車で、下ノ加江まで送ってくれたそうだ。

民宿大岐の浜と言ひ、民宿大平と言ひ、皆の親切に助けられて、ここまで来れた。と感激されていた。今日は、三原の農家民宿今ちゃんに泊まれる。普通、ここからだ、午前中に到着するが、無理をしないでと、先に出発する。



市野瀬を出発



階段を上がり、真念庵へ



真念庵へ 整備された道





真念庵



真念庵



真念庵

駐車場先の階段を上がり、あしずり遍路道に入る。県道 46 号と並行して真念庵に至る道だ。真念庵で手を合わせ、県道に下る。一昨日、伊豆田峠からの道で、三原方面への分岐路は確認済み。下ノ加江からの県道 21 号と違って、道路幅も広く、車の通行も多い。空も開けているので明るい。



県道 46 号を三原へ



三原村に入る



真念庵から約 1 時間で、ポツンと自販機が立っている。確か、事前にグーグルアースで確認した時の景色。そばに、遍路休憩所があるはずだ。やはり、自販機から、すぐの所に休憩所があった。中から、人の話し声が聞こえる。地元のお婆ちゃんが 2 人座って世間話をしていた。ベンチに荷物を置き、少し話をしてからバナナを食べる。



ポツンと自販機



自販機そばの遍路休憩所



県道から左、遍路道へ

一服後、すぐ先で県道と別れ、左の遍路道を上がる。県道と並行かなと思ったが、意外と登りが続く。30 分程歩くと、舗装道路に出た。山沿いに続く舗装道路を歩き、30 分弱で県道と合流。



遍路道



県道と並行し登りが続く



山道が終わり舗装道路へ



へんろ石 指差しのみで文字はない



先の橋から県道へ合流



農家民宿今ちゃんへの道

暫く行くと、農家民宿今ちゃんの入り口。そこから直ぐ、上長谷集会所。トイレ有りの標識。綺麗に管理されている。トイレ休憩と思っただが、集会所の階段に座って昼食。ここから、少し先にある風車前のベンチでも休憩。完全にダレている。



上長谷集会所



真念法師の道標 右地藏峠へ分岐路



農家民宿 風車

県道 46 号を 10 分程歩いて、三叉路を右へ、宮ノ川トンネルを抜ける。出口から、そのまま農業道路を進み、三原じまんや方面へ。途中、右に入り、直接、船ヶ峠へ出る道があったが、やまびこカフェでコーヒーを飲もうと、遠回りだが、三原じまんやへ行く。



宮ノ川トンネル



右 やまびこカフェへ



やまびこカフェ

13 時過ぎに到着。従業員の方達が、賄の昼食中。コーヒーを注文し一服。お接待と言って、バナナを 1 本頂く。ザックには、まだ 2 本入れているが、有難く頂く。



三原のじまんや



船ヶ峠



宿毛市に入る

船ヶ峠からは下り。今日中に39番を打てるかな。黒川トンネルを抜け、少し下った所で、道路の反対側を歩いて来るお遍路さん。手を上げ、挨拶をすると、こちら側に来て挨拶。若い女性遍路さんだった。ザックは、かなり重そうで、17,8kg位と言っていた。野宿もしながら歩いているが、今日は、黒うさぎに泊まるとの事。

そう言えば、今日は、静岡でお茶農園をしているY下さんも泊まる筈。草々に連泊の女性も、黒うさぎと言っていた。うらやましい、彼は、今夜、若い女性二人と同宿だ。

少し荷物を重くしてあげると、バナナは重ければ、すぐ食べればいいし、ミレーは軽いので負担は、あまりないだろう。と言いながら、バナナ1本とミレー1袋を渡す。今夜、同宿のY下さんによろしく伝えてと、伝言を頼んで別れる。



梅ノ木公園



中筋川ダム



黒川トンネル

後は、国道56号まで下るだけ。中筋ダム警報所の先から県道と別れ、遍路道を歩く。鶴の家旅館に荷物を置いて、高知県最後の札所、39番・延光寺へ。雨がパラついて来たので傘を持って向かう。どうにか、今日中に参拝出来、鶴の家旅館に戻る。



中筋ダム警報所



県道から左遍路道へ



鶴の家旅館



39番・延光寺 山門



延光寺 本堂

帰宅後、写真を整理していて気付いたが、延光寺山門で偶然写った外国人の方、この後、何度か同行する事になる、スイスのリンリュウ（林竜）氏だったので、ビックリ。既に、この時、出会っていたのだ。



延光寺 大師堂



延光寺 梵鐘を背負った赤亀



延光寺 寺山の いぶき



延光寺 境内

旅館に戻ると、K本氏は、既に到着。39番を打ち、入浴も済ませておられた。本日、同宿は、K本氏だけ。夕食時、ビールを飲みながら歓談。明日、いよいよ愛媛県に入る。週末の天気は下り坂。柏、齒長は、どうだろう。

一昨年、昨年と違い、一気に歩き遍路さんの数も増え、また、団体も多く見られた。特に外国人の遍路さんは、コロナ前よりも、格段に多くなっている印象を受ける。

天気あまり恵まれず、宿の確保も、難しく、何とか徳島、高知を打ち終わり、ここまで来れた。明日から、やっと愛媛に入る。

## 徳島、高知を打ち終わり、愛媛に入る

伊予の国（菩提の道場） 40番・観自在寺～65番・三角寺

23日目 4月4日（火）晴れ一時曇り

鶴の家旅館～松尾峠～山代屋旅館

鶴の家旅館 6:50—8:10 松田川右岸—8:22 ローソン 8:40—8:51 宿毛貝塚—9:13 錦—9:25 小深浦—9:34 大深浦—9:57 松尾峠まで 1000m 地点 10:05—10:30 松尾峠 10:57—11:16 車道出会い—11:37 春日神社前ベンチ 11:47—12:00 松尾大師 12:02—12:09 国道 56 号交差点—12:30 札掛の宿—12:45 赤坂遍路道—12:59 大宮神社前休憩所 13:30—13:57 僧都川左岸—14:22 フジスーパー前—14:37 「40番・観自在寺」 15:00—15:02 山代屋旅館 ¥4500 素泊まり

7 時前に鶴の家旅館を出発。すぐに逆打ちの方と出会い、三原方面への道を聞かれる。すぐ先の鶴の家旅館前を右へ入り、橋を渡って道なりに行けば県道 21 号に出て、三原へ。と教えてあげる。1 時間 20 分程で、松田川右岸に到着。ここまで、朝の通勤時間帯なのか、かなり交通量が多い。



鶴の家旅館



松田川を渡る



松田川右岸休憩所

街中に入り、林邸を左折、途中、ローソンで昼の用意をする。店の横のベンチで一服しているとスイスから来た林竜氏（リンリュウ、杖に漢字とカタカナで書いてあった。）が来られ、たどたどしく話をする。息子さんの写真を見せ、以前、一緒に遍路をしたとの事。今夜は、同じ山代屋旅館に泊まれる。

彼と別れ、街中を抜け、国道 56 号を渡って宿毛貝塚へ。ここから住宅地の中を歩くが、舗装はしていても急登の道。住んでいる人は大変だろうなあ。と思いながら登る。



林邸



宿毛貝塚へ



宿毛貝塚

錦、小深浦の集落を抜け、大深浦から松尾峠へ登る。結構、上まで車の通れる道で、歩き易い。峠まで後 1000m の地点で荷物を降ろし、休憩。パンを食べていると、先程会った、スイス人のリンリュウ氏が追い越して行く。



錦から小深浦へ



小深浦から大深浦



大深浦から松尾峠へ



松尾峠へ



松尾峠へ あと1000m



街道の石畳 先年の大雨で崩れた

ここから25分程で峠。茶屋跡から宿毛市内が一望出来る。静か、爽快。時間的には早いけど、峠の愛媛県寄りにある休憩所で昼食。おにぎり、バナナを食べる。誰も居ない。



松尾峠 茶屋跡



茶屋跡からの眺望



大師堂跡



松尾峠



松尾峠 休憩所



松尾峠

一服後、愛媛県側に、良く整備された道を気持ちよく下る。20分程で林道に降りて来る。



愛媛県側を下る



歩き易い下り



林道に降りて来る

春日神社前のベンチでトイレ休憩。隣に綺麗に管理されているトイレがある。



従是西伊予宇和島領



小山御番所井戸



春日神社前ベンチ 横はトイレ

松尾大師を経て、国道56号を横断。交差点にローソンがあるが寄らずに、そのまま直進。県道299号を歩き、札掛の宿前を通って、癒しの里道を歩く。再び県道に出て、赤坂遍路道に入る。前に遍路さんが一人歩いている。途中、県道を横切る所で追い越して行く。



松尾大師



国道56号を渡り、直進



札掛の宿前

大宮神社前の休憩所に到着、休憩。簡易郵便局隣の商店でアイスを買って食べる。先程追い越した遍路さんもやって来て休憩。神戸から来た方だった。時間も早いので、二人共大休止。



癒しの里道を歩く



県道から赤坂遍路道に上がる



大宮神社前休憩所

出発しようとした時、松尾峠の登りで追い越されたリンリュウ氏が到着。彼を、どこで追い越した？ 先に出発。いつもながら僧都川の堤防上は風が強い。



いっぷく堂 (もう使用は?)



僧都川左岸に出る



左岸堤防上を歩く とよた茶堂

今日泊まる山代屋旅館が素泊まりの為、スーパーからの時間を知らなかったので、城辺橋を渡って、フジスーパー前から街中を歩く。約15分かかった。

40番・観自在寺を参拝。納経所に行くと緑色、赤色の納札を置いてあったので、緑色の納札を買う。境内で、くももで同宿の方と出会う。今夜は、同じく山代屋旅館との事。



40番・観自在寺 山門



観自在寺 本堂



観自在寺 大師堂



境内 篠山大権現



境内 米(さかえ)かえる

山代屋旅館にチェックイン。食事の用意は、夫婦共高齢で、きついので素泊まりに変えたとの事。また後継者は、息子さんがいるが、東京で仕事をして暮らしているので無理を言えないし、旅館の建物も古く(大正元年創業)どうしようもないとの事。ご主人も大分弱気になっているようだった。



大正元年創業 山代屋旅館



今夜の夕食です

部屋に荷物を置き、フジスーパーより近くにある(旅館から7, 8分)スーパーA-MAXで夕食、朝食の用意と線香の補充もする。旅館に戻り、入浴。まるか旅館、くももで同宿の方も泊まっており、お互いにビックリ。隣の部屋の方から、たくさんあったのでと、みかんを1個頂く。この方は、皆に配っていた。



山代屋旅館6:25-7:25 八百坂バス停7:30-7:40 菊川橋-8:11 室手海岸-8:28 内海休憩所-8:40 柏  
 8:47-9:40 柳水大師9:55-10:02 林道横断-10:10 尾根-10:16 清水大師-10:26 つわな奥展望台  
 10:36-11:03 茶堂休憩所 11:50-12:20 車道(へんろ橋の標識)-12:56 国道56号-13:25  
 かも田休憩所 13:55-14:40 津島大橋-14:50 三好旅館 ¥7700+ビール¥450 洗濯、乾燥各¥200

素泊まりの為、コーヒを入れ、昨日買ったパン、バナナ、ヨーグルトで朝食。天気のこともあるので早々出発する。街はずれのローソンで昼食の用意をし、国道56号を歩く。八百坂バス停で丁度1時間。荷物を降ろして休憩する。菊川橋を渡って、山間の集落を抜けると室手海岸。空は、どんよりとした灰色。海の色も、空の色を映して灰色になっている。景色を十分に楽しみながら歩く。と言う気分ではない。



八百坂バス停



菊川橋



室手海岸まで来る



室手海岸



内海休憩所



柏漁港

柏に到着。郵便局のATMで現金補充をしようと行くと、ATMは8時45分からの掲示。後、2分。郵便局の前に荷物を降ろして時間待ち。一服後、現金補充。



柏に到着 信号を右へ柏坂に向かう



川に沿って柏坂へ



柏坂 登り口

真ん前、川沿いの道を柏坂へ向かう。柳水大師で休憩中の同宿だった、神戸のT田さんに追いつき、同行。尾根筋まで登り、直ぐ先の清水大師に立寄る為、一旦別れ、再び、尾根に戻る。以前より楽に歩けたようだ。やはり、話ながら歩いたのが良かったのかも知れない。



柏坂を登る



柳水大師の休憩所



車道を横断し更に登る



石積みが見え尾根筋へ



清水大師



清水大師

このルート唯一、展望がきく、つわな奥展望台でゆっくり休憩。晴れていたなら、もっと綺麗な景色を楽しめたのに。



つわな奥からの展望



つわな奥展望台



尾根筋を歩く

概ね、予定通りに茶堂休憩所に到着。二人で、おにぎりの昼食を取る。この間、雨は土砂降り、休憩中で良かった。



茶堂休憩所



リンリュウ氏と



柏坂から津島へ

昼食を食べ終わった頃に、雨が止み、山代屋旅館で同宿だったスイスのリンリュウ氏が到着。休憩を延長、3人で話す。彼は、スイスの新聞社に勤めるジャーナリストで、和歌山の禅寺で修行され、今回、結願後、長崎に行き、やはり長崎のお寺で、修行中のアメリカ人の友人に、会いに行かれるとの事。

ここから3人。廃屋を過ぎて、道は、山道から車道へと変わる。国道56号をくぐり、芳原川沿いの遍路道を歩く。まだ、時間的に早いので、かも田休憩所で3人共休憩。お互い、孫の写真を見せあい、孫自慢。この間、また土砂降り。暫くして止んだので出発。



津島へ



国道56号をくぐる



かも田休憩所

リンリュウ氏は、シガレットペーパーを切らしている。茶堂休憩所、かも田休憩所でも煙草をあげたが、どうもスイスから持って来た煙草に拘っているようだ。コンビニで売っていないだろうか。と聞くので津島大橋袂のローソンで聞くと、売っていない。彼は、ガッカリ。日本人は殆ど紙巻煙草を吸って、手巻き煙草は吸わないので売っている所を見たことが無い。



芳原川沿いを津島へ



岩松川左岸を三好旅館へ



三好旅館

彼は、今夜、三好旅館から少し先のビジネスホテルアイリンに宿泊。三好旅館の前で別れ、T田さんと一緒にチェックイン。入浴後、洗濯。夕食時、同宿4人で歓談がはずみ、20時頃まで話す。

明日、雨ならゆっくり出発でもよい。旅館は、明日休み。明後日に宴会が入り、準備の為との事。

リンリュウ氏は、明日は、民宿みやこ。明後日は、ときわ旅館に泊まれる。

25日目 4月6日(木) 雨時々曇り 三好旅館～ビジネスホテル鶴島

三好旅館 7:55—8:35 松尾トンネル脇 8:40—8:56 林道横切る—9:05 わん屋休憩所 9:20—9:55

柿の木庚申堂 10:00—ローソン—11:40 馬目木大師—天赦園—喫茶校倉・ビヅ 初杉ル鶴島—「別格6番・龍光院」

—セブンイレブン—ビヅ 初杉ル鶴島 ￥4000 素泊まり

同宿4人共、今日は、宇和島駅周辺に泊まり、半日行程。また雨予報と言う事もあり、全員朝食7時から。皆、ゆっくりしている。

朝、雨は降ったり止んだり、各々、女将さんと握手をして出発。T田さんと同行。この天気、トンネル(1710m・歩道あり)を歩くつもりだったが、雨が止んでいたの二人で遍路道、わん屋休憩所に向かう。



三好旅館の女将さんと

トンネル脇から、ゆっくり50分程で、最高点、わん屋休憩所。



松尾トンネル脇から遍路道へ



最高点にある わん屋休憩所

一服後、下山。採石場先から再び遍路道へ入り、柿の木庚申堂にお参りして国道と並行する遍路道を歩く。国道に出て、すぐのローソンで二人は、コーヒブレイク。雨は、依然、降ったり、止んだり。宇和島市街地に入り、まずは、馬目木大師堂へ参拝。国道は、やはり通行量が多い。



採石場の休憩所



柿の木庚申堂



馬目木大師堂

馬目木大師参拝後、天赦園(てんしゃえん)に入園。上がり藤を見学。入場券売り場で年齢が65歳以上だと通常¥500が¥300との事。二人共¥300で入園する。

去年は、聞かれず、だまって¥500払ったが、今更遅い。雨模様と言う事もあり、観光客は殆ど居ない。



天赦園



上がり藤



上がり藤

見学後、宇和島城に行かれるT田さんと別れ、今夜の宿、BH鶴島へ。1階にある喫茶店校倉で昼食。2階のホテルに荷物を置いて、別格の龍光院へ参拝。雨脚は強くなっている。参拝後、駅中のコンビニで夕食、朝食を買い、ホテルへチェックイン。もう、出て行く気にもならない。部屋でボケ~とする。明日も雨か。。。。



別格6番・龍光院



龍光院 本堂



龍光院 大師堂



龍光院 稲荷大明神

26日目 4月7日(金) 雨後晴れ(宇和島市大雨警報) ビジネスホテル鶴島～歯長峠～まつちや旅館

ビズ 初利鶴島 6:30-7:25 コインランドリー 7:30-8:20 光満休憩所 8:30-8:48 務田 9:10  
「41番・龍光寺」 9:30-10:10 「42番・佛木寺」 10:35-11:13 歯長峠下休憩所 11:35-11:56  
歯長峠 11:57-12:27 歯長地藏休憩所 12:40-13:14 見守り大師 13:55 「43番・明石寺」 14:30  
-14:58 まつちや旅館 ¥7000 おにぎり弁当、洗濯お接待

宇和島に大雨警報。予報では、午前中雨、午後から曇り。土砂降りの中、ポンチョを着てホテルを出発。駅前のローソンでお茶、おにぎりを買ひ、昼食の用意をする。北宇和島を過ぎる頃には、靴の中が濡れて来る。へんろ宿もやい前を通り、直ぐ先のコインランドリーの休憩所で一服。県道57号を行く。緩い登りが続く。



JR 宇和島駅前



コインランドリーで休憩



濁流の光満川

歩道の水溜まりや車の水ハネを避けながら歩く。道路沿いの川は濁流になっている。これまで余り、苦にならなかった登りも、神経を使いながら歩くので疲れる。

コインランドリーから50分程でバス停の表示が、遠目で3文字。目が悪くはっきり見えないが、「新屋敷」のバス停だ。光満休憩所は、直ぐの筈。休憩所でポンチョを脱ぎ、荷物を降ろして休憩、一服する。ここまで来れば、務田は近い。県道を登り切った所が、務田の交差点。田んぼの中を通る、一直線の道路が見える。41番まで後一息。



光満休憩所



務田交差点



JR 務田駅



務田から一直線の道路



龍光寺 門前



41番・龍光寺

雨の中を41番・龍光寺参拝。納経後、墓地の中を抜け、次の札所、佛木寺への近道を取り、県道31号に出る。途中のチューリップロードで、前から一人の遍路さんが歩いて来る。お互い、手を挙げる。「藤さんだ。暫く立ち話。昨日、もやいに泊まり、今から道の駅まで戻り、バスで宇和島まで行き、今夜は、宇和パークに泊まるとの事。バスの時間もあるので早々に別れる。」



龍光寺 本堂



龍光寺 大師堂



佛木寺への遍路道から振り返る



佛木寺へ近道



佛木寺へ チューリップロード

42番・佛木寺に到着、参拝。雨は、依然、降り続けている。



42番・佛木寺 山門



佛木寺 本堂(右)と大師堂(左)



佛木寺 不動堂



佛木寺 茅葺の鐘楼

佛木寺参拝後、民宿とうべやのそばから、遍路道に入る。土砂崩れの場所は、斜面に梯子がかけられ、迂回路が出来ていた。



梯子で迂回路が出来ている



再び県道へ



歯長峠下の休憩所

歯長峠下の四国のみち休憩所で、おにぎりの昼食休憩。相変わらず雨が降っている。さてここからルートは、どうするか。

- ①歯長トンネルを抜け、県道を下る。かなり長い。
- ②歯長トンネルを抜け、休憩所脇から遍路道に入る。一昨年通った時は、倒木は殆ど撤去され、土砂で埋もれた県道との合流点も復旧、整備されていたが、途中で流された橋は、復旧されていなかった。この時は、天気も良く、沢は、涸れ沢なので、一旦、沢に降り対岸に上がって難なく通過出来たが、この雨、沢が濁流になっていたら通行不可の可能性あり。
- ③歯長峠越え。休憩所から直ぐの急登。鎖を張った登りは、どうか。また、最後の県道への橋は無いが昨年通った、Aさんは、建物脇の通路で、難なく渡れたと言っていた。

結局、鎖場の急登次第と言う事で、③を取り、昼食後、登り始める。雨の中にも関わらず難なく登れ、峠まで順調に登れた。下りも、そんなに悪路は無かった筈。順調に下って行けど、やはり、昨日からの雨。下山路の所々で、道が川になっている。避けながら用心深く歩き、下山。最後の階段は滝のようになっていた。



歯長峠への登り口



歯長峠送迎庵



歯長峠



さっそく倒木が



山道が川になっていた



慎重に流水を避けて歩く

何とか建物の所に来た。金網に遍路マーク。難なくフェンスの間が通れ、対岸の県道へ渡れた。昨年、通った道は、草が生え放題、誰も通っていないようだった。



階段が滝になっていた



ここまで下りて来た



建物内から県道へ渡れた

歯長地藏横の休憩所で荷物を降ろし休憩。一服後、出発。今までは、橋を渡って、県道を歩いていたが車のしぶきはイヤなので、橋の手前から肱川右岸の遍路道に行く。



歯長地藏



歯長地藏横の休憩所



橋を渡らず、手前を左へ入る



初めて歩く道だが、車の通行もなく歩き易い。暫く歩くと橋を渡る方向へ遍路マーク。渡ると丁度、民宿兵頭の前の県道に出た。



県道を避け、脇川右岸を歩く



見守大師前のベンチ



見守大師



民宿みやこ前を通る

そのまま県道を歩く。見送り大師前の休憩所は、雨に濡れて座れないので通り過ぎ、民宿みやこの前を通って、明石寺へ。駐車場に着いた頃、1台のバスが到着。団体さんが降りる。

山門に上がると、再び！藤さん。宇和島から電車で卯之町に来られ、上がって来たと言われ、途中の道が川の様になっていた。と教えてくれた。参拝を終え、これから卯之町へ下山されるところだった。また、どこかで会えるかもと別れる。

本堂に上がり参拝。納経後、山門で下山の支度をしていると、外国人の遍路さんが写真を撮ろうとしているので、シャッターを押そうかと身振りで示すと、スマホを渡してきたので、山門をバックに写真を撮ってあげた。オランダ人で卯之町に下り、今日は、内子に泊まるようだった。



43番・明石寺 山門



明石寺 本堂



明石寺 大師堂

トイレに行かれたので、まつちや旅館に電話をして、先に下山。藤さんの言う通り、下山路の至る所が川になっていた。思っていたより早く旅館に到着。玄関で靴下も脱ぎ、部屋へ入り、洗濯物を出してすぐ入浴。気持ちが良い。風呂から上がり、部屋へ戻ると窓から明るい日差し。開けると青空が広がっていた。こんなものだ。ひよっとしての予想はしていたが。



卯之町に下る道 やはり川になっていた



卯之町の街並み



卯之町 まつちや旅館

夕食時、同宿は、三好旅館でも同宿の方。安宿に泊まった時、ご主人から靴紐の結び方を1時間程講義してもらった方だった。今日は、齒長トンネルを抜け、県道を下られたとの事。結構、長かったと言われた。明日は、足休めで、大洲のときわ旅館に泊まると言われ、半日行程だとも言っていた。



今年は、卯年 JR 卯之町駅（全国唯一、卯のつく駅）ウサギの稲わらアート  
 一夕食後、宿の方に、駅にウサギを飾っていると教えて頂き、撮影に行った。—

27日目 4月8日（土） 晴れ 風が強く冷たい まつちや旅館～鳥坂峠～ホテルAZ

まつちや旅館 7:28—7:48 国道出合い—7:57 宇和パーク分岐—8:06 三好休憩所—8:15 国道合流 8:23  
 —ファミマ—9:23 信里庵—9:34 ひじ川源流の里休憩所 9:48—10:20 鳥坂峠 10:30—10:38 日天社  
 —10:44 遍路道・林道分岐—11:33 札掛パーク休憩所 12:05—12:27 金山橋—13:02 肱川橋—13:16  
 大洲駅前—14:10 「別格8番・十夜ヶ橋」 14:40—15:00 新谷集落入口—15:25 神南休憩所 15:36—  
 15:55 Y ショップ先分岐—16:25 内子駅前—16:50 ホテルAZ ￥4950（1泊朝食）

昨日と、うって変わって晴れているが、大陸からの寒気が流れ込み、風が強く冷たい。

女将さんに見送られて旅館を出る。今日は、土曜日、それに春休み中。普段なら、この時間、小学生の集団登校とすれ違い、「おはよう」を連発しながら歩いていたが、今日は、それが無く、だまって歩く。



宇和パーク



三好休憩所



三好休憩所

宇和パークを過ぎ、三好の休憩所。今回は、休憩せずに進む。国道との合流点のベンチに荷物を降ろし、左足にマメが出来そうなので、念の為、テーピングをする。



国道との合流点



一旦、国道から右へ



右へ入った所にある中務茂兵衛道標

国道に出て、コンビニで煙草の補充。旅館が、昼食のおにぎり弁当を、持たせてくれているので、今日は、昼食の準備はいらない。

出発から2時間程で信里庵。私有地の為、参拝以外は立ち入り禁止の貼り紙がある。入る人のマナーに問題があるのかも。信里の集落を抜け、国道に合流すると、少し先にひじ川源流の里休憩所。今回も鳥坂トンネルを避け、鳥坂峠を越えて歩く。



信里集落へ



信里庵



ひじ川源流の里休憩所

出発しようとした時、遍路さんが一人、やって来た。前夜は、ビジネス松屋に泊まれ、奈良から来られ、三好旅館で同宿の方だった。この方も鳥坂峠越えすると言われたので同行する。

休憩所の直ぐ先から国道と離れ、左折。集落の中を歩き、鳥坂番所跡そばから山道に入る。昨年から伐採用の車道がアチコチに出来ているので、遍路標識に注意しながら進む。昨日までの雨で、地面は緩んでいる。昨日なら、ここも大変だっただろう。



国道56号から左へ入る



鳥坂番所跡



鳥坂峠へ

峠のベンチで一服後、下りにかかる。歩き易い道。昨年、勘違いして間違った所も、今回は、標識の通りに進む。札掛大師堂経由で国道56号に出るつもりだったが、同行の方は、遠回りを避けておられる様子が、途中で国道に下りる道を選ぶ。札掛パーク手前で、トンネルを歩いた同宿の方に追いつく。20分程、遅く旅館を出られたそう。札掛パークで昼食休憩を取る。



鳥坂峠



昨年勘違いして右へ行った分岐



札掛パークの休憩所

出発しようとした時、外国人遍路さんが到着。昨日、明石寺の山門で出会ったオランダの方だった。内子から電車で卯之町に戻り、トンネルを抜けて来られたようだ。お互いに「ガンバッテ」と別れる。

ここから一人、金山橋を渡って遍路道を歩く。風は、相変わらず強く、冷たく吹いている。大洲市街に入り、肱川を渡る時は、時折、体を持って行かれそうになる程だ。休憩所を先に出られた、奈良の方に追いつき再び同行。この方も、今日は、大洲泊まり。国道沿いの泊まれるホテルの前で別れ、十夜ヶ橋に向かう。途中、マルナカでバナナ、チョコを買う。



大洲市街地へ



肱川橋を渡る



肱川橋から大洲城

十夜ヶ橋に到着、参拝。風も強くなっている。まだ本堂は出来ていない。ご住職の話では、今年中に着工出来る様だ。少しでも足しになれば。と寄付金を置いて、十夜ヶ橋下の大師にもお参りし、内子に向かって急ぐ。この分だとチェックインは、16時を過ぎるかも。



別格8番・十夜ヶ橋 大師堂



十夜ヶ橋



十夜ヶ橋 橋下の大師



十夜ヶ橋 橋下の大師



新谷集落を行く

新谷の集落を抜け、矢落橋を渡った先にある神南堂休憩所で一服。国道を暫く歩き、Yショップの先で国道から左、内子への遍路道に入る。



新谷集落を抜け、矢落橋を渡る



神南堂休憩所



左へ、内子に向かう

内子運動場の中を歩いて内子駅に下るつもりが、少し手前の道を上がってしまった。上に上がり、運動場だと思ったが、一面の畑。アレッ！仕方なく、畑の中の道を下り、暫く行くとJRの高架が見えて来た。高架下まで下り、内子駅前から国道へ向かう。



内子へ



内子へ



駅の北側に下りるつもりが南側に下った

ホテルAZ手前のフジスーパーで夕食の用意をする。店内で買い物中の藤さんに、バッタリ出会う。彼も今日、明日の食料を買いに来ていた。挨拶をして別れ、ホテルにチェックイン。朝食は6時からだが、団体が来ているので混み合うかもと、フロントで言われた。



JR内子駅



駅前から国道へ



ホテルAZ

28日目 4月9日(日) 晴れ 冷え込む ホテルAZ～砥部町 爰びす屋旅館

ホテルAZ 6:40—ファミマ—7:04 道の駅フレッシュパークからり—7:57 長岡山トンネル—8:15 中和田バス停—8:23—8:39 掛木分岐—8:56 大瀬—9:02 自治センター前休憩所—9:10—9:34 曾我十郎首塚登山口—9:40 サイクリングロード大瀬休憩所—9:57—10:14 千人堂—10:44 梅津休憩所—10:55—11:04 突合—11:16 内子第38号休憩所—11:40—12:11 なみへいうどん前—12:37 薬師堂—13:30—13:48 落合トンネル—14:07 爰びす屋旅館 ￥7300+缶ビール¥300

朝食6時から。昨日、フロントが言っていた団体は、少年野球チームで、朝食は、別の部屋を用意しており、混乱はなかった。冷え込んだ朝、ヒートテックを着て出発。これで丁度。天気も上々。少し先のコンビニで今日、明日の食料と靴下を買った。



国道56号 民宿シャロン前



国道56号 ファミマ



国道56号から国道379号へ

道の駅から国道56号と別れ、国道379号に行く。前後、遍路さんの姿は見えない。長岡山トンネルを抜けた所にある遍路無料宿。去年は、コロナで宿泊禁止の貼り紙があったが、今年は、貼り紙がなかった。中和田バス停で最初の休憩。コミュニティバスは、日曜、祝日は全運休らしく、バスは来ない。



国道379号へ



国道379号を歩く



長岡山トンネル



お遍路無料宿



中和田バス停



こんな所にケーキ屋さん

掛木橋の分岐で、国道から別れ、掛木集落内を歩く。集落を抜けると大瀬は近い。現金補充をしようと大瀬郵便局に行ったが、ATMも休みだった。すぐ先の自治センターのトイレで用を足し、向かいの休憩所で、また休憩。



国道から掛木集落へ



掛木集落内を振り返る



大瀬に入る



大瀬郵便局 ATM も休み



自治センター前の休憩所



大瀬の街並み

静かだ。大瀬の街並みは、ゆっくりと歩きたいところ。大瀬の館、米蔵、そして大瀬小学校と、何れも趣のある建物だ。街並みを抜け、今回も曾我十郎神社には寄らず、そのまま進む。



大瀬の街並み



大瀬の館



大瀬の街並み



大瀬の街並み



大瀬小学校



街並みを抜け小田川沿いを歩く

サイクリングロード大瀬休憩所で休憩。おにぎりを1個食べ、陽が昇り、少し暑くなって来たのでヒートテックを脱ぐ。今日の行程は、ゆとりがあるので、ゆっくりする。



国道379号



サイクリングロード大瀬休憩所 水道あり



国道379号

千人堂を過ぎ、梅津休憩所で休憩。昨年貼った納札が残っていたので、隣に並べて貼った。昨年の納札は、1年を経て少し、色あせていた。ここから突合までは、後少し。吉野川トンネルは、通らず橋を渡って鴉田峠遍路道を歩く。元さかえ旅館は、看板もなく、普通の民家と変わりなく面影はない。

内子38号休憩所で昼食。おにぎり、パン、バナナを食べる。トイレは使えるが、シャワーは、水が出なかった。



千人堂



突合ハ



梅津バス停 兼休憩所



突合ハ



突合 輪田峠、農祖峠の分岐



内子38号休憩所

再び国道379号に戻る。昨年と同じような時間で歩いている。途中にある「なみへうどん」は、昼時で結構、お客さんがいた。そう言えば、今日は、日曜日、休日だ。



国道379号へ戻る



なみへうどん



中田渡周辺

上田渡の薬師堂に手を合わせ、そばのバス停で時間調整。休憩中に二人の遍路さんが来られた。今日 彘びす屋に、ご夫婦が宿泊すると聞いていたので、この方達かなと思い、声を掛けると、やはり、そうだった。まだ時間があるので明日のコースを少し歩き、タクシーを呼んで旅館に行かれるとの事。ここまで、5回の区切り打ちで、来られたそうだ。



上田渡の薬師堂に到着



薬師堂



薬師堂横の上田渡バス停 トイレあり

大体、宿への到着が14時過ぎになる頃を見計らって出発。話し相手も居られたので、結局1時間程の休憩になった。





田渡川沿いを歩く



落合トンネル



トンネル出口の分岐路 右遍路道

落合トンネルを抜け、国道を直進し、糸びす屋へ向かう。ご夫婦は、トンネルを出て、遍路道の県道を進まれた。

予定通り、14時過ぎに到着。暫く女将さんと話をして部屋に入る時、先程、宿泊客のご夫婦に会い、遍路道を少し歩いて、タクシーを呼んで旅館に来ると伝えたと、女将さんは、こんな所にタクシーは来ないし、呼んでも3、40分はかかると言い、ご夫婦に電話をされ、この地域のタクシー事情を説明していた。実際、携帯も繋がりに難かったようだ。



国道379号から左へ 糸びす屋へ



旧広田村



糸びす屋旅館

また、もう一人の宿泊客は、大洲から来られると言う事で、女将さんが落合トンネルからの道を説明していたが、早く着き、暇を持て余していたので、迎えに行く。丁度、国道から旅館への道に入った所で出会い、旅館まで案内した。臨時の番頭さんになってしまった。

一段落し、女将さんが、ご夫婦を車で迎えに行こうとした時、表に出るとご夫婦が歩いて来た。女将さんに、ご夫婦が到着した事を告げる。

相変わらず、一人でバタバタしている。聞いてもないのに、昨年同宿のAさんが、今年も予約。4/4に用意をしていたが来ないので、確認したら、一ヶ月勘違いして、5/4の予約だった。と自分から言って笑っていた。

今日の宿泊客、全員チェックイン。入浴後、部屋で寛ぐ。いつもの事だが、旅館の各場所に生花を飾り、風呂場にも、いつも通りに飾ってあった。ご主人を亡くされたばかりで、気落ちしているだろうと思っていたが、それらを見て、意外と大丈夫だと思った。普段通り、夕食も手が込んで美味しく、皆で笑いながら食べる事が出来た。

天気は良いが、明日も冷えそう。岩屋寺往復があるので、出来るだけ早く出発したい。

29日目 4月10日(月) 晴れ 糸びす屋旅館～鴫田峠～いやしの宿八丁坂・岩屋寺往復

糸びす屋旅館 5:20-5:25 国道379号-5:33 国道から県道42号へ-6:18 三嶋神社-6:20 神社横のバス停 6:30-6:47 上畦々分岐-7:11 下坂場峠-7:30 自販機横ベンチ 7:40-8:15 だんじり岩-8:22 鴫田峠-8:29 鴫田峠便所東屋 8:50-9:16 国道33号-9:23 総門-9:35 「44番・大宝寺」 10:02-10:35 御堂トンネル脇-10:46 河合休憩所 11:05-11:15 民宿八丁坂 11:17-11:28 県道から遍路道-11:58 八丁坂登り口-12:15 八丁坂茶店跡 12:18-12:46 せり割禅定-12:54 「45番・岩屋寺」 13:35-14:06 国民宿舎古岩屋荘前-14:58 いやしの宿八丁坂 旅行割¥6248 クーポン券¥2000

朝食用のおにぎり弁当を昼食用とし、持参のパン、バナナで朝食を済ませます。昨年より、少し遅く出発。やはり、朝は、冷え込んでいるのでヒートテックを着て、手袋も付ける。玄関の鍵を開け、勝手にチェックアウト。この旅館の流儀だ。外に出ると、少し明るくなっている。



遍路道 県道42号を行く



三嶋神社



三嶋神社先のバス停

国道379号まで戻り、遍路道の県道42号に入る。1時間程で三嶋神社。すぐ先のバス停で荷物を降ろして休憩し、向かいにある消防団のトイレで用を足す。

一服後に出発。風が無いだけ、気持ちよく歩ける。道路は、登り気味。厄除大師の前を通り、上畦々の分岐迄来る。右は車、歩き遍路は左の農道を行く。道路の舗装が無くなり、地道に変わると下坂場峠は、近い。出発から2時間程で峠に着いた。と言ってもベンチもなにも無く、下坂場峠の標識のみ。ここから車道を下る。



厄除大師



上畦々の分岐 右は車道、歩きは左



農道の舗装はここまで



下坂場峠



自販機横のベンチで休憩



鴫田峠へ

集落の中を通り、自販機の所で休憩。ここから鴫田峠を越え、久万高原に下るまで自販機は無い。ペットボトルのお茶を買い、鴫田峠に向かう。30分程の登りで、だんじり岩。ここまで来れば峠は近い。



鴫田峠へ



鴫田峠へ



途中の休憩所



休憩所では、なかった



倒木も



だんじり岩

峠から少し下って鴫田峠便所。横の東屋でおにぎり弁当の半分を食べて、第二朝食。



鴫田峠



鴫田峠から久万高原へ



鴫田峠便所と東屋

林道から山道を下るが、先日の大雨、風も強かったのか、所々で倒木が道を塞いでいる。車道に出ると、久万高原の町が広がって見える。



久万高原に下る



眼下に久万高原町



国道33号に出る

国道33号を横断し、街中から久万川を渡って総門をくぐる。ここから車道の登り道。



久万川を渡り、総門へ



すがう山（大宝寺）へ



大宝寺参道

大宝寺では、結構、参拝者が多く居られた。車の方が殆どだ。



44番・大宝寺 山門



山門 仁王像



山門 仁王像



大宝寺 本堂



大宝寺 大師堂

参拝後、山門まで戻らず、河合に向かう遍路道を進む。ここも所々倒木があり、地崩れの場所もあって、注意深く歩く。30分少しで峠御堂トンネルの脇に下って来る。



河合から岩屋寺へ



岩屋寺へ



地崩れの場所を注意深く歩く。



道を塞ぐ倒木



道を塞ぐ倒木



峠御堂トンネル脇に下る

県道 12 号を暫く歩き、途中から、河合集落に下り、河合休憩所。横にトイレもある。ベンチでおにぎり弁当の残りバナナで昼食。ヒートテックを脱ぐ。

ここから民宿八丁坂までは、10分チョットだ。



県道から河合集落



ガードレールの間から下る



河合へ下る階段



河合集落内を歩く



河合休憩所 横にトイレあり



100 年程前は 15 軒の遍路宿があった



河合休憩所から民宿八丁坂へ向かう



住吉神社から県道 12 号へ



今夜の宿 いやしの宿八丁坂

民宿八丁坂に到着。即、ロッカーに荷物を入れ、さんや袋だけで岩屋寺に向かう。



県道 12 号を岩屋寺へ



県道 12 号から遍路道へ



八丁坂登り口

遍路休憩所の所から県道を離れ、八丁坂へ向かう遍路道に入る。アップダウンもあり、足も疲れてきている。30分程で八丁坂登り口。急登もあるが、20分足らずで尾根筋、茶店跡に出る。ここからは、更にアップダウンが続く。



八丁坂 茶店跡



せり割行場



45番・岩屋寺 裏山門

急な下りにかかる、せり割行場。更に下り、裏山門から境内へ。

本堂横のベンチに遍路さんが一人座ってスマホを見ている。鶺鴒峠下のゲストハウスに泊まった、藤さんだった。お互い挨拶をして、藤さんは、下山。今日は、ガーデンタイムに泊まれる。



藤さんが座っていた



岩屋寺 本堂



岩屋寺 大師堂



岩屋寺



岩屋寺



岩屋寺

参拝を終え、納経所に行くと、車で参拝のご夫婦が待っておられる。前に3人の女性が、結構な量の納経帳、掛け軸、白衣を積んでいる。団体の参拝者のようだ。割り込ませてもらえないようなので、一旦、外に出て、喫煙所で一服する。納経所へ戻って行くが、まだだ。

ご夫婦と話しながら待つ。「境内では、団体の参拝は、見なかったがけど・・・。」と話しかけると、「皆さん、駐車場で待っているみたいですよ。」と言われた。表門からもキツイ登り坂、階段なので高齢者には、かなりキツイところ。参拝をあきらめ、待つて居られるようだ。仕方がないか。それにしても、以前は、このケース。個人を途中で割り込ませてくれていたが、今回は、そんな事は、一度も無かった。どこの納経所も、久しぶりに、団体が戻って来たので、余計に気を使っているのかと、勘ぐってしまう。小さい、小さい。

納経後、表山門から下山。古岩屋トンネル手前で、先に下山した藤さんに追いつき、暫く一緒に歩く。

腰の調子も良さそうだ。とも言っていたが。古岩屋荘の入り口にある休憩所で、休憩されると言われ、ここで別れる。県道 12 号を進んで、民宿八丁坂へ向かう。15 時頃に到着。今日は、満室らしい。



表山門へ下る



表山門



参道を下る



古岩屋トンネル



県道 12 号を民宿八丁坂へ



国民宿舎 古岩屋荘

初めて2階の部屋に入る。洗濯機を回して、入浴。陽が落ちると、やはり高原。冷えて来る。夕食は、遍路6人、糸びす屋旅館で同宿のMさん、N澤ご夫妻、他2人で話が盛り上がり、9時前にお開き。

N澤ご夫妻は、到着が遅くなり、今回は、岩屋寺参拝をあきらめ、次回の宿題にしたと言われた。明日は、同じく、たかのこのホテル泊なので仕方がないか。

30日目 4月11日(火) 晴れ いやしの宿八丁坂～たかのこのホテル

八丁坂 7:10—7:32 峠御堂トンネル—8:06 国道 33 号—ファミマ—8:32 仰西渠—9:09 カヨちゃんの家—9:25 レストパーク明神 9:43—10:10 三坂峠—10:37 一ノ王子社跡—10:48 車道—10:54 坂本屋 11:24—11:41 網掛大師 11:44—11:52 丹波の里接待処—12:25 「46番・浄瑠璃寺」 12:54—13:05 「47番・八坂寺」 13:30—13:40 文殊院 13:43—14:03 札始大師堂 14:05—14:25 杖ノ淵 14:32—14:38 「48番・西林寺」 15:00—15:40 たかのこのホテル

¥10760+クーポン券¥2000+ビール¥1100

朝食後、ゆっくりして出発する。峠御堂トンネルを抜け、於久万大師を経て国道 33 号に出る。



峠御堂トンネル



於久万高原休憩所



於久万大師

ファミマで昼食の用意をしたが、バナナは売切れ。仕方なく、代わりにバナナカステラを買う。意味ないか。仰西渠に降りて見る。私財を投げうって、個人のかで造り上げたとは、大したものだ。



道の駅 天空の郷 さんさん



仰西渠



仰西渠

東明神付近に来て、徳島の阿川集落で見たような、等身大の人形が、色々なポーズを取っている。個人の接待処、カヨちゃんの家だった。コロナの為、お接待中止の貼り紙が、もう無かったので、接待処は開いているのかも。少し先にあるレストパーク明神で、休憩するつもりなので、通り過ぎる。



国道33号沿いの住民?



「お接待サロン カヨちゃんの家」



レストパーク明神へ

到着すると、お遍路さんが一人、休憩中。中に入ると、リンリュウ氏だった。津島で別れて以来だ。驚いて「リンリュウ!」と声をかけると、「サッサッキー!」と声を上げ、お互いに余り通じない会話をする。「コレッ」と嬉しそうに見せたのは、シガレットペーパーだった。どこも売ってなく、やっと探し当てたようだ。宇和島市内で買えたと言っていた。今日は、松山市内の〇〇ホテルに泊まるらしい。(ホテル名は聞き取れなかった。)



レストパーク明神



休憩所で手巻き煙草を巻いている



リンリュウ氏の杖 中央部を金具で接続

彼にさっき買った、バナナカステラを1本渡すと、また、津島の時と同じく、ダークチョコを1本くれた。彼を見送って休憩。



スキー場入口 皿ヶ嶺登山口



三坂峠



三坂峠から下る

ここから30分足らずで三坂峠。峠から下りだ。次の休憩場所を坂本屋に決め、一ノ王子社跡まで来ると、ガサガサと音がする。いきなり藪の中から、高齢のお遍路さんが出て来た。少し驚いて「どうかしました?」と声をかけると、「トイレ」の返事。道に迷っていたのかと思った。





三坂峠から下る



三坂峠から



一ノ王子社跡

この辺りから、地道が、落ち葉の積もった舗装道路に変わる。車道に出て下っていると、N澤夫妻とリンリュウ氏が立ち止まって話をしている。3人共、英語で会話している。

ご夫婦も、以前、彼と出会っており、顔見知りと聞いていた。ご夫婦は、昨日、久万高原まで下り、国道33号をゴルフ場の入り口まで歩き、今日、そこまでタクシーで来たとの事だった。

民宿八丁坂を、先に出発したので途中のどこかで追い越されたようだ。すぐ先の坂本屋で休憩しませんか。と声をかけ、皆で下る。



三坂峠から



棚田が現れ 人家に近づく



坂本屋 接待所 (土、日)

坂本屋に到着。リンリュウ氏は、休憩せずに、そのまま下って行った。ここで昼食のつもりだ。

ご夫婦も少し遅れて到着。どうも奥さんの靴の状態が悪いとの事。つま先部分が両足共1/3位剥かれパッキン・パッキン状態。持っていたテーピングテープで応急措置をしてあげると、歩き易くなったと喜んでおられた。暫くは持つが、どこかで靴を買い替えないといけないだろう。



坂本屋から浄瑠璃寺へ



網掛大師



網掛石

46番・浄瑠璃寺から、少し手前の久谷郵便局 ATM で現金補充をして、浄瑠璃寺へ。



丹波の里接待所



長珍屋



46番・浄瑠璃寺

参拝後、納経所で緑色の納札も補充する。ここから、リンリュウ氏と札所毎に出会う。



浄瑠璃寺 本堂



浄瑠璃寺 大師堂

八坂寺、文殊院、札始大師堂と順次参拝し、西林寺奥之院の杖ノ淵に立寄る。



浄瑠璃寺から八坂寺へ



八坂寺へ



47番・八坂寺 山門



山門の天井画



八坂寺 本堂



八坂寺 大師堂



八坂寺から文殊院へ



別格9番・文殊院



札始大師堂



西林寺八



西林寺八



杖ノ淵公園



西林寺奥之院 杖ノ淵



西林寺奥之院 杖ノ淵

47番・西林寺に到着すると、リンリュウ氏は、既に参拝を終え、休憩中だった。各札所毎に結構長く居られるようだ。別れてから一路、たかのこのホテルへ向かう。早く、温泉に浸かりたい。午後からは、結構、暑くなり、早くサッパリしたい。次の浄土寺は、明朝、参拝するつもりだ。



48番・西林寺 山門



西林寺 本堂 大師堂

思ったより早くホテルに到着。ここの温泉は、少しヌルヌルして、気持ち効き目がありそうだ。今夜グッスリ眠れるか。それにしても、今日、同宿のN澤ご夫妻は、無事、到着したのか。ホテルでの夕食は、昨年と同様、ロビーで待合せ、ビールを飲みながらTさんと。明日は、午前中雨の予報なので、Tさんと同行の話はしなかった。



たかのこのホテル



たかのこの湯



たかのこのホテル

31 日目 4月12日(水) 雨後曇り たかのこのホテル～民宿上松

たかのこのホテル 7:45—7:50「49番・浄土寺」 8:12—8:31「50番・繫多寺」 9:03—9:39

「51番・石手寺」 10:08—セブンイレブン—11:00—草庵 11:25—13:30—ノ門—13:35

「52番・太山寺」—13:43 本堂、大師堂—14:25 山門—14:52「53番・円明寺」 15:20—民宿上松

¥8000 洗濯¥200 乾燥¥100/30分

朝食時、N澤さんと会う。奥さんは、普段から朝食は食べないと聞いていた。昨日は、18時頃到着し、遅かったので温泉には入っていないとの事。また、浄瑠璃寺手前で、親切な地元の方と出会い、靴を売っているスーパーまで連れて行ってもらい、奥さんの靴を買い替えたとも言われた。

今日は、伊予北条のシーバMAKOTOに泊まられると聞き、状況によっては、53番を打った後、伊予和気駅から伊予北条駅まで電車を使う方法もあるが、と伝えた。

予報では、午前中、雨模様。出来るだけ遅く出発。結果的に53番・円明寺門前の民宿上松に泊まる事にして正解だった。当初は、伊予北条まで歩くつもりだった。

雨が、小康状態になったのを見計らってホテルを出る。浄土寺まで5分程度の近さだ。参拝を終えた頃から、また雨足が強くなった。ポンチョを着て繫多寺へ向かう。



49番・浄土寺 山門



浄土寺 本堂



浄土寺 大師堂

松山市内は、車道も狭く、歩道も、やっと一人が歩ける程。その上、車は、歩行者がいてもスピードを落とさず、水しぶきを上げながら走る。歩行者は、避けようがない。早々、車のしぶきを浴び、ズボンが濡れる。徳島、高知では、こんな時、見るからに手前でスピードを落として、歩行者に気を使っているのが判るが、こうも違うものか。走り去る車に向かって振り返り、「ぶつかれ」と呪いをかける。



50番・繫多寺 山門



繫多寺 本堂



繫多寺 大師堂

20分程イヤな思いをしながら歩き、50番・繫多寺に到着。車で参拝者も結構居られる。山門を出て、住宅街を下る途中、霽の中、正面に松山城が見えた。



繫多寺 境内



繫多寺 山門横の池



正面に松山城

依然、雨の中を51番・石手寺へ。ここでも参拝者が結構居られる。各札所で、いつもより時間をかける。早く、昼になれ！



51番・石手寺



石手寺 山門



石手寺 本堂



石手寺 大師堂



石手寺 三重塔



境内には、いろいろある

石手寺を出て道後温泉に向かう途中、前から傘をさして外国の方が歩いてくる。近づくると、スイス人のリンリュウ氏だ。ラフな格好で温泉でも入りに来たのか。「今日は、休み？」と言うと、「ヤスミ！」と笑って返してきた。「ガンバッテ」で別れる。



山上の大師像



道後温泉



道後温泉 商店街

道後温泉本館前、入浴客が並んでいる。まだ、工事中だ。商店街でも外国人が、多く目につく。飛鳥の湯前を通り、市街地を歩く。遍路標識に従い、一草庵へ立寄り。休憩所で、掲示している山頭火の資料を見ながら昼食休憩。この頃から、やっと雨が上がり、曇り空。



飛鳥の湯



一草庵八



一草庵



一草庵



種田山頭火



一草庵 資料展示室

松山大学キャンパスにかかる所で、前から遍路さん。コウモリ傘持っている。アツH田さんだ。ブログで遍路の日程を知っていたので、どこかですれ違うと思って歩いていたが。昨日、北条のまほろばに泊まった筈。もうこんな所まで来ている。速い。



「H田さん」と声をかける。勿論、相手は、こちらを知らない、覚えていない。

昨春、神峯寺の登りと翌日、大山岬で出会った事やブログの事など暫く立ち話。納札を交換して別れる。会うとは思っていたが、予想外に早かった。

太山寺では、長い時間、休憩したとも言われていた。

御幸町のローソンが道路向かいに見える所で、左に行く消えかけた標識。陸橋を渡り、ローソンの角に入る。地図の丙コースだ。

今まで、甲、乙コースを歩いて、何れも大將軍神社の前を歩いていたが、今回、初めてのコースを歩く。が遍路標識があまり無い。それに住宅地の狭い道をクネクネ歩かされ、方角が時々判らなくなる。地図で建物などを確認しながら歩く。

三津浜の踏切付近に来た時、地元の散歩中の方から声をかけられ、「太山寺ですか？」と聞かれ、そうですと答えると、自分も退職後、ウォーキングで、毎日のように太山寺まで歩いている。との事で一緒に歩く。踏切を渡り、県道 19 号に出た所でこのまま道なりに 1 km 位進み、ファミマの所を入れれば太山寺です。と教えて頂き、お礼を言って別れる。

県道 19 号からファミマ (少しの距離で 2 軒ある。2 軒目のファミマ) の所で県道 183 号に入り、住宅地を登って、下って来た所が、見覚えのある景色、一ノ門の前だった。



県道 19号から右へ入る



下った所が一ノ門の前



太山寺 一ノ門

ここから山門へ。太山寺は山門からが長い登り。前を二人の女性遍路さんが登っている。二人共、白装束に白い地下足袋、リュックも白い。

本堂まで上がり一服して参拝。彼女達は、御詠歌まで唱えている。本格的だ。交通機関も利用しながら巡拝されているようだ。雨も上がり、時間的にも早いので、ここでゆっくり時間を過ごす。結局、50分程いた。



52番・太山寺 山門



太山寺 本堂



太山寺 大師堂

山門を出て、ここから53番まで一直線。集団下校の小学生の列と一緒にになり、途中のローソクに入り、煙草を買ってやり過ごす。

53番・円明寺に到着。太山寺で会った団体が、本堂参拝中。終わるのを待って参拝。先達さんの指導が行き届いているのか、ローソクが上段に並び、線香も中心部に集まっている。大概の団体は、ローソクは、置き易い下の方、線香も外側にバラバラ、何度、火傷をした事か。



円明寺門前



53番・円明寺 山門



円明寺



円明寺 本堂



円明寺 大師堂



キリシタン灯ろう

参拝が終わっても境内で一服。宿は、目の前だ。民宿上松に入る。すぐに新聞紙を買い、靴に詰める。洗濯機を回して入浴。本日、同宿者なし。明日は、晴れ。ゆったり行程だ。

32日目 4月13日(木) 晴れ

民宿上松～あさひや旅館

民宿上松 7:10-8:09 小川大師堂 8:11-8:45 北条サンエース 8:55-9:10 西ノ下大師堂  
9:40 太田屋角 9:53 風早タウン緑地休憩所 10:00-ファミマ 10:25 鎌大師 10:40-10:57  
癒しの休憩所-11:20 浅海駅 11:43-ぶじかえる接待処-12:43 遍照院 12:53-13:30 青木地藏  
13:32-13:37 峠の店にっしー 13:47-14:44 星の浦海浜公園 15:10-15:40 あさひや旅館

¥6500

黄砂の影響か、晴れているが少し霞んでいる。今日の行程は、余裕があるので、ゆっくり出発。宿を出て、30分位歩くと、瀬戸内海が見えた。ここまで来れた。感無量。更に30分程で、海沿いに出て、瀬戸内海を見ながら歩く。海が綺麗だ。去年と違って、いつもの瀬戸内海だ。



民宿 上松



堀江港



瀬戸内海を見ながら歩く

小川大師堂に手を合わせ、休憩なしで進む。北条の県道沿い、サンエースの店頭で、休憩するつもり。宿から1時間半程で到着。荷物を降ろし、一服、トイレ休憩する。少し先の西ノ下大師堂にも立寄り手を合わせる。お堂の横に遍路さんの墓もある。



小川大師堂



北条 サンエース



西ノ下大師堂



北条の市街地に入り、「花へんろのまち」の石碑の前を通ると、太田屋ビジネス旅館。手前を右に県道を離れて歩き遍路道へ入り、鎌大師に向かう。途中、風早タウン緑地の東屋で休憩。すぐ先のファミマで昼食の用意をする。交差点を渡り、鎌大師に向かうが、道路工事で通行禁止の看板がある。浅海へ通り抜け不可の表示もある。車両向けか？



「花へんろのまち」



太田屋手前を左へ



鎌大師へ

鎌大師に到着すると、遍路さんが休憩中。参拝後、こちらも休憩。話を聞くと、逆打ちで今日は、北条泊まり。エッ、ここから1時間もかからない。昨日は、大西のビジネスつよしに泊まったとの事。1日、20km程度しか歩かない様にしている。と言われた。それにしても早く着き過ぎるので、ここで時間潰しをしておられる。鎌大師から浅海までの道路は？と尋ねると、歩行者（遍路）は、大丈夫。車のみが通行不可との事。これを聞いて安心する。



鎌大師へ



鎌大師



鎌大師の休憩所

時間潰しの付き合いまでは出来ないなので、挨拶して出発する。車道を登り切り、下りにかかった所、癒しの休憩所付近で工事。工事関係者に挨拶をして通る。JRの踏切を渡り、浅海駅待合室で昼食休憩。



この先 工事中



癒しの休憩所



浅海へ向かって下る



六地藏・五里塚



踏切を渡り国道 196 号へ



JR 浅海駅

浅海から国道 196 号、再び、瀬戸内海を横に見ながら歩く。天気も良く、気持ち良く歩く。歩道は広いが、交通量は、かなり多い。この道路しか無いので仕方がないか。



今治市に入る



瀬戸内海を横に歩く



菊間町へ

瓦工場が目に入るようになると、菊間だ。接待処で「ぶじかえる」を一つ頂く。すぐ先の遍照院。山門は、仁王様の代わりに鬼瓦。どこまでも瓦に拘っているようだ。参拝後、休憩。遍路道を行かず、そのまま国道を歩く。



瓦の町 菊間町



接待処ぶじかえる



菊間町



遍照院



遍照院 山門



遍照院 山門

太陽石油の製油所が近づくと、青木地蔵。手を合わせ、国道に戻る。峠の店でアイスを食べ、休憩。下り切った所で国道から離れ、亀岡の集落内を歩く。国道と違って、静かに歩ける。



製油所



青木地蔵



峠の店で一服

大西町に入ると、あと2km位で、星の浦海浜公園。東屋で30分程休憩する。信号を渡り、県道15号へ。旧大庄屋井手家の前を通ると、今日の宿、大西駅前のあさひや旅館は、すぐ。本日同宿なし。



亀岡集落内を歩く



道路沿いに



大西町に入る



星の浦海浜公園



大庄屋 井手家



あさひや旅館

ご主人の話では、最近、造船会社の出張者は、自社の施設を利用し、また食事等も施設内で済ませ外出しない為、近辺の飲食店は、閑古鳥状態になっている。勿論、旅館にも泊まらない。当館も以前は、出張者がよく利用していたが、最近は、全然泊まっていないとの事。

33日目 4月14日(金) 曇り後雨

あさひや旅館～仙遊寺宿坊

あさひや旅館 7:05-7:50 「54番・延命寺」 8:20-9:11 「55番・南光坊」 9:41-今治城—  
—10:45 喫茶「まいると7」 12:05-12:34 「56番・泰山寺」 12:55-13:00 龍泉寺 13:02  
—13:17 日高休憩所 13:22-13:46 「57番・栄福寺」 14:10-14:50 「58番・仙遊寺」 山門  
—15:00 仙遊寺本堂・大師堂—宿坊 ¥6000+作務衣¥300

予報では、天気は夕方まで、持ちそう。ゆっくり出発。国道196号に出て延命寺に向かう。少し、ヒンヤリとしている。車の通行は、やはり国道。結構、多い。



延命寺へ



国道196号に出る



三叉路を左、県道38号へ

途中、三叉路で、左、県道38号を行く。延命寺には、県道を暫く歩くと、左折して狭い道に入るのだが、はっきり覚えていないので遍路標識を見落とさないように、注意深く歩く。小学校の前を通り、思っていたより先で、左に入る標識があった。ホッとする。



左へ入る通路標識



県道から左へ、門前に続く道



延命寺門前に到着

旅館から45分位で、54番・延命寺に到着。静かだ。荷物を降ろし、参拝の準備をする。散歩や参拝の方も、ちらほら来られている。



54番・延命寺 山門(元今治城の城門)



延命寺 本堂



延命寺 大師堂



延命寺から南光坊へ 真念道しるべ

納経、一服後、山門手前から墓地を抜け、南光坊に向かう。標識は、しっかりあるので迷う事はない。



南光坊へ



南光坊へ



大谷霊園に上がる

高速をくぐり、大谷霊園に上がる。霊園の入り口にある花屋さんの店先で、高齢女性に声をかけられる。まず、「どこから来たの？」から。昨日は、大西の旅館に泊まった事を話すと、自分は、大西町の出身で、ここに嫁いで来た事。また、あさひや旅館も、ご存知だった。暫く立ち話をして歩き出す。ここから今治市街を海に向かって歩く。



大谷霊園内



JR高架をくぐり、更に海の方へ



別宮大山祇神社

JRの高架をくぐり、更に海の方へ、標識を見ながら進み国道317号に出る。別宮大山祇神社の前を通り、隣の55番・南光坊へ。納経所に名物おじさんが、いらっしゃらないのは寂しいが、ここは、車での参拝者が、結構居られ、団体の参拝者も居られた。



55番・南光坊 山門



南光坊



南光坊 本堂



南光坊 大師堂

参拝後、今治銀座商店街を抜け、今治港から今治城へ。城内でゆっくり時間を過ごす。



今治市街地



今治銀座商店街



今治港



今治城



今治城天守閣と藤堂高虎像



今治城 天守閣

10時を過ぎた頃、今治駅へ向かい、駅裏の喫茶店「まいるど7」へ。  
店前で写真を撮っていると、店内から見えていたらしく、店先に立った瞬間にドアが開き、開口一番、「去年から痩せたのと違う？」



喫茶まいるど7



村の小学校の後輩

松山でもTさんに言われたが、去年、お遍路から帰って、リバウンドしないように体重を維持して、去年、お遍路出発した時から約7kgの減量のまま。

相変わらずの話好き。昼食の注文が、話の合間に、やっと出来た。結局、店に1時間半程滞在した。頃合いを見計らって退店し、56番・泰山寺へ向かう。海とは反対、南方向へ一直線。



泰山寺へ



泰山寺門前



56番・泰山寺



泰山寺 本堂



泰山寺 大師堂



不忘松

参拝後、奥之院龍泉寺へも参拝。次の57番・栄福寺へ。



奥之院へ



泰山寺奥之院 龍泉寺



龍泉寺 鑲絵

途中、早いが、日高休憩所で荷物を降ろして休憩、一服する。蒼社川堤防に上がると、川の中を指す昔の遍路標識。橋が無い時代、遍路は、川に降り、川の中を渡っていたのかも。保存協力会の地図には、湧水期に川の中を歩いた旧遍路道との記載がある。少し上流の橋を渡って栄福寺へ。



特別養護老人ホーム 日高荘



四国遍路無縁墓地



日高休憩所



昔は、湧水期に川の中を歩いた



栄福寺へ 中務茂兵衛道標



栄福寺へ 山の中腹に仙遊寺

参拝後、納経所で犬塚池付近は工事中で通行止め、歩き遍路は、迂回して仙遊寺へとの事で、迂回路の地図を頂いた。



57番・栄福寺



栄福寺 本堂



栄福寺 大師堂



犬塚池工事中での迂回路へ

ずっと迂回路の車道を歩く事になったが、犬塚池経由より、少し遠回りになったようだ。



迂回路を仙遊寺へ



迂回路を仙遊寺へ



迂回路を仙遊寺へ

山門へ到着前から雨がポツポツ降って来た。予報より、降り出しが早くなったようだ。車道を歩く途中1台の観光バスに追い越される。山門から息を切らして上がると、団体が参拝中。終わるのを待って参拝。納経所で宿坊宿泊の手続きもする。



58番・仙遊寺 山門



山門からの登り



仙遊寺 本堂



仙遊寺 大師堂



仙遊寺宿坊



境内から今治市内方面

お風呂は、すぐに入れると言う事で、部屋に入って、作務衣に着替え、浴室に行くと、何とN澤さん。ご主人が浴室から出て来たところだった。昨日、泊まったとばかり思っていたが、今日、同宿とは。明日は、雨模様なので、今回は、ここで打ち切り、タクシーを呼んで下山。松山へ出て、帰宅されるとの事だった。また、夕食時、食堂に降りると、リンリュウ氏も泊まっていた。

夕食は、まだ仕出し弁当。精進料理が懐かしい。温泉も広くて、ゆっくり浸かれるし、眺めもいいし贅沢は、言えないか・・・。



仙遊寺宿坊 7:40—ローソン—8:51 喫茶「千羽鶴」 9:35—10:00 「59番・国分寺」 10:25—  
 11:22 道の駅今治湯ノ浦温泉 11:50—12:20 世田薬師—12:40 自安橋—12:51 臼井御来迎 13:05—  
 13:17 JA 三芳支所—14:04 別格・丹原方面分岐—14:36 いしづち安藤家—14:56 BEKKU 前—  
 15:15 石鎚橋—15:27 大頭交差点—ファミマ 15:40—15:55 小町温泉しこくや

旅行割¥8070+ビール¥600 クーポン券¥1000

朝のお勤めは、6時から。リンリュウ氏は、寝過ごしたのか参加していない。終了後、朝食。やはり仕出し弁当だと、何か、物足りなさを感じる。

雨の中を出発する。N澤さん夫妻が、見送ってくれた。念の為、山門までは、車道を下る。思ったより、歩きにくくは無かったが、所々、山道が掘れている所では、水が溜まったり、流れていたりしていた。舗装道路に出て、ホッとす。後は、舗装の平坦地。



国分寺へ



やっと山道から舗装道路に



舗装道路に流れる雨水

途中、ローソンで昼の用意をする。時間的に、丁度、喫茶千羽鶴の開店時間に合わせられる様だ。歩いていると、国分寺への遍路道で、千羽鶴の前にある踏切が通行禁止で、迂回路の看板があった。取り敢えず千羽鶴に入る。ママが大袈裟に招き入れてくれた。

踏切は廃止?ガードレールで塞いであった。う回路は、店に行く前に直進か、店から南へ回り込むかの2ルート。

店にとって痛手、ママは、相当怒っていた。モーニングを注文。後から下山のリンリュウ氏は、まだ来ない。食べながら、窓から外を見ていると、踏切まで来て、引返そうとするリンリュウ氏が見えた。急いで、外に出て呼び止める。店内に招き入れ、コーヒを接待した。



千羽鶴前の踏切が通行止め



国分寺へ



59番・国分寺

千羽鶴から同行。雨は、降り続けている。国分寺の納経所前に外国人が一人座っていた。リンリュウ氏に聞くと、同じスイス人だと喜んでた。彼は、近くの桜井駅から電車を利用されるとの事だった。



国分寺 本堂



国分寺 大師堂



握手修行大師 忙しいので、願いは一つ

雨の中、二人で歩く。道の駅今治湯ノ浦温泉に到着。ここで昼食を取るからと告げると、彼は、食堂に入ってしまった。庇の下にあるベンチでおにぎりを食べる。食後、二人で休憩、出発。



道の駅今治湯ノ浦温泉



道の駅 噴出する温泉



世田薬師

孫兵衛作バス停先で高架をくぐり、世田薬師方面へ向かう。車道でも、アップダウンの繰り返し。世田薬師前から県道と別れ、集落内を進み、臼井御来迎で休憩。



世田薬師前を左へ



自安橋を渡る



臼井御来迎

JA 三芳支所前を通過。今日は、15日、本来なら年金支給日で、レディースカフェは？支所構内には、誰も居ない。土曜日なので、昨日が支給日か。コロナからレディースカフェは、復活しているのか不明。



JA 三芳支所



横峰寺、別格興隆寺への分岐



中務茂兵衛道標



自作の札所絵図 こころの遍路図

暫く歩くと、道端に立っていた高齢女性が、声を掛けて来る。まず「どちらから?」。バッグから封筒を出し、亡き主人の供養で、遍路に行きたいが、この年齢では、無理。それで、これを書いたので、是非、これを持って巡拝して欲しい。

お遍路さんに出会う度をお願いしているとの事。

自作の、四国88ヶ所絵図に般若心経を書き入れた用紙と、500円玉を入れて渡そうとする。

すぐ後から、リンリュウ氏もやって来たので、一つしか用意をしていないと言われたので、リンリュウ氏に受取って貰い、二人共、納札を渡す。彼女から、もう一つは、後で、郵送するから、住所を教えて欲しいと言われたが、固辞して歩き出す。

二人で歩いていると、1台の車が、追い越して停車。車から先程の方が降りてきて、どうしても、もう1枚、渡したかったので、お子さんに運転を頼み、車で追いかけて来たとの事。そこまでしてと、驚いたが、必ず、結願まで持って行きますと言って、恐縮しながら頂いた。

県道155号を丹原に向かうが、そろそろ、今日リンリュウ氏の泊まる、「いしづち安藤家」の近くに來ているはず。遍路道から少し、入った所にあるようだが、入る場所が、はっきりしないので、電話をかけて、どこで曲がるのか、具体的な場所の目印を聞く。整体所も開いているので、その案内矢印が目印と教えてもらった。暫く行くと、案内看板があったので、リンリュウ氏を安藤家まで案内し、再び遍路道に戻る。小町温泉まで、まだ5km余りある。



左、安藤家へ 整体アーリアの看板が目印



ゲストハウスBEKKU



石鎚橋

丹原小学校前から、ゲストハウスBEKKU前を通り、石鎚橋を渡ると、後少し。大頭交差点のファミマでバナナを買って、店頭で一服。小町温泉へは、ここから約15分で到着。



大頭交差点



小町温泉しこくや

チェックイン、旅行割とクーポン券 ¥1000分を貰って部屋へ入る。濡れた物を室内に干して、入浴。ここの温泉は、体に合っているのか、気持ちが良い。

二日続けての温泉だ。夕食も美味しく、ビールもうまい。

一旦止んだ雨も、また、降り出している。横峰寺には、5回登っているが、その内、3回は、雨の中。是非、好天の中を登りたいものだ。明日は、どうだろう。

35日目 4月16日(日) 晴れ後曇り後雨 小町温泉しこくや～ビジネス旅館小松

しこくや7:08—ファミマ—7:28 大頭交差点—7:56 休憩所—8:19 てんとう虫前—8:31 八幡神社前—  
8:50 湯浪休憩所 9:05—10:10 「60番・横峰寺」 星が森往復 11:30—11:47 車道から香園寺分岐—  
12:30 香園寺奥之院 3.3km分岐 12:45—採石場コース—13:00 林道—13:22 採石場事務所前—  
13:29 オアシスへ左折—13:37 石鎚山ハイウェイオアシス—14:00 「61番・香園寺」 14:40—  
14:55 「62番・宝寿寺」 15:15—15:20 ビジネス旅館小松 ¥8800+缶ビール¥300

洗濯¥0 乾燥¥100/20分×2

朝食、6時半から鯛茶漬け。7時過ぎにチェックアウト、出発。大頭のファミマで煙草、おにぎりを買い、湯浪に向かう。ファミマを出た所で、昨日、今日とビジネス旅館小松に連泊の、名古屋から来られたE山氏と出会い、同行、話ながら湯浪へ。



湯浪へ



御来迎所



湯浪休憩所 隣はトイレ

1時間半程で湯浪の休憩所に到着。地元の散歩する人や、登山者、遍路さんが続々と到着。E山氏は先に出発。バナナ1本を食べ、登山口へ。



横峰寺へ登り口



沢の音が、段々と小さくなるに連れ、登りがキツクなる。ここは、途中、適当な休憩場所がない。八丁のお堂でも休憩せず、結局、山門まで休憩なしで上がった。車での参拝者も多く、団体も居られた。



沢の音から急登に変わる



八丁のお堂



60番・横峰寺 山門

休憩所で一服後、参拝、納経。E山氏と休憩所で昼食しながら、今日の天気なら、奥之院の星が森から綺麗に石鎚山が見えるはずと、初めて遍路に出られた彼に同行を勧める。



60番・横峰寺 本堂



横峰寺 大師堂

昼食後、二人で星が森へ行く。晴れと言っても、昨日の雨で少し霞んではいたが、正面に石鎚山がはっきりと見えた。お互い写真を撮り合い、彼も、一人だったら星が森には来なかったと思う。と喜んでおられた。



奥之院 星が森から石鎚山



星が森にて

二人で星が森から休憩所に帰って来た時、丁度、安藤家に泊まった、リンリュウ氏がやって来た。星が森に行くかと聞いたが、どうも腰の調子が良くない様で、行かないと言った。彼が、昼食のおにぎりを食べ始めたので、挨拶をしてE山氏と下山開始。彼とも今夜は、小松で同宿になる。



車道から左 香園寺へ



香園寺奥之院へ3.3km地点



左、白滝奥之院 右、採石場へ

E山氏と一緒に下山。今回は、採石場コースを下山するつもりなので、奥之院まで3.3km地点の分岐で、白滝奥之院経由で下山するE山氏と別れる。彼を見送った後、ベンチでパンを食べ、下山。下る途中は、粘土質のような道で、昨日の雨で余計に滑り易く、前を歩いた人のスリッパ跡も所々にあり、自分も一度スリッパして転んだ。

15分程下って林道に出る。暫く歩くと、舗装道路に変わり、歩き易くなる。



採石場コースを下る



丁石



林道に出る

採石場事務所前を過ぎ、石鎚山ハイウェイオアシスに向かう。オアシス館に上がる階段の長い事。階段を上がらず、車道から上れば良かったかな、と少し後悔した。



採石場へ



採石場事務所前を通る



左 ハイウェイオアシスへ



オアシス館への階段



まだ続く階段



やっとオアシス館まで上がる

香園寺に向かって車道を下っている途中、白滝奥之院経由で下山した、E山氏が車道を上がって来た。彼は、昨日、61番～64番を打っているので、宿への時間調整がてらオアシス館まで来られたようだ。



オアシス館から香園寺に向かう



高速をくぐる



左 国道11号方面へ

61番・香園寺も参拝者が多く居られた。2階の本堂、大師堂を参拝し、子安大師もお参り、納経。



61 番・香園寺



香園寺 本堂、大師堂



本尊 大日如来



子安大師

納経後、62 番・宝寿寺に向かう。15 分程で到着。ここも参拝者が多く居られた。



62 番・宝寿寺



宝寿寺 本 堂



宝寿寺 大師堂



ビジネス旅館小松

参拝後、ビジネス旅館小松へ。

コロナ禍で長期休業していて、昨秋、再開。1泊2食¥8800に値上がり、コロナ前、2019年は1泊2食¥6700だった。少し、高めかなと思ったが。

到着、即、洗濯機を回して入浴。61 番で一時、パラパラと降った雨が、本降りになっていた。到着後でラッキーだった。夕食は、お決まりの豚しゃぶ。E山氏は、連泊2日目ですき焼き。

連泊で明日、60 番往復予定の、熊本から来られた女性遍路さんと対面で夕食。採石場コースを歩かれると聞き、丁度、今日、歩いた道の状況などを話しながら食べる。

夜、10 時頃、土砂降りですぐ雷鳴が続く。予報では、明け方まで雨。

ビジネス旅館小松 6:50-7:10 「63番・吉祥寺」 7:35-8:14 「64番・前神寺」 8:55-ファミマ  
 9:54 加茂川橋-10:51 西原の大地蔵-10:56 六地藏の接待堂跡-ローソン昼食-12:10 渦井橋先旧街道  
 12:44 元萩生庵-13:15 喜光地商店街ふれあい広場 13:25-13:31 横屋休憩所-13:41 国領橋-  
 14:04 旧街道から国道へ合流-14:08 坂下大師堂-14:40 自販機コーナー-14:50-15:05 関ノ原分岐  
 -15:18 弘法の館 15:23-15:56 国道横断-16:14 「別格12番・延命寺」 16:33-セブンイレブン  
 -16:50 つたの家 ¥6900 (1泊夕食) +生ビール¥500 洗濯、乾燥¥0

朝食6時から。昨夜の雨も上がり、晴れ。連泊で60番往復の熊本からの女性遍路さんを見送り7時前に出発。E山氏は、既に早朝、出発した模様で、姿は、見なかった。

まず、63番・吉祥寺参拝。境内で、地元のご夫婦が来られ、ゲストハウスを開く予定と言われ話を聞くと、来週からオープンする予定との事。お寺の丁度、向かいで隣にスーパー、コンビニも近くにあるとの事。「ゲストハウス氷見」のご夫婦だった。名刺を貰いたかったが、作っていないとの事で頂けなかった。次回、機会があれば、泊まってみたいが。



63番・吉祥寺 山門



吉祥寺 本堂(工事中)



吉祥寺 大師堂



吉祥寺 成就石



くぐり吉祥天女



阿弥陀寺

納経後、境内で一服しているとリンリュウ氏が到着。彼が参拝するのを待って、二人で出発。前神寺では、フランス人遍路さん3人と出会い、リンリュウ氏が話している間、そばで休憩。



石鎚神社



64番・前神寺



前神寺 本堂へ





前神寺 本堂



前神寺 大師堂

前神寺を出て、遍路道を歩くが、彼が地図を出し、指で、遍路道をなぞって、国道に出る方が距離が短い、それと、ローソンでコーヒを飲もうと言い出し、国道11号に出る。加茂川橋手前のファミマで二人、コーヒタイム。リンリュウ氏からのお接待。



加茂川



加茂川橋を渡る



西原の大地蔵

休憩後、加茂川橋を渡り、野口バス停の所から遍路道に戻る。飯岡郵便局ATMで現金補充をして、渦井橋手前のローソンで二人共、おにぎりを買い、イトインで食べる。渦井橋の先から旧街道を歩く。国道の騒音から離れ、彼も「静か」と言った。



六地藏の接待堂跡



渦井橋を渡り旧街道へ



元 萩生庵

元萩生庵を過ぎ、30分程で喜光地商店街。ふれあい広場でトイレ休憩。ここで彼から、今日は、関の戸を下った所にある、五葉松荘に泊まる。伊予土居より5km程手前で、時間的に余裕があるので、ここでゆっくりする。ササキさんは、先に行って欲しい。と言ってきた。彼なりに気遣ったのかも。また、腰の調子も良くないのかも知れない。彼は、明日、伊予三島、明後日は、雲辺寺から下った所の青空屋の予定だ。行程が違って、もう会えないかも知れないと言い、握手して別れる。



喜光地商店街



喜光地商店街ふれあい広場



横屋休憩所

商店街を抜け、横屋に来た時、溝掃除をしている横屋のご主人から、休憩して行って下さい。と言われたが、先程、休憩したばかりなので。と挨拶だけで通り過ぎる。

旧街道を進み、再び国道 11 号と合流。坂下大師堂を過ぎ、関の戸の峠に向かう。ここは、緩やかな登りで、余り苦にならない。峠手前の自販機コーナーで休憩。缶コーヒと手持ちのパンを食べる。



国道 11 号と合流



坂下大師堂



珈琲待夢



国道 11 号を 関の戸へ



自販機コーナー



巡礼さんの宿 善根宿

直ぐ先の善根宿前を通ると、ほぼ峠。下り途中から、右に関川の集落に入る。途中、地元の方に向こうに見える山は、石鎚山ですか。と尋ねると、あれは、赤石山で 1700m 余りの山だと教えてくれた。



国道 11 号から右へ



赤石山



弘法の館

弘法の館前で、ご主人が休憩を勧めてくれたので、少しの間、休憩させて頂いた。

関川の集落を抜け、国道を横断して、別格 12 番・延命寺へ。



三度栗大師

三度栗大師

昔、弘法大師が通りかかった時、子供達から栗を一つ貰ったお礼に、「今より 1 年 3 回の実を与えん」と言い去り、以後この一帯の栗の木は、年に 3 回実を結ぶようになった。



国道 11 号を横断

参拝、納経後、国道に出て、セブンイレブンで明日の朝食の用意をして、つたの家にチェックイン。

ここは朝食が 7 時からで、明日は、民宿岡田が取れなくて、白地荘を予約。岡田前に来る迎いの車の時刻が 15:30 と 16:30 の何れか事前に連絡をと、言われていたので、毎回、岡田に到着が 16 時過ぎになっているので、念の為、朝食なしで早めの出発をするつもりで、1 泊夕食の予約をしていた。



別格 12 番・延命寺



延命寺 本 堂



延命寺 大師堂



延命寺 いざり松



伊予土居 つたの家

到着後、洗濯機を回して入浴。同宿なし、一人だけなので、部屋のユニットバスを使う。  
若女将と最近のお遍路事情など、話しながらビールを飲み、夕食。明日、早朝出発なので食後に清算。  
鍵は、勝手に開けて出るからと伝えた。若女将も、すっかり女将業が板についていた。

37日目 4月18日(火) 晴れ後曇り つたの家～(民宿岡田前)＝民宿白地荘

つたの家 6:02—6:33 村山神社—7:30 諏訪神社—8:12 秋桜休憩所 8:20—8:25 ひよけ大師—  
ローソン—9:08 高速道路をくぐる—9:22 銅山発電所 9:24—9:25 戸川公園休憩所 9:35—10:03  
三角寺への林道—10:32 「65番・三角寺」 11:00—11:50 ゆらぎ休憩所 12:05—12:35  
「別格 14 番・椿堂」 12:54—13:30 しんきん魔法皇休憩所 13:38—14:03 境目トンネル—14:22  
食事処水車前 14:35—14:52 民宿岡田前 15:30 白地荘より迎えの車—民宿白地荘

¥7800+缶ビール¥300

宿の朝食なしにした為、5時過ぎに、昨日買った、サンドイッチ、バナナ、ヨーグルト、コーヒーで  
朝食を取り、6時頃、玄関の鍵を開け、出発。女将さんも誰も居ない。



村山神社



小学生の集団登校に出会う



諏訪神社

民宿岡田前に 15時半までに到着するつもりで急ぐ。三島の秋桜休憩所まで休憩なしで歩いた。  
すぐ先にある、ひよけ大師にお参りして、国道 11 号に出た所にあるローソンで、昼食と、明日の昼食を  
用意してから、三角寺に向かう。



伊予三島 秋桜休憩所



ひよけ大師



三角寺ハ

住宅街を抜け、高速をくぐり、暫く高速に沿って歩く。銅山発電所前に到着。いつも通り、玄関に置いてあるフランスス水車を、撫でまわしてから、すぐ先の戸川公園休憩所で休憩。缶コーヒとパンを1個食べる。同じく車で三角寺に上がる方も休憩しており、同乗するかと言われたが、歩きに拘っている。とお断りした。



高速道路をくぐる



昔の道標が数多く残る



銅山発電所 玄関脇のフランスス水車



戸川公園の休憩所



三角寺ハ



眼下に伊予三島の町

ここから急登の車道を歩く。今回も、ひびき休憩所からの道を歩かず、林道へ上がるコースを取る。林道まで出たら、結構、歩かされ、やっと愛媛県最後の札所、65番・三角寺に到着。



三角寺ハ



ひびき休憩所経由の道



65番・三角寺

山門までの階段は、やはり、キツイ。境内の東屋で休憩してから参拝、納経。つたの家に早朝、チェックアウトした旨、電話連絡。若女将でなく、女将さんが出て、自ら古女将の方です。と、笑いながら言ったので、宿泊のお礼と、少し冗談を言い合って切った。



三角寺 本堂



三角寺 大師堂



三角寺

続いて、白地荘へ、今から三角寺を下山するので、民宿岡田前に 15 時半で、迎えの車を頼んだ。50 分程車道を下り、ゆらぎ休憩所。ここで昼食のつもりで行くが、先客が二人休憩中。米国人で女性は、イザベラ。三角寺に到着した際、丁度、椿堂に向かって下山して行くのを見た外国人だった。と言うことは、かなりの時間、休憩か。彼等も昼食を食べていた。



椿堂へ



椿堂へ



ゆらぎ休憩所にて

おにぎりを出すと、「オニギリ」と笑った。名前を聞かれたので、ササキと答え、納札の裏にローマ字で SASAKI と書いて渡した。イザベラさんも手製の納札をくれた。ホタテ貝のマークも入っているので、彼等もカミーノ、スペイン巡礼をしているようだ。

昼食後、先に出発。30 分程で椿堂。ますますの時間。参拝後、納経所へ。「歩き?」「電車も使わず?」「歩きです」、「納経料は、お接待で頂けません」と言われ、缶入りのお茶も 1 本頂いた。お礼を言って出発。



椿堂が見えて来た



別格 14 番・椿堂 (常福寺)



椿堂

国道 192 号を境目トンネルに向かって歩く。ずう〜と続く登り、車両の通行も多い。30 分ちヨットでしんきん庵・法皇休憩所に到着。ここで少し休憩。コロナ前は、今なら柑橘類、秋なら柿などをお接待として置いてあったが、今は、何も置いていない。



橋を渡り国道 192 号へ



国道を境目トンネルへ



しんさん庵・法皇休憩所



しんさん庵・法皇休憩所



左、曼荼峠への分岐 国道を直進



境目トンネル

再び、境目トンネルに向かう。30分弱で到着。狭い歩道を、杖に付けたランプを点滅させながら抜ける。出口からは、下り。途中、軽ワゴンが停まり、みかんを3個、もらい物だけど、と言って差し出されたので、お礼を言って頂いた。



徳島県三好市に入る



水車前で休憩



お接待で頂いた

今は、営業していない食事処水車の階段に、荷物を降ろして休憩。早速、頂いた、みかんを一つ食べる。ここから民宿岡田まで近い。白地荘からの迎えが15時半なので、頃合いを見計らって出発。岡田前に15時少し前に到着。向かいの石垣に荷物を降ろし、迎えを待つ。



三好市佐野から雲辺寺



左、佐野集落 民宿岡田へ



民宿岡田

15時半に迎えの車が到着。15時半の便は、一人？聞くと、来る途中、外国人が二人居たが、予約の方か不明との事。国道に戻り、二人が自販機の所に立っていたので、車を停めて尋ねる。イザベラさん達だった。聞くと、阿波池田駅前のホテルに宿泊予定で、17時発のバスをここで待つらしい。白地荘も16時半の迎えに間に合わなければ、17時発のバスで来て貰っているらしい。

車中で、西瓜を作っているの?と聞くと、山間部だけが作っているとの事。知人が、一昨年、泊まった時に西瓜談義をしたと聞いたので。と愛知のKさんの事を言うと、ご存知で、西瓜をわざわざ、送ってくれた。とも言われた。約20分で民宿に到着。

昨夜、つたの家の若女将がスマホで調べ、高台にある民宿と聞いていたが、到着すると、池田の町が、下の方に見え、なる程、見晴らしが良い。別棟の部屋に入ると、和室だが、ユニットバスも付いていた。



民宿白地荘 左本館、右別棟



別棟、部屋の入口



白地荘から池田町方面

早速、本館の大浴場に行くと、何と、小松で同宿のE山氏がお風呂を出たところ。民宿の女将さんが、ここまで歩いて来た人が、既に到着している。と言っていたが、彼の事だった。

民宿岡田に泊まると聞いていたが、事情は、後でと言われたので、入浴した。大浴場は、浴槽が2つ。1つは、1人用、もう1つは、2、3人が入れる大きさだった。ゆっくり浸かって満足、満足。

後で、彼から事情を聞いたところ。小松から伊予三島のビジネスに泊まり、翌日、民宿岡田に行ったが、ご主人から予約を受けてないと言われ、スマホの履歴を見ると、全然違う尾道市の民宿だった。到着がかなり早かったので、岡田に紹介された白地荘まで歩いて来たとの事。  
(途中で、地元の方が車で送ってくれたとも。)

どこかで聞いた様な話で、ここでも起こっていた。

同宿、外国人2人、別格に行かれる方1人とE山氏。

徳島、高知、愛媛と打ち終わり、いよいよ結願に向け、香川に。

讃岐の国（涅槃の道場） 66番・雲辺寺～88番・大窪寺～1番・靈山寺

38日目 4月19日（水）曇り一時雨 民宿白地荘～藤川旅館

民宿白地荘 6:00—6:25 佐野雲辺寺登り口—7:30 車道—8:26 「66番・雲辺寺」 9:08—10:28  
青空屋前一昼食—11:50 「67番・大興寺」 12:20—14:10 藤川旅館—14:27 「68番・神恵院、69番・  
観音寺」 銭形展望台 15:05—マルナカー—15:33 藤川旅館 ￥5000+缶ビール¥300

朝食5時から。送迎車の出発は6時。雲辺寺の登りも考えて、食事時間も早くして頂いた模様。  
出発して暫くして国道に出た頃、杖を忘れた事に気付き、引返して頂く。同乗のオーストラリア人  
夫妻、E山氏、また、ご主人にも迷惑をかけてしまった。「アイム・ソーリ」

登り口の木材置き場で、全員降ろして頂く。結果的に民宿岡田に泊まるより、早く歩き始められた。  
E山氏と同行、話しながら登り始める。途中、休憩なしで車道まで登り、雲辺寺まで、後少しの所に  
あるベンチで休憩。



雲辺寺へ



雲辺寺へ



雲辺寺車道から徳島県方面

本堂下から、本堂に上がり参拝。大師堂参拝、納経後、トイレ前のベンチで休憩。バナナを食べる。



66番・雲辺寺 本堂



雲辺寺 大師堂



おたのみなす



厄除不動



雲辺寺 山門



66番・雲辺寺



一服後、ロープウェイ乗り場まで上がり、徳島・香川の県境ラインで写真を撮り下山開始。



ロープウェイ乗り場



香川・徳島の県境ライン



五百羅漢から下山開始



大興寺へ向かって下山



下山路のベンチ



やっと車道まで下る

下りも結構、長い。青空屋前のベンチで昼食のつもりが、到着すると、ベンチの天板が撤去され、座ることが出来ない。横には、宿泊者以外立ち入り禁止の貼り紙。何か、不都合な事が起こったようだ。利用者のマナーに問題があったのかも知れない。

仕方なく、二人で車道を下り、途中、自販機横にベンチがあったので、昼休憩した。大興寺に向かう途中、前からE山氏と顔見知りの野宿遍路さんが歩いて来る。彼が挨拶して尋ねると、スマホをどこかで落とし、荷物を置いて、探しに戻っているとの事。下山中、足元に注意しながら歩いたが、見かけなかった。野宿さんは、途中、荷物を降ろして休憩した場所かもと、戻って行った。



右 まつをじへ



大興寺へ



大興寺本堂へ



67番・大興寺 本堂



大興寺 大師堂

二人で大興寺参拝。観音寺市街に向け、延々と歩く。E山氏とは、今日も藤川旅館で同宿になる。国道11号を横断し市街地に入るが、ここからも長く感じる。やはり、午前に比べ、午後は疲れが出ているのかも。



三架橋



68番・神恵院 69番・観音寺 山門



神恵院 本堂



神恵院 大師堂



観音寺 本堂



観音寺 大師堂



境内



銭形砂絵

三架橋手前で今日の宿、藤川旅館に荷物を預け、さんや袋で神恵院・観音寺参拝。参拝が終わり、銭形展望台に向かう頃、雨がポツポツと降り出し、傘をさして上がる。一服後、下山し、マルナカで線香の補充をしてから藤川旅館にチェックイン。入浴後、グッタリ、今日は、疲れた。



藤川旅館

夕食は、いつもと同様。イノシシの陶板焼き、マテ貝のバター炒め。ビールが美味しい。これで1泊2食¥5000は、安いと思う。

岡田が泊れなくて、止むを得ず白地荘に泊まったが、印象は、とても良かった。値段は、岡田より高めだが、別館はユニットバス付き、岡田前までの送迎、朝食5時なので雲辺寺参拝には、何ら支障がない。ただ、迎えの時間に制約があるが、これは、やむを得ない。岡田以外にも、使える宿がある事が判った。

藤川旅館 7:40—8:38 「70番・本山寺」 8:59—ファミマ—9:56 国道から分岐—10:25 ほ志川旅館前—  
 10:29 高瀬休憩所 10:38—ローソン—11:40 八丁目大師堂 11:50—12:01 「71番・弥谷寺」 12:55  
 —13:37 「72番・曼荼羅寺」 13:55—14:03 「73番・出釈迦寺」 14:25—14:55 「74番・甲山寺」  
 15:17—15:34 「75番・善通寺」 16:00—16:13 善通寺ステーションホテル

旅行割 ¥4400 クーポン券 ¥2000

朝食7時からと聞いていたが、用意が出来たと言う事で、少し早めとなった。が、ゆっくりした為、  
 出発は、昨年より遅くなってしまった。ご主人に見送られ、出発。荷物が軽い。信号を渡り、三架橋  
 へ向かう途中、アッ！さんや袋を忘れていた。軽いはずだ。あわてて引返す。信号の所で、ご主人が  
 自転車で持って来て、待っていてくれた。カッコ悪う～。昨日は、杖。今日は、さんや袋。やらかして  
 ばかり。気が緩んでいるのか。

改めて、ご主人に見送られ、出発。財田川左岸堤防を本山寺へ向かう。濃い霧が立ち込め、歩くには  
 支障がないが、景色は、あまり見えない。同宿の方で今朝、銭形展望台に行かれた方の話では、円形は  
 見えたが、文字は、全然見えなかったとの事。



三架橋から財田川左岸を歩く



財田川左岸堤防



橋を渡ると本山寺

川が右へカーブした所で、正面に本山寺の五重の塔が、見えるはずだが、微かに見える程度だった。  
 1時間程で、本山寺に到着。先に出発されたE山氏が、参拝を終え出発される所だった。



70番・本山寺 山門



本山寺 五重塔



本山寺 本堂



本山寺 大師堂



本山寺門前の一富士旅館



国道11号から左、遍路道へ

本山寺から、国道へ出て、1時間程で遍路道へ入る。途中、国道沿いにダイソーが見えたので、再度国道に出て、ローソク（10分間用）の補充をする。再び、遍路道に戻り、ほ志川旅館前から少し先の高瀬休憩所で休憩。そのまま国道を歩き、ローソンで昼の用意をし、遍路道へ戻る。



新しい道標



ほ志川旅館



高瀬休憩所

七宝屋の前を通り、暫く進んだ所で失敗。古い道標があったので、写真を撮ったが、ここで右に行くところを直進してしまった。小学校の横を通る時、今まで小学校など無かった筈だが、と気づき、地図で確認し、間違いに気づいた。戻るより、県道迄出て、右折、弥谷寺の参道に合流することにして進む。



BED IN CHILL 七宝屋



弥谷寺は右 直進してしまった



弥谷寺 参道

気持、疲れる。八丁目大師堂で荷物を降ろして休憩。気持ちを落ち着かせる。登り道、階段、階段でやっと弥谷寺に到着。俳句茶屋は、跡形もなく無くなっていた。大師堂前のベンチに荷物を置いて、本堂へ向かおうとした時、E山氏が大師堂から出て来られ、次の曼荼羅寺へ向かうところだったので、曼荼羅寺のすぐ手前に、製麺所の接待処があることを教えてあげた。



八丁目大師堂



道の駅ふれあいパークみの



俳句茶屋跡

大師堂から更に上にある本堂へ参拝し、大師堂参拝、納経後、前のベンチで昼食休憩。一服後、次の曼荼羅寺へ向かう。



71 番・弥谷寺 山 門



108 階段



本堂へ



弥谷寺 本 堂



弥谷寺



弥谷寺 大師堂

高速をくぐり、国道 11 号に出る途中、前から団体が歩いて来た。皆、若者で挨拶すると日本語で挨拶を返して来たが、日本人ではなかった。台湾か韓国か。



弥谷寺から曼荼羅寺へ



曼荼羅寺へ



お接待のうどんを食べていたE山氏

国道から県道、民家の間を抜け、曼荼羅寺へ。手前の接待処を見るとE山氏がうどんを食べていた。昼食を食べたばかりなので、うどんの接待は、お断りして、水を一杯真いで、曼荼羅寺へ行く。



製麺所 丸正の接待所



72 番・曼荼羅寺 山 門



曼荼羅寺 笠松大師



曼荼羅寺 本 堂



曼荼羅寺 大師堂



曼荼羅寺 不老松 松くい虫の為、枯れ死

納経後、次の出釈迦寺へ。午後からは少し、蒸し暑くなっている。結構、参拝者が居られる。捨身ヶ嶽禅定の建物も見えている。が、登る気は起らない。納経後、一服して次の甲山寺へ向かう。



73番・出釈迦寺 山 門



手水場



出釈迦寺 本 堂



出釈迦寺 大師堂



求聞持大師



捨身ヶ嶽禅定

甲山寺の参拝を終えた頃、出釈迦寺で見かけた団体がバスで到着した。ここでも一服。



甲山寺へ



74番・甲山寺



手水場



甲山寺 本 堂



甲山寺 大師堂



甲山寺のうさぎ



甲山寺 山 門

善通寺へ

かたパン店

今日の予定最後の札所、善通寺へ。20分程で到着。ここは、道路を挟んで本堂、御影堂があり、広い。移動だけでも時間がかかる。



75番・善通寺 本 堂

善通寺 五重塔



善通寺 御影堂へ

善通寺 御影堂

納経後、荷物を置いたベンチに戻ると、若者から、自分も歩き遍路をしたいが、気を付ける点は？と聞かれ、まず、荷物は、出来るだけ軽くする事。それに靴が一番大事。足に合う事は勿論、防水でも雨が降れば、靴下が濡れるのでマメの原因にもなる。テーピングもしっかりする事などを言った。

最近、仕事を辞め、次の仕事を見つけるまでに遍路に出たいとの事だった。別れた後、ホテルへ。

旅行割が効くので、まずクーポン券を買ってから、夕食、朝食の用意にマルナカへ行くつもりだった。フロントで聞くと、マルナカや駅中のコンビニでも使えるとの事だった。マルナカで食料、煙草も調達し、クーポン券を使い切って、ホテルに戻る。フロントの話で、旅行割最後の適用者だったようだ。ラッキーだった。以降の宿泊者は、予算終了で適用外との事。

40日目 4月21日(金) 曇り一時晴れ 善通寺ステーションホテル～えびすや旅館

善通寺ステーションホテル6:10-6:45「76番・金倉寺」7:11-8:05「77番・道隆寺」8:25-8:57 団扇屋前ベンチ9:02-セブンイレブン-9:32 土器川-9:54 宇多津駅前-10:07「78番・郷照寺」10:55-11:16 田尾坂公園-11:55 江尻バス停-12:14 清水屋 12:30-12:32「79番・天皇寺」12:50-13:29 鴨川駅前-ファミマ 13:40-14:37「80番・国分寺」15:04-15:06 えびすや旅館

¥7200+ビール¥600 洗濯お接待

早朝、昨日買ったパン、バナナ、ヨーグルトで朝食。6時過ぎに出発。30分程で、金倉寺。ローソク、線香立てを見ると、誰も使っていない。地元の太極拳の方々も、まだ来られていない。



善通寺ステーションホテル



金倉寺へ



金倉寺へ



76番・金倉寺 山門



金倉寺 本堂



金倉寺 大師堂

本堂、大師堂を参拝し、7時の納経所開始まで、少し待ち納経。「風のくぐる」に泊まったE山氏もやって来た。出発時、同宿者と少し話をしていて、遅くなったようだ。今日は、同宿だ。



金倉寺 金箔の大黒天



金倉寺 乃木將軍妻返し松



道隆寺へ 中務茂兵衛道標

納経後、道隆寺へ向かう。どんよりとした曇り空の中、麦畑の中を歩く。少し、蒸し暑い。道隆寺の少し手前、M井さん宅前は、どうか。今回も声を掛けられず、通り過ぎる。ご主人も高齢でどんな状況なのか、たまたまなのか判らない。郵便受の上に、例のお地藏様が並んで置かれていたが。





麦畑の中を道隆寺へ



青々とした麦畑



77番・道隆寺 山門



道隆寺 本堂



道隆寺 大師堂



丸亀市に入る

道隆寺門前の巡拝用品店で線香を補充し、道隆寺参拝後、県道を歩く。車の通行も多い。途中から遍路道に入ると、急に静かになる。団扇屋前のベンチで一服。E山氏が通り過ぎて行く。彼は、丸亀城に寄ってみたいと言っていた。



団扇屋前のベンチ



丸亀城を見ながら市街地を歩く



土器川

丸亀城を右に見ながら、市役所前のセブンイレブンで昼食の用意。市街地を抜け、土器橋渡った先で、県道から遍路道を行く。暫く行くと、民家の前で、若い女性から声をかけられた。「スイマセン」何かと立ち止まると「お遍路さんに、お接待として、ペットボトルのお茶を差し上げています。」と言い、英語塾の扉を開けペットボトルを持って来られた。突然の事で、驚きながらお礼を言って頂き、歩き出す。



お接待でお茶を頂く



民家の間を右へ



郷照寺へ

宇多津駅前を通り、暫く民家の間を歩いて、郷照寺へ到着。少し高台にあり、見晴らしの良いお寺だが、景色が少し霞んでいて残念。参拝、納経をしたところでE山氏が上がって来た。結局、丸亀城には、行かなかったようだ。鐘楼前のベンチで昼食。納経が終わってE山氏も昼食。また二人で歩く。



大吉地藏



78番・郷照寺 山門



郷照寺 本堂



郷照寺 大師堂



郷照寺の庭園



郷照寺の釣鐘

話しながらだと、楽に歩ける。郷照寺から「うたんぐら」前を過ぎ、田尾坂公園を抜け、集落の中を歩いて坂出へ。途中、左の道から、お遍路さんが一人出て来た。E山氏と顔見知りの方で、米国人の女性バーバラさんだった。ここから3人で歩く。坂出江尻休憩所そばのスーパーでトイレ休憩。



「うたんぐら」の前を通る



田尾坂公園



踏切を渡ると八十場は近い

ここから八十場、天皇寺は近い。今日は、3人共、えびすや旅館に泊まる。八十場でところてんを食べようと提案し、清水屋に入る。E山氏が、バーバラさんに、ところてんの説明を英語でしようと苦勞していたので、一言「ジャパニーズゼリー」でOK、OK。言い出しっぺで二人にお接待した。おいしいと言ってくれて良かった。やはり、ここまで来ると、素通りは出来ない。3人共、満足。



八十場の水



清水屋



バーバラさんと

店を出ると、殆ど隣の天皇寺に参拝。納経後、鴨川駅を目指す。選挙期間中で選挙カーが走り去る。バーバラさんは、アメリカには、無い光景だと言った。鴨川駅前から橋を渡り、国道11号に出る。国道に出た所にあるファミマで、明日の昼食の用意をして、イートインで休憩。



79番・天皇寺 本 堂



天皇寺 大師堂



天皇寺



白峰宮



鴨川駅



日向王の塚

国道沿いを歩き、峠を越え、下りの途中から左へ、国分寺への遍路道に入る。暫く歩いたところで突然、虫が目に飛び込んで来た。右目に当たったようで、匂いからカメ虫。強烈に目にしみる痛み。持っていたペットボトルのお茶で、目を洗うが、しみて痛い。そして臭い。暫くして正常に戻り、ホッとす。

国分寺に到着。観光バスが1台停まっている。本堂で、団体が参拝中。ふと団体と反対側を見ると何と！藤さんが読経中。45番・岩屋寺以来だ。もっと先を行っていたと思っていたが。坂出に連泊し、これから坂出に戻ると言われた。またK本氏が前日、えびすや旅館に泊まれたとも言われた。



80番・国分寺 山 門



国分寺 本 堂



アッ！藤さんだ



国分寺 大師堂・納経所



願かけ金箔大師



金箔縁結び



お願い弁財天



七福神



国分寺隣の えびすや旅館

参拝後、3人でえびすや旅館にチェックイン。今日は、女性3名、男性2名。女性3名中2名は、バーバラさんともう一人、アメリカ人の女性、それと東京から来られたM下さん。

女将さんが、今日はレディーファーストと言って、女性から入浴。その後、洗濯物を出して入浴。

夕食 18時から。5人で和やかに食卓を囲む。東京から来たM下さんは、初めての遍路で通し打ち。しかも別格20札所も回られている。後は、香西寺と最後の難関、大滝寺を残すのみ。

明日のコースで、県道に出た際、遍路標識に従うと十九丁に出て、白峰寺へは、遠回りになるので、県道を左へ行った方が近い事や、88番手前の、前山おへんろ交流サロンに、是非、立寄る様に勧めた。

女将さんに昨日、K本氏が泊ったのと聞くと、前日は、6名宿泊で、お酒を飲んで皆で盛り上がっていたとの事。お酒も大分召し上がったようで、一日違いで良かった。

41日目 4月22日(土) 晴れ 風が冷たい えびすや旅館～パークサイド高松

えびすや旅館 6:45-7:48 修行大師上休憩所 7:55-7:58 県道-8:25 県道から分岐-8:42  
「81番・白峯寺」9:08-9:31 闘伽井-9:55 十九丁 10:05-10:16 県道-10:19 休憩所-  
10:41 「82番・根香寺」 昼食 11:32-12:11 杜の季前-12:41 鬼無踏切-12:50 飯田休憩所  
12:58-13:00 岩田神社 13:03-13:51 香東大橋-14:09 「83番・一宮寺」 14:35-  
15:11 国道11号陸橋-15:50 パークサイド高松 旅行割¥4400 クーポン券¥1000

朝食は、6時からだったが、早く用意が出来、5時45分から。今日、E山氏は、屋島麓のささや旅館。かなりハードだ。他は、高松市内のビジネスホテルに泊まれる。三々五々出発。



遍路さん歓迎のラブホ前から進む



住宅地を抜け白峯寺へ



地道に変わる

いつもの事で、最後に出発。住宅の間を登り、山道に差し掛かった頃、バーバラさんに追いつく。先に登り、修行大師そばの休憩所で、荷物を降ろして休憩しようと思うと行くと。丸亀市内で見かけた外国人男性が出発するところだった。入れ替わりに休憩。



登り途中から振り返る



修行大師 県道出会いまで後少し



修行大師の休憩所

出発しようとした頃、バーバラさんが上がって来た。声をかけると休憩所にやって来て、彼女も休憩。かなり、しんどそうだった。県道迄、後少し。彼女の地図に指を差して説明。



県道出会い 左へ



県道から右へ入る



白峰寺・根香寺の遍路道に合流

一緒に県道を歩き、途中で、白峰寺への遍路道に入る。彼女は、ジャパーニーズ・フォースと言い、自衛隊の演習地である事を知っているようだった。彼女は、段々と遅れて来たが、一本道なので先に白峰寺へ。

到着の少し前に、同宿だった、もう一人のアメリカ女性とすれ違い。また、到着するとE山氏が参拝を終え、白峰寺を出発するところだった。

本堂、大師堂を参拝し、階段を降りる時、バーバラさんが上がって来た。「ガンバッテ」と声をかけ、納経所へ行き、先に出る。



81番・白峰寺 山門



白峰寺 本堂



白峰寺 大師堂

来た道に戻り、関伽井を経て、途中、追いついた同宿のM下さんと十九丁へ。到着すると男性が1人。ここで「景子ちゃんの接待所」をお世話している方で、缶ジュースや菓子類の補充に来ておられた。2人でベンチに腰を降ろして、話しながら缶ジュースを頂く。お礼と納札をお渡しして、クーラーボックスに貼られた、接待所開設の新聞記事に向かって、手を合わせてから退去した。



関加井



根香寺へ



十九丁 景子ちゃんの接待所



足尾大明神



足尾大明神横の休憩所



みち草の前を通り、根香寺へ



県道から右、階段を上がる



県道を横切る



五色台子ども園おもてなし処

足尾大明神先の休憩所で用を足した後、根香寺に向かう。根香寺に到着すると、車での参拝者が多く駐車場も、ほぼ満車状態。参拝後、山門前のベンチで昼食休憩する。M下さんも山門から出て来たので挨拶をして別れる。彼女は、ここから別格 19 番の香西寺に向かわれる。



82 番・根香寺 山 門



根香寺 本堂へ



根香寺 本 堂



根香寺 大師堂



役行者像



牛 鬼

昼食中、男性が近づいて来て、一宮寺への遍路道は、どこかと聞いて来られたので、目の前の道を指し説明した。杖も何も持たず、普通の恰好でウエストバッグのみ。出した地図も道路地図のコピーのようで歩き遍路には、見えなかったが、下の宿に荷物を置いて上がって来たと言われた。

ここへも、途中で迷って、車に乗せてもらって来たとも言われた。大丈夫か？

昼食後、出発。「五台山子ども園おもてなし処」まで戻り、車道をショートカットしながら下る遍路道に入る。ここでも外国人夫婦が居られ、白峰寺への道を聞かれたので、すぐ前の道を指して説明。この方も色々な札所の英語版地図をお持ちで、その中から白峰寺の物を探して説明したが、伝わったかは不明。



鬼無に向かって下山



途中、屋島が見えた



左、右、どっちや 左に行く

鬼無に向かって下山開始。遍路道、車道と交互に下る。鬼無踏切への道に差し掛かった時、山門前で一宮寺への遍路道を聞かれた方が、地元の方に道を尋ねている。ちょっと準備不足では。と思う。

踏切を渡り、飯田休憩所へ。誰も居ないが、トイレと一服させて頂いた。通り道、すぐ先の岩田神社へ。屋台も出て、賑やか。孔雀藤を見て、一路、一宮寺へ。



鬼無の踏切



おばあさんの洗濯場？



一宮寺へ



飯田休憩所



飯田休憩所



岩田神社



岩田神社の孔雀藤 この1本の幹から29mX23mに広がっている



河川敷に降りるまで、クネクネと住宅地を歩く。やっと河川敷。歩き易い変化がなく、結構、疲れる。くぐる橋の数に注意して、県道12号に上がる。思ったより早く、一宮寺に到着。



香東川に向かう



香東川の河川敷を歩く



香東大橋で県道 12 号へ上がる



83 番・一宮寺 山 門



一宮寺 本 堂



一宮寺 大師堂



一宮寺 薬師如来



屋島へ



中務茂兵衛道標

参拝後、栗林公園前のホテルに向かう。車の通行も多く、単調な道路で長い、ここも疲れる道。中務茂兵衛道標から川沿いに国道 11 号に出る。このまま、栗林公園に沿って歩き、ホテルにチェックイン。



国道 11 号を北へ



栗林公園前



パークイン 高松

フロントで旅行割の手続きとクーポン券（土曜日で¥1000 分）を貰い、ホテル前のファミマで夕食、朝食の用意をする。今日は、ハードな一日だった。明日は、志度まで。ゆっくり出来る。



42日目 4月23日(日) 晴れ 爽やかな一日 パークサイド高松～富士屋旅館

パークサイド高松 6:05—7:02 春日川橋—7:15 新川橋—7:25 湯元駅前—7:35 池畔階段 7:40—  
7:53 加持水—8:02 不喰梨—8:15 「84番・屋島寺」 8:40—9:11 安徳天皇社 9:18—マルナカー  
9:45 「洲崎寺」 9:58—10:15 山田家 10:30—10:36 八栗ケーブル下駅—10:40 仁庵 11:23—  
11:38 お迎え大師—11:40 「85番・八栗寺」 12:03—12:28 ニツ池親水公園—12:40 琴電接待処  
13:00—13:16 道の駅源平の里むれ 13:35—14:07 「86番・志度寺」 14:30—14:40 富士屋旅館  
¥8500+ビール¥550

幹線道路沿いの為、余り眠れなかった。夜中に何度も目を覚ます。朝食は、サンドイッチとバナナ。食欲も余り無い。

6時過ぎにホテルを出る。まず、観光通り(県道155号)に出る。気温も高くなく、気持ち良く歩ける。昼食は、山田家でと思ったが、今日は、日曜日。去年のような事も予想されるので、念の為途中のコンビニで一応、昼食の用意もする。



春日川を渡る



新川橋



琴電湯元駅

春日川まで来ると、屋島が間近に見える。新川を渡り、国道11号に出て、横断し、湯元駅前に来る。屋島登山口付近にある、池のそばで休憩、一服。



いよいよ登りにかかる



遍照院



加持水

いよいよ登り始める。小学校を過ぎ、遍照院から加持水までのキツイ登り。地元の散歩の方も多く行きかう。不喰梨を過ぎて、傾斜がやや緩くなり、やっと落ち着いて歩ける。



登り途中から高松市街方面



屋島寺へ



84番・屋島寺

屋島寺に到着。ホッとする。境内に参拝を終えたE山氏が居た。昨日は、麓のささや旅館。結局16時半頃、着いたそうだ。



84番・屋島寺 山門



屋島寺 本堂



養山大明神



屋島寺 大師堂



屋島寺



屋島寺 山門

参拝、納経後、血の池を経て、元ホテル甚五郎前を通る。壇之浦、五剣山が一望出来、美しい。壇之浦に向けては、急な下り。一步一步、慎重に下る。集落まで下っても、まだ下り。安徳天皇社で休憩。壇之浦に沿って歩く。



瑠璃宝の池（血の池）



壇之浦、五剣山を望む



壇之浦に下る



壇之浦に下る



スカイウェイを横切る



やっと壇之浦に



安徳天皇社



菊丸丸の墓



高橋を渡る

高橋を渡り、マルナカでバナナを買おうとしたが、何れも多くて買わずに、洲崎寺へ。小さなお寺だが、好きなお寺の一つ。真念法師の墓所でもある。納経後、源平の庭を見ながら休憩。八栗寺に向かう。



洲崎寺



洲崎寺 本堂



真念法師の墓



洲崎寺 源平の庭



山田家



八栗ケーブル 登山口駅

途中、山田家はどうだろう。結構、車は停まっているが、店を覗くと待ち時間は無さそう。入店し昼には早いが、うどんを食べる。

腹ごしらえをしたところでケーブル駅へ。お腹が膨れているので、よもぎ餅は買わずに登る。



よもぎ餅店



お接待処 仁庵



頂いた遍路人形

ここから、すぐに仁庵。丁度、奥さんが帰って来て、車を降りたところ。目が合い、声をかけられ、勧められるままに、上がり込んで、お接待を受ける。今日は、投票日で投票所から帰ったところだと言われた。知り合いの方も入れ3人で談笑。例のごとく、色々、次から次へと出して頂く

まず、冷たいお茶、甘酒、手製のゼリー、それからドラ焼き、最後にコーヒを入れて頂き、文旦も出されたので、手持ちのムッキーちゃんをザックから出す。ご存知なかったので、使い方を実演し、使ってと置いて来た。結局、今までで一番長く滞在。今日、志度泊ならゆっくりしての言葉に甘えてしまった。

また、今年で88歳になる、山梨のS氏は、今秋お遍路に出られる様で、お遍路人形をたくさん送ってこられ、今、懸命にそれを入れる袋を、作っているところだとも言われた。

お礼を言って出発しようとする、S氏製作のお遍路人形の一つ頂き、更にもう一つ、どなたかに差し上げて頂いた。(後日、仁庵に寄られた方のブログで、自分の納札と並んで、I藤さんの納札もノートに貼ってあった。と記載があったので、I藤さんも前後して立寄られた事が判った。)

八栗寺までの登りは、屋島同様、キツイが距離が短く、15分程の登りで、お迎え大師。高松の市内が一望出来る。ここでもケーブルがあるので、参拝者は多く居られる。



お迎え大師



お迎え大師から高松市内



八栗寺



85番・八栗寺 山門



八栗寺 本堂



八栗寺 大師堂

参拝後、志度に向かって下る。仁庵で長居をしたと思ったが、前回と余り変わらない時間だった。二ツ池親水公園まで下ると、後は、ほぼ平坦路。



八栗寺から志度へ



二ツ池親水公園



志度へ

集落の間を歩き、国道11号に出る手前で琴電廃車の休憩所、接待処。ここにも立寄り、アイスコーヒーのお接待を受ける。(ノートを見ると、K氏も昨日、寄られていた。)



琴電廃車の接待処



お礼を言って、出発。国道に出て、すぐに道の駅源平の里むれ。またまた休憩。ベンチでおにぎりを食べる。



踏切を渡り国道11号へ



国道に出るとすぐ道の駅



道の駅 源平の里むれ

道の駅から国道を離れ、一本、海側の道に入る。牟礼の街並み、平賀源内旧邸などを経て志度寺へ。栄荘は休業中の貼り紙のままだった。



国道から左へ



平賀源内旧邸



新町自然石灯籠



志度寺奥之院 地藏寺



栄荘前を歩く



志度寺

志度寺に参拝。平賀源内のお墓にも手を合わせ、富士屋旅館へ。今日は、宿泊者が多いらしく、すぐに入浴。夕食は、大広間で間隔を開けて食べる。ご夫婦の方は連泊されるようだった。



86番・志度寺 山門



志度寺 本堂へ迷路



志度寺 本堂



志度寺 大師堂



平賀源内の墓



志度 富士屋旅館

43日目 4月24日(月)曇り

結願へ

富士屋旅館～民宿八十窪

富士屋旅館 7:12—セブンイレブン—7:55 オレンジタウン入口—8:09 萩地藏—8:15 玉泉寺 8:21—  
8:39 旧へんろ橋—8:54 「87番・長尾寺」 9:15—9:37 塚原橋—9:50 心庵 9:58—10:30  
前山おへんろ交流サロン 11:20—旧へんろ道—12:06 70丁の地藏(相草東峠)—12:15 額峠—12:37  
多和小学校跡 12:45—13:07 竹屋敷前—13:11 国道から分岐—13:41 「88番・大窪寺」 14:20—  
14:23 民宿八十窪 ¥6500+缶ビール¥300 洗濯¥0 乾燥¥200/60分

朝食は、6時半から。同宿のご夫婦は、ご主人がギックリ腰で、JR志度駅からコミュニティバスで長尾寺に向かわれるようだ。

7時過ぎに出発。途中、セブンイレブンで、おにぎりを買い、長尾寺へ向かう。少し、冷え込んで手袋を着けようかと迷う程。汗も出ない。オレンジタウン入口を過ぎ、1時間程で、萩地蔵。手を合わせ、直ぐ先から県道3号と別れ、玉泉寺への道を歩く。ローソク、線香を立て、参拝。



暮当・当願大明神



萩地蔵



県道3号から左へ



長尾寺 奥之院玉泉寺



玉泉寺



中務茂兵衛道標

広瀬橋で県道を横断し、堤防上を歩く。旧へんろ橋を渡って、集落を15分程歩いたところで、長尾寺に到着。



広瀬橋から堤防上を進む



旧へんろ橋を渡る



87番・長尾寺 山門



長尾寺 本堂



長尾寺 大師堂



結願に向け、大窪寺へ

団体さんが参拝中。ヤバイ。大師堂に移られてから、本堂参拝。大師堂参拝後、納経所に行くと、案の定、待たされる。個人が待っていても、知らん顔で団体さんのご朱印を続ける。今までとは、全然違う対応に戸惑う。参拝後に納経を。との説明はどうした。参拝後に納経所に来る団体など居ないのは、解っている筈なのに。馬鹿正直に、参拝後に来る個人参拝者の事を、もう少し考えてはどうか。

納経後、いよいよ結願に向け、大窪寺へ。塚原橋から県道と並行して遍路道、集落内を歩く。途中、一心庵で休憩する。更に集落内を進み、県道に合流すると、前山ダムが見えて来る。前山おへんろ交流

サロンまで、後少した。交流サロンまで700mの看板を見て、元気が出る。道の駅ながおの向かいにある前山おへんろ交流サロンに到着。



塚原橋を直進、県道と並行して進む



釈迦堂



一心庵



再び、県道と並行して



県道に合流すると前山ダムが



サロンまで700m



ダム堰堤の分岐路



県道、旧へんろ道の分岐



前山おへんろ交流サロン

既に、前日、志度の「いしや旅館」に泊まったM下さんが到着して、お遍路大使任命書の申込手続きをされていた。国分寺門前のえびすや旅館で同宿。白峯寺から根香寺まで暫く同行して以来の再会だ。話ながら待つ。

仁庵には寄らず、琴電廃車の接待処に寄り、ソフトクリームのお接待を受けたと言われた。今日は、大窪寺を打たず、別格20番・大滝寺に登る為、塩江に連泊され、その後に大窪寺で結願予定と言われた。

また、5年前にご主人が亡くなり、供養でお遍路に来たとも言われた。それにしても、初めてなのに通し打ち、別格とは、驚くしかない。ここで再会したのも何かの縁と、仁庵で頂いた、もう一つの人形を受取って頂いた。サロンにもS氏が作った人形が数多く、ガラスケースに入れられ飾ってあった。

名前から、女性が作ったと思われていたようだが、今年88歳になる男性と説明し、驚かれていた。塩江には、こちらの予定と同じ、旧遍路道を歩かれると言う事で、サロン内で昼食後、同行する事になった。



前山おへんろ交流サロン



サロン前 M下さんと



旧へんろ道へ

サロンから少し戻り、旧遍路道に入る。舗装され、想像したより広い道。車の通行は、時折、地元の方の軽トラック位で、静かに歩ける。登りが続くが、彼女の歩くピッチは軽い。登山経験も積んでいるような感じがした。これなら、通し打ち、別格も納得。



相草東峠・70丁の地蔵



県道3号と合流 額峠



多和小学校跡

70丁の地蔵でピーク。ここから額峠に向かって下り。県道3号に合流して、そのまま県道を歩く。多和小学校跡まで来て、短い間だが、同行は終わり。彼女は三叉路を右、国道377号を塩江に向かう。

こちらは左、大窪寺に向かう。明日、明後日は雨模様。無理をしないでと別れる。彼女も天気が下り坂なのは判っているので、大窪寺へは車道を上がる予定ともっていた。無事結願を祈って見送る。



多和小学校 閉校記念碑



多和小学校跡



竹屋敷

多和小学校跡で一服。竹屋敷先から国道と離れ、並行する遍路道を歩く。後少し、後少しと励ましながら歩く。仁王門が見えて来たが、入らずに本堂正面に回り、二天門から入る。バス停には、まだ誰も待っていなかった。前日、ながお路に泊まったE山氏は、その前のバスで下山したのかも知れない。



国道377号から左、大窪寺へ



大窪寺 仁王門



本堂正面 二天門へ

境内に入り、ベンチに荷物を降ろして、まず一服。参拝者は、余り居られない。先月13日に1番から歩き始めて、やっと結願だが、あっという間に時間が過ぎた、という感じもある。今回は、天候に余り恵まれず、今までで一番苦労したかも知れない。43日間を思い出しながら、参拝の支度をする。





88番・大窪寺 山門



大窪寺 本堂



大窪寺 大師堂



杖杖堂



原爆の火



こころの遍路図と



真魚像



民宿 八十窪

本堂に参拝。丹原で頂いた「こころの遍路図」も一緒に。続いて大師堂参拝後、納経所へ。納経後もベンチで一服。境内でゆっくりして、八十窪へ。

まだ誰もチェックインをしていない様で、即、入浴。洗濯機を回す。明日は、一日雨の予報。冷えて来たのでヒートテックを着る。

宿泊は、男性4名。久留米から来られた方が、京都のI藤さんと同宿になった際、色々教えて頂いたと言っていた。ビールを飲み、恒例の赤飯を食べ、結願を実感する。お代わりをしてしまった。

大女将は、相変わらず。足腰は弱っているが、耳や目や口は、まだ達者。話をすると時間を忘れる。結願、即下山は、勿体ない気がする。6回目の結願だから、ここにも6度目の宿泊になった。

### 結願して、一番へ戻る

44日目 4月25日(火) 雨時々曇り 民宿八十窪～おんやど森本屋

民宿八十窪 7:00-7:10 はらいがわトンネル 7:46 長野いこいの家 8:06 大影農業構造改善センター  
-8:20 大影ベンチ 8:27-8:52 岩野トンネル前休憩所 9:10-9:46 犬墓大師堂 9:50-10:28  
県道ファミマ 10:45-11:15 阿波市役所前 11:40-11:45 切幡寺参道入口 11:56 秋月城址  
12:14 土成郵便局 12:17-12:45 熊谷寺門前 12:56 土成休憩所 13:10-13:45 十楽寺門前  
14:00 安楽寺駐車場 14:08-14:28 寿食堂前 14:37 小柿休憩所 14:45-15:15 森本屋

旅行割¥6200+ビール¥500 クーポン券¥2000

天気予報で、午前中は持つかないと思っていたが、朝から雨。バスで2人の方が下られるので朝食後、女将さんが車で、助光バス停まで送って行った。もう1人、久留米の方は、白鳥温泉方面へ下られるようだ。

出発しようとした時、女将さんが帰って来られ、見送られて出発。雨脚は、そう強くない。長野いこいの家バス停の所から、切幡方面への道を下る。大影の改善センターのトイレで用を足し、県道2号沿いの休憩所で休憩。次の休憩を岩野トンネル前の休憩所に決め、県道を歩く。



はらいがわトンネル



徳島県方面を



雨で休憩出来ない



長野いこいの家から国道と別れ右へ



大影付近のベンチ



岩野トンネル手前休憩所のバス停

岩野トンネル前の休憩所でパンを食べ、腹ごしらえ。雨の様子で、犬墓大師堂には、寄らずに下る事も考えたが、小降りになってきたので、立寄り、参拝する。この後、遍路道は、集落の中を歩くが、結構、曲がったり、登ったりするので、再び、県道に戻って下る。



岩野トンネル



左折、犬墓大師堂へ



犬墓大師堂



高速道路の高架が見える



左、遍路道を行かず直進



ファミマ

高速道路の高架が見えて来ると平地は近い。高架をくぐった後、左折する遍路道には行かず、そのまま進み、ファミマに立寄り、昼食の用意をする。店を出て、そのまま切幡へ向かう。



阿波市役所



阿波市役所前のベンチ



切幡寺大塔が見える

阿波市役所前の庇のあるベンチで昼食休憩。切幡寺参道入口を経て、小豆洗大師からの合流点に来た時、法輪寺から来られた方から、88番からここまで、途中で泊まる所は、ありますか。と聞かれたので、ありません。朝、88番から下って来て、この時間ですから泊まる必要は、無いのではと思います。と答えた。ここから、法輪寺へは向かわず、県道139号を進む。



切幡寺参道入口



秋月城址



熊谷寺 門前

途中、土成郵便局 ATM で現金補充をして、熊谷寺門前から、少し先の土成休憩所でトイレ休憩。今日の行程は、雨の中だが、余裕のある行程なので、休憩は、出来るだけ多くしようと歩く。



土成休憩所



林観音庵



十楽寺門前

十楽寺前を過ぎ、安楽寺駐車場の休憩所でも、荷物を降ろして休憩。出発時、雨脚が強くなり、向かい風で、雨粒が顔に当たり、歩きにくい。



真念道しるべ



願主 真念



安楽寺 駐車場の休憩所

寿食堂から、少し歩いた所で、若い男性遍路さんとすれ違う。今日、2人目だ。暫く行くと今度はカップルの外国人遍路さんが、安楽寺方面からの遍路道から来て、寿食堂の方へUターンするように行かれた。今夜は、寿食堂に泊まれるのか。



民宿 寿食堂



小栴休憩所



神宅休憩所

小栴休憩所に到着、休憩。ここから少し先で、外国人カップルに出会う。「オツカレサマ」と声をかけられ、「お疲れ様」と返して、すれ違う。今日、出会った遍路さん6人中4人が外国人。やはり昨年、一昨年と全然違う。



別格太山寺への分岐



地藏寺の大銀杏



森本屋

森本屋に到着。雨は、まだ降り続けている。地藏寺の大銀杏も、先月、歩き始めた時は、一枚も葉を付けず、幹と枝だけだったのが、青々とした葉を、一杯に付けていた。

一ヶ月半の時間経過を見て感じる。

今夜は、同宿なしと聞いていたが、バイク遍路の方が飛び込みであったようだ。  
旅行割が延長され、クーポン券¥2000も頂く。明日、徳島駅で使わないと。

明日も雨予報。

## 「一番へ戻る」

45日目 4月26日(水) 雨後曇り後晴れ おんやど森本屋～1番・霊山寺～自宅

森本屋 7:53—8:37 板野休憩所 8:45—8:50 金泉寺門前—9:20 極楽寺 9:30—9:43

「1番・霊山寺」 10:06—10:16 板東駅 11:37——11:56 徳島駅 13:00=三ノ宮BT

雨雲レーダーでは、朝、8時頃、雨雲が切れる模様だったので、8時少し前に女将さんに見送られ、ポンチョを着て出発。

振袖地蔵を過ぎ、導引大師まで来ると、目の前に、岡上神社の大クスが見えて来る。

40分程で板野休憩所。雨は、殆ど止んでいたのので、ポンチョをザックに仕舞って歩く。が、また、降り出して来た。雨雲は、板野町上空の狭いエリアのみ。ついていない。このまま歩き続ける。



雨の中 森本屋を出発



徳島工業短大前の高架



振袖地蔵



導引大師



岡上神社の大クス



板野町休憩所

初日に通った道を、逆方向に、今、歩いている。一か月半の行程を思い浮かべながら歩く。胸にジーンと来る。

3番・金泉寺門前を通り、30分程で2番・極楽寺。ここで休憩をする。ベンチに荷物を降ろして喫煙場所に行くと、ベンチに座って、若い外国人の女性が煙草を吸っていた。たどたどしく

聞くと、フランス人。昨夜は、神殿?の近くで寝たとの事。野宿か?これから88ヶ所遍路旅を始められるようだ。「ガンバッテ」と声をかけ、彼女は、3番へ向かう遍路道へ。こちらは、撫養街道を1番へ。



金泉寺 門前



極楽寺 門前



1番・霊山寺

1番・霊山寺に到着。小雨の中、本堂、大師堂に参拝し、納経所へ行く。「おめでとうございます」の一言を聞き、JR板東駅へ。



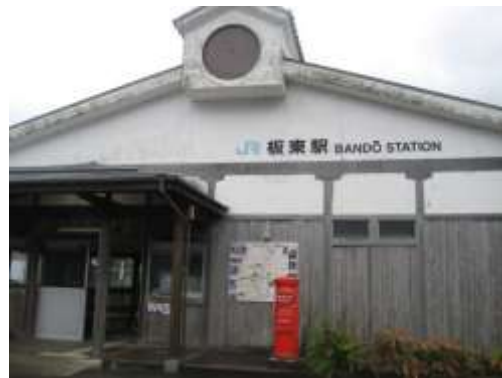
1番・霊山寺 本堂



霊山寺 大師堂



霊山寺からJR板東駅へ



JR板東駅

出発を遅らせたので、当然9時46分発の電車には間に合わない。次は、11時37分発。かなりの待ち時間。まず、白衣や参拝用具をザックに入れ、帰宅の準備をする。

地元の方から、次の池谷駅まで行く方法もある。JR高徳線とJR鳴門線が合流する駅で、徳島行の電車の本数がそれなりに増えるので、そうする人も居られるとの事。また歩く機会があるならば、この方法も、ありかなと思う。

駅で待つ間に、青空が見えて来た。最終日に青空が見えた。6巡目、一か月半の遍路旅が終わる。

<参考>

1. 経費（2023年3月13日～4月26日 44泊45日）

	利用額	クーポン券利用	支払額
交通費	¥7700		¥7700
納経料	¥28100		¥28100
賽 銭	¥12095		¥12095
宿泊費	¥300998	-¥11300	¥289698
コンビニ	¥36695	-¥7759	¥28936
その他店舗	¥20430	-¥7832	¥12598
自販機	¥3900		¥3900
合 計	¥409918	-¥26891	¥383027

1. 宿泊費について、旅行割20%の適用が16/44泊あったが、宿泊費を値上げしている旅館、民宿が多く、全体的に、前年比では余り、割引の実感は無かった。

宿泊費、前年¥309170

本年¥300998（旅行割16泊）

2. 宿泊施設について

- ・民宿、旅館で宿泊人数を制限している所があります。

高知県 民宿安和・・・2名まで

徳島県 民宿岡田・・・4名まで

- ・今まで、食事提供があった宿で、食事なしの素泊まりのみの所があります。

高知県 ゲストハウス汐風

愛媛県 山代屋旅館

3. その他

- ・宿泊料金を値上げしている宿が、結構あります。

◎ 予約時に食事提供の有無、料金の確認が必要。

## 四国八十八ヶ所遍路大使任命書

Shikoku 88 Temples Pilgrimage  
Henro Ambassador

(第 926 号)

兵庫県 佐々木 豊殿

貴方は四国八十八ヶ所歩き遍路約 1,200km を完歩され、  
四国の自然、文化、人との触れ合いを体験されたので、  
これを証すると共に、四国遍路文化を多くの人に広める  
遍路大使に任命致します。

*This is to certify that you have successfully completed the 1200km of Shikoku  
88 Temples Pilgrimage on foot and that you are named as a Henro  
Ambassador. We wish that the interaction with the people, the culture and  
the nature of Shikoku enriches your life and that you will spread the Henro  
culture worldwide.*

令和 5 年 4 月 24 日

Date: / /

NPO 法人ループ 88 四国

理事長 城戸 徹

Non Profit Organization LOOP 88 Shikoku  
Director General Toru Kido

NPO 法人遍路とおもてなしのネットワーク

理事長 松田 清宏

NPO Network for Shikoku Henro Pilgrimage and Hospitality  
Trustee Kiyohiro Matsuda国際ロータリー 第 2670 地区  
2022-2023 年度ガバナー

八田 光

Rotary International District 2670 Governor of 2022-2023  
Hikaru Hatta

さぬき市前山おへんろ交流サロン

代表 大山 茂樹

Maeyama Henro Cultural Exchange Salon, Sanuki City  
Representative Shigeki Oyama

コロナ禍前の平成31年(2019年)4月24日では、第1571号だった。

本年は、同じ日付で第926号。

徳島、高知では歩き遍路の人数がかなり増えていると思ったが、結果的には、まだ少なかった。

因みに令和3年(2021年)4月25日では、第731号

令和4年(2022年)5月5日では、第827号だった。



香川涅槃の道場

徳島発心の道場

四国八十八箇所一寺一写  
幸々願いこころの道場

高知修業の道場

愛媛菩提の道場

行の寺のりててよふ道場

愛媛 公宗寺 88  
徳島 屋敷寺 87  
香川 三宮寺 86  
高知 根香寺 85  
愛媛 白峰寺 84  
徳島 長山寺 83  
香川 大窪寺 82  
高知 大窪寺 81  
愛媛 大窪寺 80  
徳島 大窪寺 79  
香川 大窪寺 78  
高知 大窪寺 77  
愛媛 大窪寺 76  
徳島 大窪寺 75  
香川 大窪寺 74  
高知 大窪寺 73  
愛媛 大窪寺 72  
徳島 大窪寺 71  
香川 大窪寺 70  
高知 大窪寺 69  
愛媛 大窪寺 68  
徳島 大窪寺 67  
香川 大窪寺 66  
高知 大窪寺 65  
愛媛 大窪寺 64  
徳島 大窪寺 63  
香川 大窪寺 62  
高知 大窪寺 61  
愛媛 大窪寺 60  
徳島 大窪寺 59  
香川 大窪寺 58  
高知 大窪寺 57  
愛媛 大窪寺 56  
徳島 大窪寺 55  
香川 大窪寺 54  
高知 大窪寺 53  
愛媛 大窪寺 52  
徳島 大窪寺 51

大西青園  
金剛頂經  
觀自在菩薩行深三昧耶經  
空度切若色舍利子色直色空在不空色即  
想不生不滅不垢不淨不增不减是空在無色無  
識無受無想無行無智無色無味無法無觸無受  
無慧無樂無無明亦無無明盡及三三老死無老盡  
無苦無道無智亦無得以此為得菩提薩  
婆修般若波羅蜜多故心無罣礙無礙  
心無怖懼建證三摩地獲神通起覺  
樂三摩地依般若波羅蜜多故得智慧  
理達此三摩地故知般若波羅蜜多是大  
和集大勝是無上死是無等法第一  
以之莫不虛敬讚般若波羅蜜多功德  
無量阿僧祇劫

延命寺 58  
大石寺 57  
石手寺 51  
繁士林寺 50  
淨瑠璃寺 49  
岩大朗寺 48  
木寺 47  
竟光寺 46  
觀自在寺 40

大西青園  
三十三

高知 修業の道場  
徳島 発心の道場  
香川 涅槃の道場  
愛媛 菩提の道場

4月15日丹原付近で買った絵図。原本はB4サイズ

第 7520 号

登頂証明書

佐々木 豊 様

あなたは徳島市方上町弁財天八番地一にそびえる、

日本一低い自然の山 **弁天山** (標高六・一M) に、

登頂されたことを証明いたします。

令和五年三月十七日

NPO法人弁天山保存会

